



取扱説明書

⚠ この車両を操作する前に、この説明書をよくお読みください。

**MT-10SP**

オートバイ

**MTN1000D(MT-10SP)**

D83-28199-E0

安全情報

説明

特別な機能

計測器および制御機能

安全のために - 操作前チェック

操作方法と走行上の注意点

定期的なメンテナンスと調整

バイクの手入れと保管

仕様

消費者情報

索引

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

⚠ この車両を操作する前に、この説明書をよくお読みください。このマニュアルは、この車両が販売された場合には付属しているはずです。

#### 適合宣言：

ここに、ヤマハモーターエレクトロニクス株式会社は、無線機器タイプ、イモビライザー、B5Y-00 が指令 2014/53/EU に準拠していることを宣言します。

EU 適合宣言の全文は、次のインターネット アドレスで入手できます: [https://global.yamaha-motor.com/eu\\_doc/](https://global.yamaha-motor.com/eu_doc/)

周波数帯域：134.2kHz

最大高周波電力: 49.0 [dB $\mu$ V/m]

#### メーカー：

ヤマハモーターエレクトロニクス株式会社  
〒437-0292 静岡県周智郡森町森1450-6

#### 輸入者:

ヤマハモーターヨーロッパNV  
Koolhovenlaan 101, 1119 NC Schiphol-Rijk, 1117 ZN, オランダ

英国向け

**UK  
CA**

適合宣言：

ヤマハモーターエレクトロニクス株式会社は、無線設備型式イモビライザー B5Y-00 が平成 29 年無線設備規則に適合していることをここに宣言します。

適合宣言の全文は、次のインターネット アドレスで入手できます: [https://global.yamaha-motor.com/eu\\_doc/](https://global.yamaha-motor.com/eu_doc/)

周波数帯域：134.2kHz

最大高周波電力: 49.0 [dB $\mu$ V/m]

メーカー：

ヤマハモーターエレクトロニクス株式会社  
〒437-0292 静岡県周智郡森町森1450-6

輸入者:

ヤマハ モーター ヨーロッパ NV、英國支店

ユニット A2 ~ A3、キングスウェイ ビジネス パーク、フォーサイス ロード、ウォーキング、サリー。 GU21 5SA。イギリス。

ヤマハのモーターサイクルの世界へようこそ！

MTN1000D のオーナーは、ヤマハの信頼性で定評のある高品質製品の設計と製造に関するヤマハの豊富な経験と最新のテクノロジーの恩恵を受けることができます。

MTN1000D の利点を最大限に活用するために、時間をかけてこのマニュアルをよくお読みください。取扱説明書には、モーターサイクルの操作、点検、整備の方法だけでなく、自分や他の人をトラブルや怪我から守る方法も記載されています。

さらに、このマニュアルに記載されている多くのヒントは、あなたのオートバイを可能な限り最高の状態に保つのに役立ちます。その他ご不明な点がございましたら、お気軽にヤマハ販売店までお問い合わせください。

ヤマハチームは、皆様の安全で快適なドライブを心より願っております。したがって、安全を第一に考えることを忘れないでください。

ヤマハは製品のデザインと品質の進歩を追求し続けます。したがって、このマニュアルには印刷時点で入手可能な最新の製品情報が含まれていますが、お客様のモーターサイクルとこのマニュアルとの間に若干の相違がある可能性があります。この取扱説明書に関してご不明な点がございましたら、ヤマハ販売店にご相談ください。

EWA10032



警告

---

このモーターサイクルを操作する前に、このマニュアルを注意深く完全にお読みください。

---

# 重要なマニュアル情報

EAU10134

このマニュアルでは、特に重要な情報は次の表記によって区別されます。

	これは安全警告マークです。これは潜在的な人身傷害の危険を警告するために使用されます。怪我や死亡の可能性を避けるために、この記号に続くすべての安全上の注意に従ってください。
 <b>警告</b>	警告は、回避しないと死亡または重傷を負う可能性がある危険な状況を示します。
<b>知らせ</b>	「通知」は、車両やその他の財産への損傷を避けるために講じる必要がある特別な予防措置を示します。
<b>ヒント</b>	TIP は、手順をより簡単または明確にするための重要な情報を提供します。

※製品および仕様は予告なく変更する場合がございます。

# 重要なマニュアル情報

---

---

EAU10202

MTN1000D  
取扱説明書  
©2024 by ヤマハ発動機株式会社  
初版、2023年10月  
無断転載を禁じます。  
書面による許可なく転載または無断  
使用することはできません。  
ヤマハ発動機株式会社は  
明示的に禁止します。  
日本で印刷されています。

# 目次

<b>安全情報</b> .....	<b>1-1</b>	触媒コンバーター .....	4-35 シー	点火プラグの点検 .....	7-9 キャニス
<b>説明</b> .....	<b>2-1</b>	ト .....	4-35	ター .....	7-10 エンジンオイ
左面図 .....	2-1 右面	フロントフォークの調整 .....	4-36	ル .....	7-10 ヤマループを選ぶ理
図 .....	2-2 制御装置と計	ショックアブソーバーの調整		由 .....	7-11 クーラン
器 .....	2-2 .....	アセンブリ .....	4-37 荷物	ト .....	7-11 エアフィルターエレメ
	2-3	ストラップホルダー .....		ント .....	7-14 エンジンのアイドリング回転
<b>特別な機能</b> .....	<b>3-1</b>	4-39 EXUP システム .....	4-39 電源コ	数の確認 .....	7-14 パルブクリアラン
YRC (ヤマハ ライド コントロール) .....	3-1 用	ンセント .....	4-39 サイドスタン	ス .....	7-14 .....
語解 .....	3-4 YRC 機能	ド .....	4-40 点火回路カットオフシ	7-14 タイヤ .....	7-15
ビジュアルガイド .....	3-5 クルーズコントロールシス	ステム .....	4-41	キャストホイール .....	7-17 ク
テム .....	3-6 ヤマハ可変スピード			ラッチレバーのフリー調整	
リミッター				再生する .....	7-18
(YVSL) .....	3-8			確認するブレーキレバーがフリーになる	
				遊び .....	
<b>計測器および制御機能</b> .....	<b>4-1</b>			7-19 ブレーキライトスイッチ .....	
イモビライザーシステム .....	4-1 メ			7-19 前後の確認	
インスイッチ/ステアリングロック .....		エンジンの慣らし運転 .....	6-1	ブレーキパッド .....	
4-2 ハンドルスイッチ .....	4-3 インジ	エンジンの始動 .....		7-20 ブレーキ液量の確認 .....	7-20
ケーターランプと警告灯		6-2 变速 .....	6-3 燃	ブレーキフルードの交換 .....	7-21 ド
ライト .....	4-5 ディス	料削減のヒント		ライブチェーンのたる	
ブレイ .....	4-9 MENU画	消費量 .....	6-4 駐車	み .....	7-22 洗浄と注油
面 .....	4-18 クラッチレ	場 .....	6-4 .....	ドライブチェーン .....	
バー .....	4-29 シフトペダ			7-23 ドライブチェーンの点検と注油	
ル .....	4-29 ブレーキレ			ケーブル .....	
バー .....	4-30 ブレーキペダ	ツールキット .....	7-2	7-24 ケーブルの点検と注油	
ル .....	4-30 ブレーキコントロールシ	定期メンテナンスチャート .....	7-3 定期	スロットルグリップ .....	
テム (BC) .....	4-31 燃料タンクキャッ	メンテナンスチャート		7-24 スロットルグリップの点検と注油	
プ .....	4-32 燃	排ガス規制システム .....		ブレーキペダルとシフトペダル .....	7-24 ブ
料 .....	4-33 燃料タ	7-3 一般的なメンテナンスと		レーキペダルとシフトペダルの点検と注油	
ンクオーバーフロー ホース .....	4-34	潤滑チャート .....	7-5	ブレーキレバーとクラッチレバー .....	7-25

# 目次

---

## 点検と注油

サイドスタンド .....	7-26 スイン
グアーム ピボットの注油 .....	7-26 フロント
フォークの点検 .....	7-26 ステアリング
の点検 .....	7-27 ホイールペアリング
の点検.....	7-27 バッテ
リー.....	7-28
ヒューズの交換 .....	7-29車両のライ
ト .....	7-31 バイクのサポー
ト .....	7-31 トラブルシュー
ディング .....	7-32 トラブルシューティング
チャート .....	7-33

## バイクの手入れと保管.....8-1

マットカラーのご注意.....	8-1 お手
入れ方法.....	
8-1 保管方法 .....	8-4

## 仕様.....9-1

## 消費者情報.....10-1

識別番号 .....	10-1 診断コネク
タ .....	10-2 データの使
用.....	10-3

## 索引.....11-1

EAU1028C

## 責任あるオーナーになりますよう

車両の所有者であるあなたには、オートバイを安全かつ適切に操作する責任があります。

オートバイは単線車両です。それらの安全な使用と操作は、オペレーターの専門知識だけでなく、適切な乗馬技術の使用に依存します。すべてのオペレーターは、このモーターサイクルに乗る前に、次の要件を理解しておく必要があります。

彼または彼女は次のことを行う必要があります。

### 私～から徹底的な指示を得る

5-1 オートバイの運転前のリストについての資源。

私 このオーナーズマニュアルに記載されている警告とメンテナンス要件に従ってください。

私安全に関する資格のあるトレーニングを取得するそして正しいライディングテクニック。

### 私専門的な技術を取得する

このオーナーズマニュアルに記載されているとおり、および/または機械的条件により必要な場合には、サービスを行ってください。

私以下の状態でオートバイを運転しないでください。

適切なトレーニングや指導を行うこと。  
トレーニングコースを受講してください。初心者は認定インストラクターからトレーニングを受ける必要があります。最寄りのトレーニングコースについては、認定オートバイディーラーにお問い合わせください。

## 安全な乗車

車両を使用するたびに使用前点検を実行し、安全な運転状態であることを確認してください。車両の点検や整備を適切に行わないと、事故や機器の損傷の可能性が高くなります。ページを参照

については、あらゆる面に関する有能な情報小切手。

私のバイクは次のように設計されています  
オペレーターと乗客を乗せます。

## 私運転手の検知漏れ

交通中のオートバイを認識することは、自動車/オートバイ事故の主な原因です。オートバイを見ていなかった自動車運転者によって引き起こされる事故も数多くあります。自分を目立たせることは、

この種の事故の可能性を減らすのに非常に効果的です。したがって：

- 明るい色のジャケットを着てください。
- 交差点は二輪車事故が最も発生しやすい場所であるため、交差点に近づくときや交差点を通過するときは特に注意してください。

- 他のドライバーから見える場所で走行してください。他のドライバーの死角を避け走行してください。

- 正しい知識のないバイクの整備は絶対に行わないでください。オートバイの基本的なメンテナンスについては、オートバイ認定ディーラーにお問い合わせください。特定のメンテナンスは、認定されたスタッフのみが実行できます。

多くの事故には経験の浅い人が関与します。強化されたオペレーター。実際、事故を起こした運転者の多くは自動二輪免許を持っていません。

- あなたが資格を持っていることを確認し、他の資格のあるオペレーターにのみバイクを貸すようにしてください。

- ・自分のスキルと限界を知る。制限内にとどまることで、事故を回避できる可能性があります。
- ・オートバイとそのすべての制御に完全に慣れるまでは、交通量のない場所でオートバイの運転を練習することをお勧めします。

## 私多くの事故が起きています

バイク運転手のミスによるもの。オペレーターが犯す典型的なエラーは、速度の超過やアンダーコーナリング(速度に対してリーン角が不十分)により、ターン中に大きく方向転換することです。

・常に制限速度を遵守し、道路や交通状況で保証されている速度を超えて走行しないでください。

・方向転換または車線変更をする前には、必ず合図をしてください。他のドライバーから見えるようにしてください。

## 私オペレーターの姿勢や

適切な制御には同乗者が重要です。

・オペレータは両手をハンドルバーに置き、両足をオペレータ フットに置いてください。

バイクの制御を維持するために動作中にテストします。

・同乗者は常にオペレーター、シートストラップまたはグラブバー(装備されている場合)を両手でつかみ、両足を同乗者のフットレストの上に置いておく必要があります。乗客が両足を乗客用フットレストにしっかりと乗せることができない限り、乗客を乗せないでください。

私絶対に影響を受けて乗らないでください  
アルコールや他の薬物。

私このバイクは以下のため設計されています  
道路上でのみ使用してください。オフロードでの使用には適していません。

## 防護服

オートバイ事故による死者の大半は頭部外傷によるものです。安全ヘルメットの使用は、頭部損傷の予防または軽減において最も重要な要素です。

私必ず承認されたヘルメットを着用してください。

私フェイスシールドまたはゴーグルを着用してください。  
保護されていない目に風が入ると視力が低下し、危険の発見が遅れる可能性があります。

私ジャケットや厚手のブーツの使用、ズボン、手袋などは、擦り傷や裂傷を予防または軽減するのに効果的です。

私決して緩い服を着ないでください。  
コントロールレバーやフットレスト、車輪などに引っかかり、ケガや事故の原因となることがあります。

私常に防護服を着用してください  
脚、足首、足をカバーします。エンジンや排気システムは運転中または運転後に非常に高温になり、火傷を引き起こす可能性があります。

私乗客も遵守する必要があります  
上記の注意事項。

**一酸化炭素中毒を避ける** すべてのエンジンの排気ガスには、致死性のガスである一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸い込むと、頭痛、めまい、眠気、吐き気、錯乱を引き起こし、最終的には死亡する可能性があります。

一酸化炭素は無色、無臭、無味の気体であり、エンジンの排気ガスを見たり匂いを嗅いだりしなくても存在する可能性があります。致死レベルの一酸化炭素が急速に蓄積し、すぐに圧倒され、自分を救うことができなくなる可能性があります。また、致命的な

密閉された場所や換気の悪い場所では、一酸化炭素濃度が数時間または数日にわたって残留する可能性があります。一酸化炭素中毒の症状が現れた場合は、直ちにその場を離れ、新鮮な空気を吸って医師の治療を受けてください。

私屋内でエンジンを始動させないでください。たとえファンでエンジンの排気を換気しようとしたり、窓やドアを開けようとすると、一酸化炭素が急速に危険なレベルに達する可能性があります。

私換気の悪い場所でエンジンを作動させないでください。  
納屋、ガレージ、カーポートなどの屋根付きまたは部分的に囲まれたエリア。

私 エンジンの排気が窓やドアなどの開口部から建物内に引き込まれる可能性がある屋外でエンジンを運転しないでください。

## 読み込み中

オートバイにアクセサリーや荷物を追加すると、オートバイの重量配分が変化すると、安定性やハンドリングに悪影響を及ぼす可能性があります。事故の可能性を避けるため、オートバイに荷物や付属品を追加するときは細心の注意を払ってください。使用

荷物やアクセサリーを追加したバイクに乗るときは、特に注意してください。ここでは、以下のアクセサリに関する情報とともに、オートバイに荷物を積み込む際に従うべき一般的なガイドラインをいくつか示します。

オペレーター、乗客、付属品、貨物の総重量が最大積載量制限を超えてはなりません。**過積載車両の運転は事故を引き起こす可能性があります。**

### 最大荷重：

171kg (377ポンド)

この重量制限内で荷物を積む場合は、次の点に注意してください。

私 荷物と付属品の重量はできるだけ低く、オートバイの近くに置く必要があります。最も重い荷物はできるだけ車両の中央近くにしっかりと梱包し、必ず分散してください。

できるだけ均等に体重をかけてください。の両側でのbleは重要な決定です。

オートバイの不均衡や不安定性を最小限に抑えます。

私体重を変えると、衝撃が生じことがあります。  
書斎のアンバランス。確認してください。

走行前に、アクセサリや荷物をバイクにしっかりと取り付けてください。アクセサリマウントと貨物拘束を頻繁に確認してください。

- 荷重に応じてサスペンションを適切に調整し（サスペンション調整可能なモデルのみ）、タイヤの状態と空気圧を確認してください。

- ハンドルバー、フロントフォーク、フロントフェンダーには大きなものや重いものを絶対に取り付けないでください。寝袋、ダッフルバッグ、テントなどの荷物を含むこれらの物品は、ハンドリングが不安定になったり、ステアリングの反応が遅くなったりする可能性があります。

私この車両は次のように設計されていません  
トレーラーを牽引したり、サイドカーに取り付けたりできます。

## ヤマハ純正アクセサリー あなたの車のアクセサリーを選ぶ

### 本物

ヤマハのアクセサリーは、ヤマハディーラーからのみ入手可能で、あなたの車両で使用できるようにヤマハによって設計、テスト、承認されています。

ヤマハと関係のない多くの企業が、ヤマハ車の部品や付属品を製造したり、その他の改造を提供したりしています。ヤマハは、これらのアフターマーケット企業が製造する製品をテストする立場にありません。したがって、ヤマハは、たとえヤマハ特約店が販売および取り付けたとしても、ヤマハが販売していないアクセサリの使用や、ヤマハが特に推奨していない改造の使用を推奨または推奨することはできません。

## アフターマーケット部品、アクセサリ、および改造

ヤマハの純正アクセサリーとデザインや品質が似ているアフターマーケット製品を見つけることもできますが、一部のアフターマーケットアクセサリーや改造品は、あなたや他の人にとって安全上の危険が生じる可能性があるため、適切ではないことを認識してください。アフターマーケット製品を取り付けたり、車両の設計や操作特性を変更するその他の改造を車両に施すと、あなたや他の人が重傷を負ったり死亡したりする危険が高まります。車両の変更に関連した怪我については、お客様の責任となります。

アクセサリを取り付けるときは、「取り付け」に記載されているガイドラインと同様に、次のガイドラインに留意してください。

付属品を取り付けたり、持ち運んだりしないでください  
オートバイの性能を損なう可能性のある荷物。使用する前にアクセサリを注意深く検査し、最低地上高やコーナリングクリアランスを低下させたり、サスペンションの移動、ステアリングの移動や制御操作を制限したり、ライトや反射板を妨げたりしていないかを確認してください。

- ハンドルバーまたはフロントフォーク部分に取り付けられたアクセサリーは、不適切な重量配分や空力変化により不安定性を引き起こす可能性があります。ハンドルバーまたはフロント フォーク領域にアクセサリを追加する場合は、可能な限り軽量にし、最小限に抑える必要があります。

- かさばるまたは大きな付属品は、空力効果によりオートバイの安定性に重大な影響を与える可能性があります。風によってバイクが持ち上げられようしたり、横風でバイクが不安定になる場合があります。これら

また、大型車両が追い越すとき、または追い越されるときに、アクセサリーが不安定になる可能性があります。

- 特定のアクセサリにより、オペレータは通常の乗車位置から移動する可能性があります。この不適切な位置により、オペレータの動きの自由が制限され、制御能力が制限される可能性があるため、このようなアクセサリは推奨されません。

私電気を加えるときは注意してください。  
カリフォルニアのアクセサリー。  
電気アクセサリがオートバイの電気システムの容量を超えると、電気的な故障が発生し、ライトやエンジン出力の危険な損失を引き起こす可能性があります。

**アフターマーケットタイヤとリム** オートバイに付属のタイヤとリムは、パフォーマンス能力に適合し、ハンドリング、ブレーキ、快適性の最適な組み合わせを提供するように設計されています。他のタイヤ、リム、サイズ、組み合わせは適切ではない場合があります。タイヤの仕様およびタイヤの整備と交換については、7-15 ページを参照してください。

**バイクの輸送** バイクを別の車両で輸送する場合は、次の注意事項を必ず守ってください。

私は緩んでいるアイテムをすべて取り除きます

オートバイ。

私は燃料コック（装備されている場合）を確認してください。

ped) ガオフの位置にあり、燃料漏れがないことを確認します。

私はトランスミッションをギアに入れます（マニュアルトランスミッション搭載モデルの場合）。

私はバイクをタイで固定し、

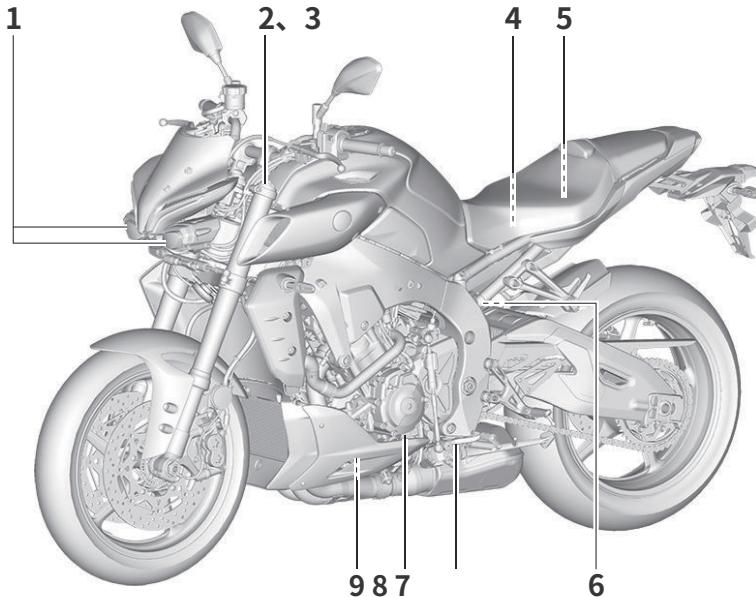
ダウンまたは適切なストラップは、フレームやフロントフォーク上部トリブルクランプなどのオートバイの固体部分に取り付けられています（ゴムで取り付けられたハンドルバーや方向指示器、または破損する可能性のある部品には取り付けられません）。輸送中にストラップが塗装面に擦れないように、ストラップの取り付け位置を慎重に選択してください。

私はサスペンションは作動するはずです可能であれば、輸送中にバイクが過度に跳ね返らないように、タイダウンである程度押さえてください。

## 左側面図

EAU10411

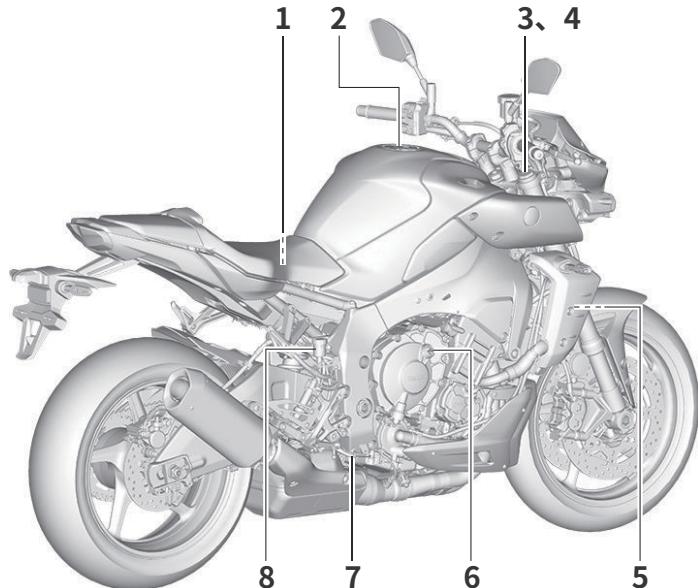
2



1. ヘッドライト (7-31ページ)
2. ERSカブラー (4-36ページ)
3. スプリングブリロードアジャスター (4-36ページ)
4. バッテリー (7-28ページ)
5. ヒューズ (7-29 ページ)
6. スプリングブリロードアジャスター (4-37ページ)
7. シフトペダル (4-29ページ)
8. エンジンオイル量確認窓 (7-10ページ)
9. エンジンオイルフィルターカートリッジ (7-10ページ)

## 右図

2

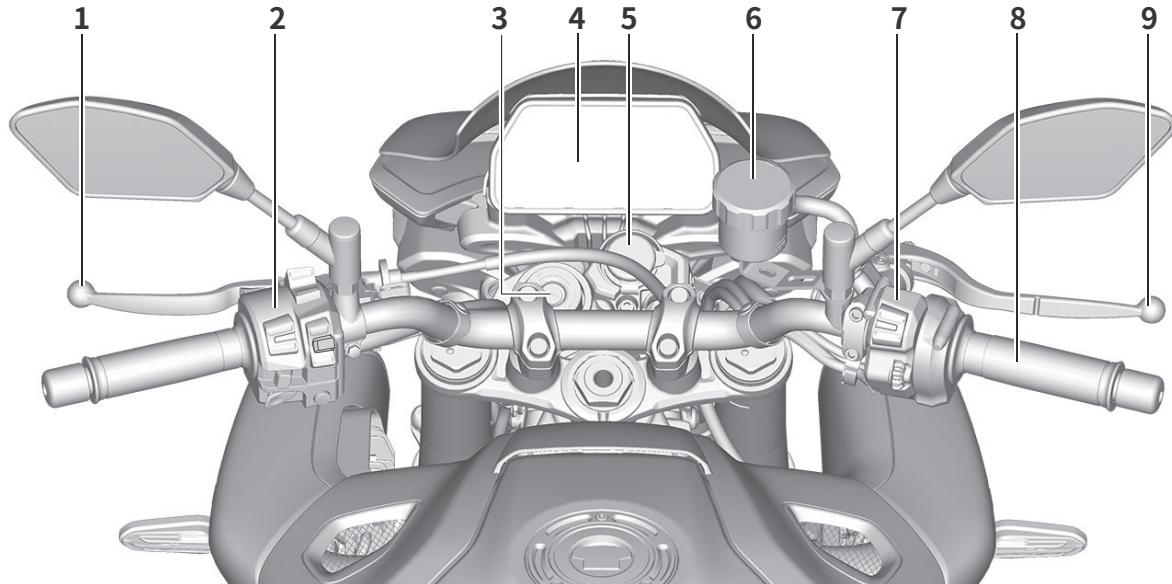


1. ツールキット (7-2ページ)  
2. 燃料タンクキャップ (4-32ページ)  
3. ERSカブラー (4-36ページ)  
4. スプリングプリロードアジャスター (4-37ページ)  
5. クーラントリザーバー (7-11ページ)  
6. エンジンオイルフィラーキャップ (7-10ページ)  
7. ブレーキペダル (4-30ページ)  
8. リアブレーキ液リザーバー (7-20 ページ)

## コントロールと計器

EAU10431

2



- 1. クラッチレバー (4-29ページ)
- 2. 左ハンドルスイッチ (4-3ページ)
- 3. メインスイッチ/ステアリングロック (4-2ページ)
- 4. インパネ (4-5、4-9ページ)
- 5. 電源コンセント (4-39ページ)
- 6. フロントブレーキフルードリザーバー (7-20ページ)
- 7. 右ハンドルスイッチ (4-3ページ)
- 8. スロットルグリップ

- 9. ブレーキレバー (4-30ページ)

EAU93653

## YRC（ヤマハライドコントロール）

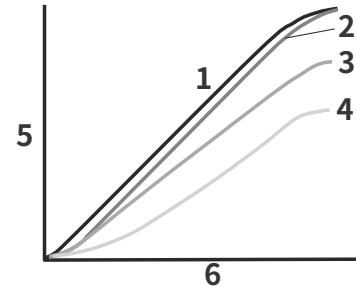
ヤマハライドコントロールは、数多くのセンサーと制御を組み込んで、乗り心地の向上をサポートするシステムです。車両は、縦方向（前から後ろ）、横方向（左から右）、

および垂直（上下）軸。傾く密かに角度とG加速度も検出されます。この情報は1秒間に複数回処理され、関連する物理システムは必要に応じてYRC設定でのモーターサイクルの動作範囲を試みる前に、さまざまに調整されます。以下の機能は、さまざまなYRC設定でのモーターサイクルの扱い方を十分に理解してください。イダーや走行条件に合わせてオン/オフまたは調整できる個々のYRCアイテムを表します。設定の詳細については、4-15、4-19ページをご覧ください。

コーナリング進入時、急なリーンアングルでの急加速時、またはブレーキング時の過度の速度によるトラクションの低下が発生し、前輪のスリップや前輪の浮き上がりを防ぐことはできません。他のオートバイと同様に、常に制限内で走行し、周囲の状況に注意し、適切な運転を行ってください。

のためこれららの条件。

またYRC設定でのモーターサイクルの扱い方を十分に理解してください。



3

- 1.PWR1
- 2.PWR2
- 3.PWR3
- 4.PWR4
- 5.スロットルバルブ開度
- 6.スロットルグリップの操作

## PWR

パワーデリバリーモードシステムは、スロットルグリップ操作量に応じてスロットルバルブ開度を制御する4種類の制御マップで構成されており、好みや走行環境に合わせてモードを選択できます。

## トラクションコントロールシステム

トラクションコントロールシステムは、加速時のトラクションの維持に役立ちます。後輪が滑り始めている（制御不能な空転）ことをセンサーが検出すると、トラクションコントロールシステムは、トラクションが回復するまで必要に応じてエンジン出力を調整して支援します。トラクションコントロールシステムのインジケーター/警告灯が点滅し、トラクションコントロールが作動したことをライダーに知らせます。

EWA18221

## 警告

ヤマハライドコントロール（YRC）システムは、適切なライディングテクニックやオペレーターの専門知識に代わるものではありません。このシステムは、道路や交通状況で保証されている速度を超えて走行するなど、ライダーのミスによって引き起こされるコントロールの喪失を防ぐことはできません。

# 特別な機能

3

このトラクションコントロールシステムは、車両の傾斜角に応じて自動的に調整されます。加速を最大化するために、車両が直立しているときは、より少ない量のトラクションコントロールが適用されます。コーナリング時には、より大きなトラクションコントロールが適用されます。



トラクションコントロールシステム

## ヒント

私トラクションコントロールシステムは、車両が段差を乗り越えるときに作動します。

私わずかな変化に気づくかもしれません

トラクションコントロールやその他のYRCシステムが作動すると、エンジン音と排気音が鳴ります。

私トラクションコントロールシステムの場合

SCSとLIFがオフになっている  
も自動的にオフになります。

## 警告

トラクションコントロールシステムは、状況に応じた適切なライディングの代わりとなるものではありません。トラクションコントロールは、旋回進入時、急な傾斜角での急加速時、またはブレーキ時の速度超過によるトラクションの損失を防ぐことはできず、前輪のスリップを防ぐことはできません。他の車両と同様に、滑りやすい路面には注意して接近し、特に滑りやすい路面は避けてください。

キーを「ON」になると、トラクションコントロールシステムが自動的にオンになります。トラクションコントロールシステムは、キーが「ON」位置にあり、バイクが停止している場合にのみ、手動でオンまたはオフすることができます。

## ヒント

バイクが泥、砂、その他の柔らかい路面にはまった場合、トラクションコントロールシステムをオフにして後輪を解放します。

EWA15433

ECA16801

## 知らせ

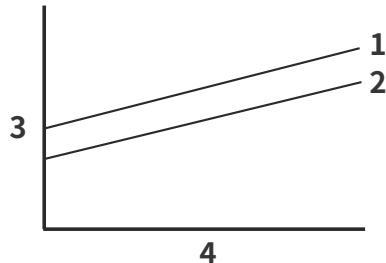
指定されたタイヤのみを使用してください。  
(7-15ページ参照) 異なるサイズのタイヤを使用すると、トラクションコントロールシステムがタイヤの回転を正確に制御できなくなります。

## SCS

スライドコントロールシステムは、後輪の横滑りを検出したときにエンジン出力を調整します。IMUからのデータに基づいて出力を調整します。トラクションコントロールシステムをサポートし、スムーズな乗り心地に貢献します。

## EBC

エンジンブレーキマネジメントシステムは、減速時のエンジントルクを低減します。燃料噴射、点火時期、電子スロットルバルブはECUによって電子的に調整されます。コース、走行状況、または個人の好みに合わせて2つの設定があります。



- 1. EBM1
- 2. EBM2
- 3. エンジンブレーキ力
- 4. エンジン回転数

## 警告

低いギアにシフトする前に、エンジンが十分に減速していることを確認してください。エンジン速度が高すぎると同時に低いギアに入れると、後輪のトラクションが失われる可能性があります。コントロールを失い、事故や怪我を引き起こす可能性があります。エンジンやドライブトレインの損傷を引き起こす可能性もあります。

### クイックシフター

クイックシフターにより、クラッチレバーレスの電子アシスト変速が可能です。

EWA20880

シフトロッドのセンサーがシフトペダルの適切な動きを検出すると、ギアチェンジができるようエンジン出力が一時的に調整されます。

クラッチレバーを引いた状態ではクイックシフターは作動しませんので、クイックシフターをONにしても通常の変速が可能です。現在のステータスと使用感については、クイックシフターインジケーターを確認してください。

クイックシフターの使いやすさ	インジケータ
シフトアップOK	QS▲▼
シフトダウンOK	QS△▼
シフトアップもシフトダウンもOK	QS▲▼
クイックシフターは使用できません	QS△▼
クイックシフターがオフになっている	QS

### シフトアップ条件

私車速20km/h以上

(12 マイル/時)

私エンジン回転数が少なくとも 2100 r/min

### シフトダウン条件

私車速20km/h以上

(12 マイル/時)

私エンジン回転数が少なくとも 2000 r/min

私エンジン回転数が十分に離れている  
レッドゾーンから

## ヒント

私QS ▲ そしてQS ▼ 個性的になります

味方セット。

私ニコートラルへのシフト、またはニュートラルからのシフトは必須です  
クラッチレバーを使って行います。

## ライフ

リフト制御システムは、発進時やコーナー脱出時などの極端な加速時に前輪が上昇し続ける速度を低減します。前輪の浮き上がりが検出されると、前輪の浮き上がりを抑制しながら良好な加速を実現するためにエンジン出力が調整されます。

## 紀元前

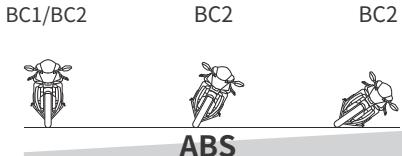
ブレーキ制御システムは、ブレーキがかからってホイールロックが検出されたときに、前輪と後輪のブレーキ油圧を調整します。このシステムには2つの設定があります。

# 特別な機能

3

BC1は標準のABSで、車速と車輪速度のデータに基づいてブレーキ圧力を調整します。BC1は、車両が直立しているときにブレーキを作動させ、最大のブレーキをかけるように設計されています。

BC2は、IMUからの追加データを使用してコーナリング時に適用されるブレーキ力を調整し、横方向の車輪の滑りを抑制します。



EWA20891



警告

ブレーキ制御システムは、適切なライディングおよびブレーキテクニックの使用に代わるものではありません。ブレーキ制御システムは、過度の速度や横方向からのオーバーブレーキによるトラクションの損失をすべて防ぐことはできません。

滑りやすい路面でブレーキをかけたときの車輪の滑り。

## ERS

オーリンズ®の電子レーシングサスペンションは、自動サスペンション制御モードの設定変更を状況に応じて簡素化するためのOBTi(目標ベースチューニングインターフェイス)を備えています。さらに、従来のサスペンションセットアップを微調整できるマニュアルモードもあります。ERSシステムはSCUによって制御され、フロントとリアのサスペンションの縮み側ストロークと伸び側ストロークの減衰力を独立して調整できます。自動モードでは、走行状況に応じてサスペンションの減衰力を調整します。

EAU93660

## 用語集

ABS - アンチロックブレーキシステム  
ECU - アンチロックブレーキシステム電子制御ユニット

BC - ブレーキ制御

EBM - エンジンブレーキマネジメント  
ECU - エンジンコントロールユニット

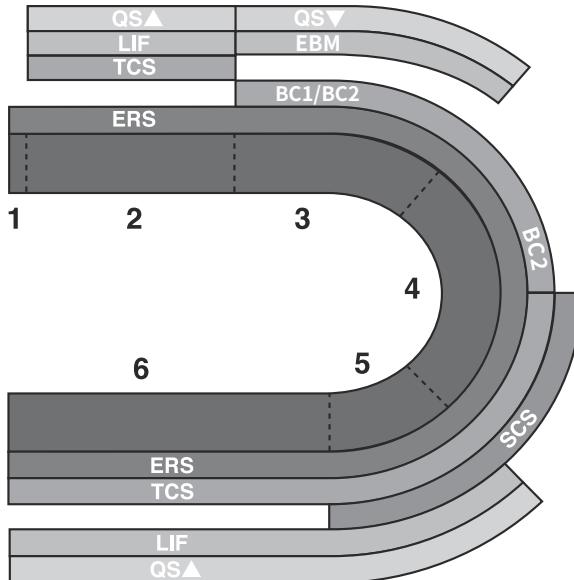
ERS - エレクトロニックレーシングサスペンション  
IMU - 慣性測定ユニット  
LIF - リフトコントロールシステム

PWR - 電力供給モード  
SC - 安定性制御

SCS - スライドコントロールシステム  
SCU - サスペンションコントロールユニット  
YRC - ヤマハライドコントロール

## YRC機能ビジュアルガイド

3



1. スタート
2. 加速
3. ブレーキング
4. アベックス
5. 終了
6. ストレートアウェイ

# 特別な機能

3

## クルーズコントロールシステム

スロットルを手で開け続けなくても、設定した巡航速度を維持できるクルーズコントロールシステムを搭載しています。

クルーズコントロールシステムは、4速、5速、または6速で約50 km/h(31 mi/h)～192 km/h(119 mi/h)の速度で走行している場合にのみ作動します。

EAU94382

## 警告

私クルーズコントロールの不適切な使用  
トロールシステムを使用すると制御  
が失われ、事故につながる可能性が  
あります。交通渋滞、悪天候、曲がりくねった道、滑りやすい道、丘陵  
地帯、でこぼこした道、砂利道で  
は、クルーズコントロールシステム  
を作動させないでください。

私上り坂や下り坂を走行するときは、  
ヒル、クルーズコントロールシステム  
を維持できない可能性があります

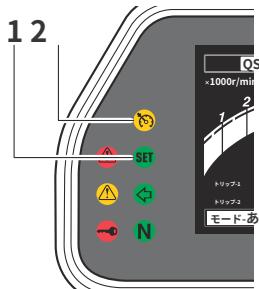
クルージングを設定する おしこをしました。

私を防ぐには 誤って起動してしまう-  
クルーズ中 制御システム、

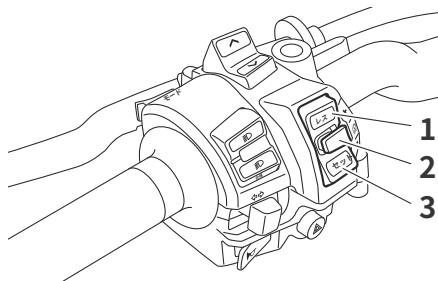
消してください enは使用されていません。作る

EWA21240

クルーズコントロールシステム表示灯「」が消  
灯していることを確認してください。



1. クルーズコントロール設定表示灯「SET+」
2. クルーズコントロールシステム表示灯「」



1. Cruise Control/YVSL Setting Switch 「RES+」
2. Cruise Control/YVSL Power Switch 「uis MODE」
3. Cruise Control/YVSL Setting Switch 「SET-」

## クルーズコントロールシステムの起動 と設定

1. 左ハンドルバーにあるクルーズコントロール/YVSL電源スイッチ「」を押します。クルーズコントロールシステム表示灯「」が点灯します。
2. クルーズコントロール/YVSL設定スイッチの「SET-」側を押してクルーズコントロールシステムを作動させます。現在の走行速度が設定巡航速度となります。クルーズコントロール設定表示灯「」が点灯します。

**設定巡航速度の調整** クルーズコントロールシステム作動中にクルーズコントロール/YVSL設定スイッチの「RES+」側を押すと設定速度が上がり、「SET-」側を押すと設定速度が下がります。

## ヒント

設定スイッチを1回押すと、設定速度が約1.0km/h単位で変化します。設定スイッチを押し続けると、設定速度が10km/h単位で変更されます。

スロットルを使用して手動で移動速度を上げることもできます。加速後、設定スイッチの「SET-」側を押すと新たな巡航速度を設定できます。新しい巡航速度を設定しない場合、スロットルを下げると、車両は以前に設定した巡航速度まで減速します。

## ヒント

現在のクルーズコントロール速度設定は、車両情報ディスプレイで確認できます。（4-11ページ参照）

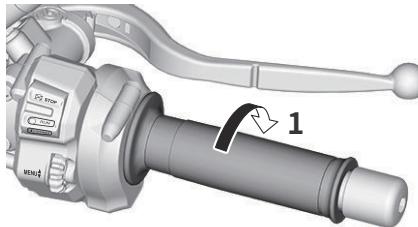
## クルーズコントロールシステムを無効にする

設定した巡航速度を解除するには、次のいずれかの操作を行ってください。

**■ 表示灯が消灯します。**

私スロットルグリップを回してください。

減速方向では閉位置になります。



### 1. 減速方向

私前輪または後輪のブレーキをかけます。

私クラッチを切ってください。

私ギアをシフトする

クルーズコントロール/YVSL電源スイッチ「**」**を押してクルーズコントロールシステムをオフにします。「**」**表示灯と「**」**表示灯が消灯します。

## ヒント

クルーズコントロールシステムが無効になるとすぐに走行速度が低下します。スロットルグリップを回さないと。

**レジューム機能を使う** クルーズコントロール/YVSL設定スイッチの「RES+」側を押すと、クルーズコントロールシステムが再度作動します。走行速度が元に戻ります。

巡航速度は適当に設定。「**」**表示灯が点灯します。

EWA16351

## 警告

以前に設定した巡航速度が現在の状況に対して速すぎる場合にレジューム機能を使用するのは危険です。

## ヒント

システム動作中にクルーズコントロール/YVSL電源スイッチ「**」**を押すと、システムが完全にオフになり、以前に設定した巡航速度が消去されます。新しい巡航速度が設定されるまで、レジューム機能は使用できません。

## クルーズコントロールの自動無効化システム

このモデルのクルーズコントロールシステムは電子制御されており、他の制御システムと連動しています。クルーズコントロールシステムは、次の条件下では自動的に無効になります。

# 特別な機能

3

私クルーズコントロールシステムはありません  
設定した巡航速度を維持することができます。

私ホイールスリップまたはホイールスピニングが検出されます。

編(トラクションコントロールシステムがオフになっていない場合、クルーズコントロールシステムが作動している間、トラクションコントロールシステムは通常動作します)

私スタート/エンジンストップスイッチが設定されている「」の位置へ。

私エンジンが停止してしまう。

私サイドスタンドが下がっています。  
設定した巡航速度で走行しているとき、上記の状態でクルーズコントロールシステムが解除されると、「

 「表示灯が消灯します」

そしてその  表示灯が点滅します

4秒間待ってから消えます。

設定した巡航速度で走行していないとき、スタート/エンジンストップスイッチが「」の位置にある場合、 エンジンが停止する場合、またはサイドスタンドが下がっている場合は、「」表示灯  消灯します（「」表示灯は消灯しません）。フラッシュではありません）。

クルーズコントロールシステムが自動的に無効になった場合は、車を停止し、車両が正常に動作していることを確認してください。

クルーズコントロールシステムを再度使用する前に、クルーズコントロール/YVSL電源スイッチ「」を使用してクルーズコントロールシステムを有効にしてください 

## ヒント

場合によっては、車両が上り坂または下り坂を走行しているときに、クルーズコントロールシステムが設定した巡航速度を維持できないことがあります。

私車が上り坂を走行しているとき、実際の走行速度は設定した巡航速度よりも遅くなる場合があります。この場合は、スロットルを作動して希望の走行速度まで加速してください。

## 私車両走行時

下り坂では、設定した巡航速度より実際の走行速度が高くなる場合があります。この場合、クルーズコントロール/YVSL設定スイッチによる設定巡航速度の調整はできなくなります。走行速度を下げるにはブレーキをかけてください。ブレーキを踏むとクルーズコントロールシステムが停止します。

EAU93493

## ヤマハ可変速

### リミッター(YVSL)

ライダーが設定した最高速度に車両を制限するヤマハ可変スピードリミッター(YVSL)を搭載したモデルです。

YVSLは、50 km/h (31 mi/h)から192 km/h (119 mi/h)までの任意の速度制限に設定できます。設定速度に達すると、スロットル制御を行わずに設定速度を超えないようエンジン出力を制限します。

EWA21200



### 私YVSLシステムの不適切な使用

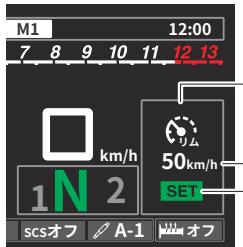
制御不能となり、事故につながる恐れがあります。交通量が多いとき、悪天候時、または曲がりくねった、滑りやすい、丘陵地帯、でこぼこした道路、または砂利道では、YVSLシステムを作動させないでください。

私YVSLシステムが正しく動作していない可能性があります。

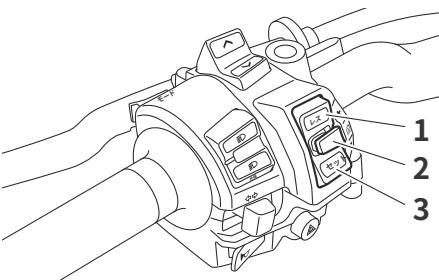
上り坂、下り坂、急加速時などに設定した制限速度を守ることができます。

## 私誤って起動しないようにするには、

YVSLシステムを使用していないときは、システムをオフにしてください。YVSL表示がオフになっていることを確認します。



- 1.YVSL表示
- 2.速度設定インジケーター
- 3.YVSL「」+SET インジケーターアイコン



- 1.クルーズコントロール/YVSL 設定スイッチ「RES+」

- 2.クルーズコントロール/YVSL電源スイッチ「MODE」

- 3.クルーズコントロール/YVSL設定スイッチ「SET-」

## ヒント

下り坂走行時や急加速時、変速直後などは、YVSLシステムが設定速度を維持できない場合があります。

## 私車両が設定を超えた場合

制限速度が5 km/h (3 mi/h) 以上で3秒以上続くと、車速が制限内に低下するまでSET YVSLインジケーターの「」アイコンが点滅します。

## 私車の走行速度が以下の場合

設定速度を超えた場合はブレーキをかけてください。

YVSLが解除されると、エンジン出力の制限が徐々に解除され、ライダーによるスロットルの完全な制御へのスムーズな移行が保証されます。

## YVSLの有効化と設定

- 1.左ハンドルバーにあるクルーズコントロール/YVSL 電源スイッチ「」を押します。クルーズコントロール

システム表示灯「」が点灯します。

- 2.クルーズコントロール/YVSL 電源スイッチ「」をもう一度押して、YVSLスタンバイモードに切り替えます。燃料計（トラックモードのギアインジケーター）は、YVSL「」インジケーターアイコンと速度設定インジケーターを備えSET YVSLディスプレイに置き換れます。
- 3.クルーズコントロール/YVSL設定スイッチの「SET-」側を押してYVSLを作動させます。YVSLインジケーター「」アイコンが点灯し、YVSL速度設定インジケータに表示される現在の走行速度に制限速度が設定されます。

## ヒント

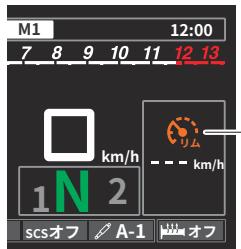
私クルーズコントロール/YVSLを押すクルーズコントロールシステム作動中、クルーズコントロール設定表示灯「」が点灯中に電源スイッチ「」を押すSET YVSLスタンバイモードに切り替わります。

私クルーズコントロールシステムと、YVSL制御システムは両方を同時にアクティブにすることはできません。

# 特別な機能

## 私速度設定の色が

ディケーターアイコンが変化して点滅している場合は、ヤマハ販売店で車両の点検を依頼してください。



1. 速度設定表示アイコン

## 制限速度の調整

YVSL作動中にクルーズコントロール/YVSL設定スイッチの「RES+」側を押すと設定速度が上がり、「SET-」側を押すと設定速度が下がります。

## ヒント

設定をプッシュする 一度切り替える  
設定速度を約1.0k変更 の増分で

m/h (1.0 マイル/時)。

設定を保持する

魔女は変わる

設定速度は 10 km/h (10 mi/h) 単位で増加します。

## YVSL の非アクティビ化

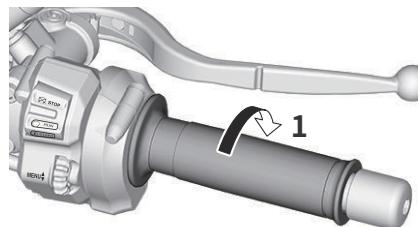
YVSL が解除されると、エンジン出力の制限が徐々に解除され、ライダーによるスロットルの完全な制御へのスムーズな移行が保証されます。

YVSL を非アクティビ化するには、次のいずれかの操作を実行します。

私スロットルグリップを回してください。

減速方向では閉位置になります。

YVSL 「」 インジケーター アイコンが消え、システムはスタンバイモードに戻ります。



1. 減速方向

私クルーズコントロール/YVSLを押します  
にある電源スイッチ「」

左ハンドルバー。 YVSL 表示が消え、燃料計（トラックモードのギア表示）に戻ります。

レジューム機能を使う スタンバイモード時にクルーズコントロール/YVSL設定スイッチの「RES+」側を押すとYVSLが再作動します。制限速度は以前に設定した制限速度に戻ります。 YVSL 「」 インジケーターアイコンが点灯します

EWA21210

## 警告

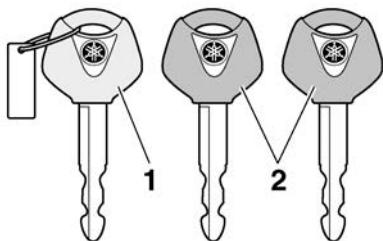
以前に設定した制限速度が現在の状況に対して低すぎる場合にレジューム機能を使用するのは危険です。

## ヒント

YVSL システム作動中にクルーズコントロール/YVSL 電源スイッチ「」を押すと、システムが完全にオフになります。新しい速度制限が設定されるまで、レジューム機能は使用できません。

## イモビライザーシステム

EAU1097B



1. コード再登録キー（赤リボン）
2. 標準キー（黒弓）

この車両には、標準キーにコードを再登録することで盗難を防止するイモビライザーシステムが装備されています。このシステムは以下から構成されます。

- 私コード再登録キー
- 私2つの標準キー
- 私 トランスポンダー(各キー内)
- 私 イモビライザーユニット(車両側) ECU(車両側)
- 私システムインジケータライト(ページ4-7)

### 鍵について

コード再登録キーは、各標準キーにコードを登録するために使用します。コード再登録キーは大切に保管してください。日常の操作には標準キーを使用してください。

キーの交換や再登録が必要な場合は、車両とコード再登録キー、および残っている標準キーをヤマハ販売店にご持参いただき、再登録を行ってください。

### ヒント

私標準キーだけでなく、他のイモビライザーシステムのキーをコード再登録キーから離してください。

私他のイモビライザーシステムを維持する信号干渉を引き起こす可能性があるため、キーをメインスイッチから離してください。

車両を始動するために引き続き使用できます。ただし、標準キーの新規登録はできません。すべてのキーを紛失または破損した場合は、イモビライザーシステム全体を交換する必要があります。したがって、キーは慎重に扱ってください。

私水に浸さないでください。  
私高温にさらさないでください。

トゥース。

私磁石の近くに置かないでください。  
私物品の近くに置かないでください。

電気信号を伝達します。

私乱暴に扱わないでください。

私研磨したり、加工したりしないでください。

私分解しないでください。

私どのイメージにも2つのキーを置かないでください。

同じキーホルダーにモビライザーシステムを搭載。

### 知らせ

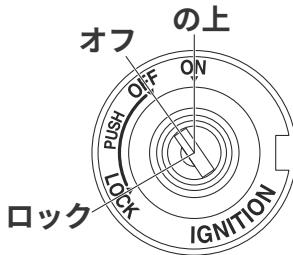
コード再登録キーを紛失しないように注意してください。紛失した場合は、直ちに販売店にご連絡ください。コード再登録キーを紛失した場合、既存の標準キーは

ECA11823

# 計測器および制御機能

4

## メインスイッチ/ステアリングロック



EAU10474

の上。エンジンは始動可能です。キーは削除できません。

### ヒント

私ヘッドライトは次の場合に点灯します。

エンジンが始動します。

私バッテリーの消耗を防ぐため、次のことを行わないでください。

エンジンを始動せずにキーを「ON」の位置に置いたままにしてください。

メインスイッチ/ステアリングロックは、点火システムと照明システムを制御し、ステアリングをロックするために使用されます。さまざまな位置についての以下で説明します。

### ヒント

通常の車両の使用には必ず標準キー（黒弓）を使用してください。コード再登録キー（赤いリボン）を紛失するリスクを最小限に抑えるため、コードを再登録する場合にのみ使用し、安全な場所に保管してください。

### の上

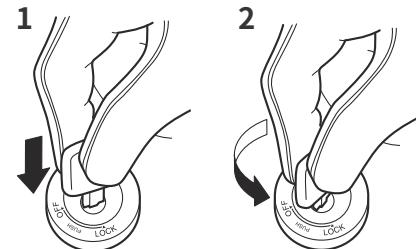
すべての電気回路に電力が供給され、車両のライトが点灯します。

EAU84035

### ロック

ステアリングはロックされ、すべての電気システムがオフになっています。キーは取り外し可能です。

### ステアリングをロックするには



EAU10664

### オフ

すべての電気システムがオフになっています。キーは取り外し可能です。

EWA10062

### 警告

走行中は絶対にキーを「OFF」または「LOCK」にしないでください。そうしないと、電気システムのスイッチがオフになり、制御不能または事故が発生する可能性があります。

EAU73803

1. 押します。

2. 回転します。

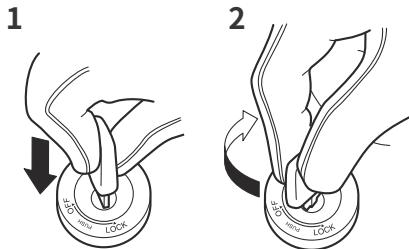
1. ハンドルバーを左いっぱいに切れます。
2. キーを「OFF」の位置で押し込み、「LOCK」まで回します。
3. キーを取り外します。

### ヒント

ステアリングがロックしない場合は、ハンドルバーを少し右に戻してみてください。

# 計測器および制御機能

ステアリングのロックを解除するには



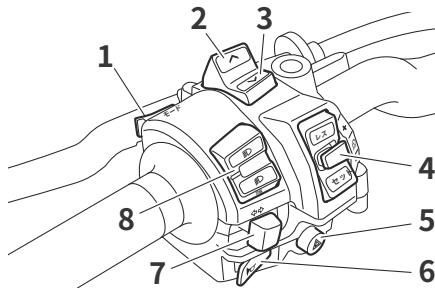
1.押します。

2.回転します。

キーを押し込んで「OFF」にします。

## ハンドルスイッチ

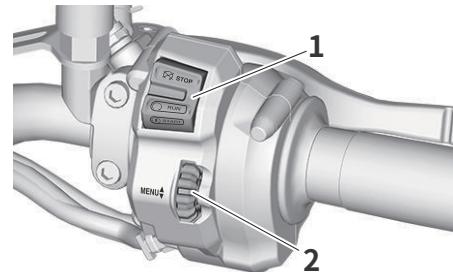
左



1. 「MODE」スイッチ
2. モードアップ 「」スイッチ
3. モードダウン 「」スイッチ
4. クルーズコントロール/VSLスイッチ
5. ハザードスイッチ 「」
6. ホーンスイッチ 「」
7. ウインカースイッチ 「/」
8. ディマー/パススイッチ 「//合格」

EAU66059

右



4

1. 停止/実行/開始スイッチ

2. ホールスイッチ

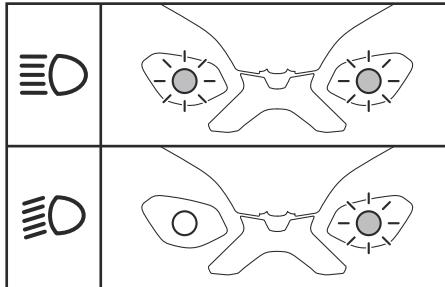
EAU91630

## ディマー/パススイッチ 「/ 合格」

このスイッチを「」に設定します。 高いもののためにロービームの場合は「」へ。ヘッドライトがロービームに設定されているときに、スイッチを「PASS」方向に押し下げるときハイビームが点滅し、ラップタイマー使用時に各ラップの開始をマークします。

# 計測器および制御機能

4



EAU66040

## ワインカースイッチ「leftrightarrow」

右折の合図をする場合は、このスイッチを「」側に押します。左折の合図をするには、このスイッチを「」側に押します。手を離すとスイッチは中央の位置に戻ります。ワインカーの点灯を解除するには、スイッチをセンター位置に戻してから押し込みます。

EAU66030

## ホーンスイッチ「」

このスイッチを押すとホーンが鳴ります。

EAU94790

Sトップ/Run/スタートスイッチ「」  
Tタでエンジンをクランкиングする  
thは「」に切り替えてから p 急ぐ  
s「」に向かって下ります セ ページ

エンジン始動前の始動指示については6-2を参照してください。

車両の転倒などの緊急時にエンジンを停止させる場合は、このスイッチを「」にします。

EAU91670

## ハザードスイッチ「△」

このスイッチを使用して、ハザードライトをオンにします(すべての方向指示器ライトが同時に点滅します)。ハザードランプは、緊急の場合や、交通の危険がある場所で車両が停止しているときに他のドライバーに警告するために使用されます。

ハザードランプはキーが「ON」の位置にある場合にのみ点灯または消灯できます。メインスイッチを「OFF」または「LOCK」の位置にすると、ハザードランプが点滅し続けます。ハザードランプを消すには、メインスイッチを「ON」にして、再度ハザードスイッチを操作してください。

ECA10062

## 知らせ

ハザードランプを危険な状態で長時間使用しないでください。

エンジンが動作していないと、バッテリーが放電する可能性があります。

EAU94151

**クルーズコントロール/YVSLスイッチ** クルーズコントロールシステムの説明は3-6ページをご覧ください。

YVSLの説明については、3-8ページを参照してください。

EAU93611

**「MODE」とセレクトスイッチ「MODE」** スイッチ、MODE アップ「」スイッチ、MODE ダウン「」スイッチを使用して、▼ YRC モードを変更したり、メイン画面から PWR、TCS、SCS、ERS 設定を編集したりできます。

**モードアップ** 「」-このスイッチを押すと、選択されている YRC 設定が上に変更されます。

**「モード」**-このスイッチを押すと、MODE、PWR、TCS、SCS、ERS の項目間を左から右にスクロールします。

**モードダウン** 「」-このスイッチを押すと、選択されている YRC 設定が下方向に変更されます。

## ヒント

私トラクションコントロールシステムは、メインからのみオフにできます

画面。「MODE」スイッチでTCSを選択し、TCS OFFが表示されるまでMODE上「」スイッチを押し続けます。トラクションコントロールシステムを再びオンにするには、MODEダウン「」スイッチを使用します。

私トラクションコントロールシステムの場合  
がオフになると、すべてのYRCモードでSCSおよびLIFシステムもオフになります。

私「YRC設定」ページを参照してください。

YRCモードをカスタマイズし、YRC項目の設定レベルを調整する方法の詳細については、4-19を参照してください。

## ホイールスイッチ「」

メイン画面がSTREET MODEに設定されている場合、ホイールスイッチを使用して情報表示項目のスクロールとリセットを行います。メイン画面がTRACK MODEに設定されている場合、ホイールスイッチを使用して情報表示項目をスクロールおよびリセットし、

!をアクティブにするには アップタイマー。

dのとき 私私変更されました  
MENU画面、ホイールを使用

スイッチを使用して設定モジュールに移動し、設定を変更します。

ホイールスイッチは次のように操作します。  
上に回転-ホイールを上に回すと上/左にスクロールしたり、設定値を増やしたりできます。下に回転-ホイールを下に回転して下/右にスクロールするか、設定値を減らします。

**短押し**-スイッチを内側に短く押して、選択を行って確定します。**長押し**-スイッチを内側に1秒間押して、情報表示項目をリセットしたり、MENU画面にアクセスして終了します。

## ヒント

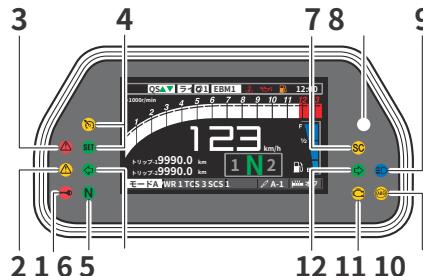
私詳細については、4-9ページを参照してください。

メイン画面の表示とその機能について説明します。

私詳細については、4-18ページを参照してください。

MENU画面の説明と設定変更方法を説明します。

## 表示灯と警告灯



1. イモビライザーシステムインジケーターライト 「」
2. 補助システム警告灯 「」
3. 油圧および水温警告灯 「」
4. クルーズコントロール表示灯 「」 / 「」
5. 左方向指示器インジケーターライト 「」
6. ニュートラル表示灯 「」
7. スタビリティコントロール表示灯 「」
8. シフトインジケーターランプ 「」
9. ハイビームインジケーターライト 「」
10. ABS警告灯 「」
11. 故障表示灯 「」
12. 右ウインカー表示灯 「」

# 計測器および制御機能

## 方向指示器ランプ「」および「」



各インジケーターライトは、対応する方向指示器ライトが点滅しているときに点滅します。

EAU88280

## ニュートラル表示灯「」

EAU88300

この表示灯はトランスミッションがニュートラル位置にあるときに点灯します。

## ハイビームインジケーターライト「」

EAU88310

ヘッドライトのハイビームがオンになると、このインジケーターが点灯します。

## クルーズコントロール表示灯「」

EAU91650

これらの表示灯は、クルーズ コントロールシステムが作動すると点灯します。 (3-6 ページ参照)

### ヒント

車両の電源を入れると、これらのライトが数秒間点灯してから消えます。それ以外の場合はヤマハ販売店で点検を受けてください。

## 故障表示灯 (MIL) 「」



このライトは、エンジンまたはその他の車両制御システムに問題が検出された場合に点灯または点滅します。このような場合は、ヤマハ販売店で車載診断装置の点検をご依頼ください。警告灯の電気回路は車両の電源を入れることで確認できます。ライトは数秒間点灯してから消えます。車両の電源を入れても初期点灯しない場合や、点灯したままになる場合は、ヤマハ販売店で車両の点検をご依頼ください。

EAU88331

### 知らせ

ECA26820

MIL が点滅し始めた場合は、排気システムの損傷を防ぐためにエンジン速度を下げてください。

### ヒント

エンジンは車載診断システムによって高感度に監視され、排出ガス制御システムの劣化や故障が検出されます。そのため、車両の改造やメンテナンス不足などが原因でMILが点灯したり点滅したりすることがあります。

またはオートバイの過度/不適切な使用。これを防ぐために、次の注意事項をお守りください。

私ソフトを改造しないでください。

エンジンコントロールユニットに注意してください。  
私電気アクセサリを追加しないでください。

エンジン制御に支障をきたすおそれのあるもの。

私アフターマーケットの付属品は使用しないでください。  
サスペンション、点火プラグ、インジェクター、排気システムなどの部品。

私ドライブトレインの仕様を変更しないでください。  
化 (チェーン、スプロケット、ホイール、タイヤなど)。

私O2センサーを取り外したり改造したりしないでください。  
ソル、吸気系、排気系部品 (触媒やEXUP等)

私ドライブチェーンを適切にメンテナンスしてください。

私正しいタイヤ空気圧を維持してください。

私ブレーキペダルを適切に維持する  
リアブレーキの引きずりを防ぐ高さです。

私危険な場所で車両を運転しないでください。  
極端なやり方。たとえば、スロットルの繰り返しまたは過剰な開閉、空吹かし、

# 計測器および制御機能

バーンアウト、ウイリー、長時間の半クラッチ使用など。

EAU67434

## ABS警告灯「」

EAU91500

通常の動作では、ABS警告灯は車両の電源を入れると点灯し、5 km/h (3 mi/h) 以上の速度で走行すると消灯します。

### ヒント

上記のように警告灯が点灯しない場合、または走行中に警告灯が点灯した場合は、ABSが正常に作動していない可能性があります。早めにヤマハ販売店で点検を受けてください。

### 警告

EWA21120

ABS警告灯が 5 km/h (3 mi/h) に達しても消灯しない場合、または走行中に警告灯が点灯した場合：

私危険を避けるために、細心の注意を払ってください。

緊急ブレーキ時に車輪がロックする可能性があります。

私ヤマハ販売店で点検を受けてください  
できるだけ早く車両を。

## シフトインジケーターライト「○」

この表示灯は、次の高いギアにシフトする時期になると点灯します。オンまたはオフになるエンジン回転数を調整できます。（4-24ページ参照）

### ヒント

車両の電源を入れると、このライトが数秒間点灯してから消えます。ライトが点灯しない場合、または点灯したままの場合はヤマハ販売店で点検を受けてください。

## イモビライザーシステム表示灯「」



メインスイッチがオフになり 30 秒が経過すると、インジケーターライトが点灯してイモビライザーシステムが有効になったことを示します。24 時間が経過すると、インジケーターライトの点滅が止まりますが、イモビライザーシステムは有効なままでです。

### ヒント

車両の電源を入れると、このライトが数秒間点灯してから消えます。光がないなら

点灯したり、点灯したままの場合はヤマハ販売店で点検を受けてください。

## トランスポンダーの干渉

イモビライザーシステムのインジケーターライトがゆっくり 5 回、素早く 2 回というパターンで点滅する場合は、トランスポンダーの干渉が原因である可能性があります。この現象が発生した場合は、次のことを試してください。

1. メインスイッチの近くに他のイモビライザーキーがないことを確認してください。
2. コード再登録キーを使用してエンジンを始動します。
3. エンジンが始動した場合は、エンジンを停止し、標準キーでエンジンを始動してください。
4. 片方または両方の標準キーでエンジンが始動しない場合は、車両と 3 本のキーすべてをヤマハ販売店にご持参いただき、標準キーの再登録を依頼してください。

## スタビリティコントロール表示灯



この表示灯は、トラクションコントロールシステム、SCS、またはLIFシステムが作動すると点灯します。また、

# 計測器および制御機能

トラクションコントロールシステムが「OFF」に設定されている場合、または走行中にトラクションコントロールシステムが無効になった場合に点灯します。

## ヒント

車両の電源を入れると、このライトが数秒間点灯してから消えます。ライトが点灯しない場合、または点灯したままの場合はヤマハ販売店で点検を受けてください。

EAU88362  
**油圧・水温警告灯「」** エンジンオイルの圧力が低い場合や冷却水の温度が高い場合に点灯する警告灯です。このような場合は、ただちにエンジンを停止してください。

## ヒント

私初めて車両の電源を入れたとき、このライトはエンジンが始動するまで点灯します。

私異常が検出された場合は、ライトが点灯し、油圧アイコンが点滅します。

## 知らせ

ECA22441

エンジンを始動しても油圧・冷却水警告灯が消灯しない場合、またはエンジン回転中に点灯した場合は、直ちに車両とエンジンを停止してください。

私エンジンがオーバーヒートしている場合、冷却水温度警告アイコンが点灯します。エンジンを冷やしてください。冷却水のレベルを確認してください(7-34 ページを参照)。

私エンジンオイルの圧力が低いと、油圧警告アイコンが点灯します。オイルレベルを確認してください(7-10 ページを参照)。

私警告灯が点灯したままの場合  
エンジンが冷えてオイル量が適正であることを確認した後、ヤマハ販売店で点検を受けてください。  
車両の運転を続けないでください。

## ヒント

車両の電源を入れると、このライトが数秒間点灯してから消えます。それ以外の場合はヤマハ販売店で点検を受けてください。

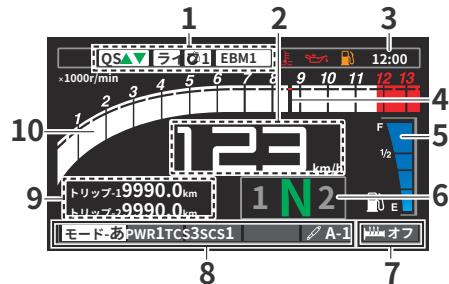
EAU88370  
**補助システム警告灯「」** この警告灯は、エンジン以外のシステムに問題が検出された場合に点灯します。

# 計測器および制御機能

## 画面

ディスプレイには、STREET MODE と TRACK MODE という 2 つの異なるメイン画面表示モードがあります。ほとんどの機能はどちらのモードでも表示できますが、レイアウトが若干異なります。ディスプレイには以下の項目が表示されます。

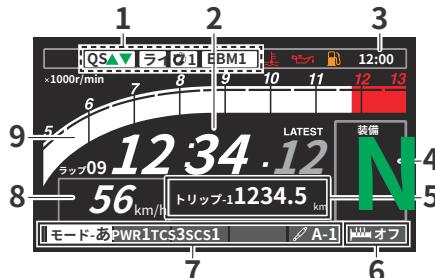
## ストリートモード



1. YRC アイテム QS/LIF/BC/EBM
2. スピードメーター
3. 時計
4. 回転ピークホールドインジケーター
5. F エルゴメーター
6. トランミッション シօնディスプレイ
7. グリップウォームデイカーター(装備している場合) ペド
8. YRC 項目 MODE/PWR/TCS/SCS/ERS
9. 情報表示
10. タッハ あわテ

EAU93595

## トラックモード



1. YRC アイテム QS/LIF/BC/EBM
2. ラップタイマー
3. 時計
4. 変速ギア表示
5. 情報表示
6. グリップウォームインジケーター (装備されている場合)
7. YRC 項目 MODE/PWR/TCS/SCS/ERS
8. スピードメーター
9. タコメーター

EWA18210



設定を変更する前に車両を停止してください。走行中に設定を変更すると、オペレーターの注意が散漫になり、事故の危険が高まる可能性があります。

## ヒント

私のモデルは薄膜転写を採用しています。さまざまな照明条件下でも優れたコントラストと読みやすさを実現するシスター液晶ディスプレイ(TFT LCD)。ただし、このテクノロジーの性質上、少數のピクセルが非アクティブになるのは通常のことです。私表示単位を切り替えることができます キロメートル/マイルと摂氏/華氏の間。(4-24ページ参照)

4

## スピードメーター

速度計は車両の走行速度を示します。

## タコメーター

タコメーターは、クランクシャフトの回転速度によって測定されるエンジン速度を毎分回転数(r/min)で表示します。

## ヒント

私TRACK MODEではタコメーターが 5000 r/min から開始します。  
私ストリートモードではタコメーターが 色調整が可能で、

# 計測器および制御機能

回転ピークホールドインジケーターを  
オンまたはオフにできます。

ECA10032

## 知らせ

タコメーターのレッドゾーンでエンジンを運転しないでください。

レッドゾーン：11800r/min以上

## 燃料計

燃料メーターは、燃料タンク内の燃料の量を示します。燃料レベルが減少すると、燃料メーターの表示セグメントが「F」（満タン）から「E」（空）に向かって消えます。

最後のセグメントが点滅し始めるか、燃料レベル警告アイコンが点灯したら、できるだけ早く燃料を補給してください。

ECAE0121

## 知らせ

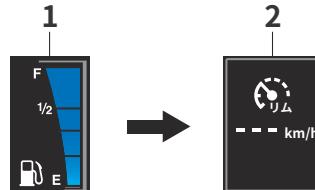
車両の燃料を完全に使い切らせないでください。触媒コンバーターが損傷する可能性があります。

## ヒント

私燃料が全部あれば メーター ディスプレイセグメント  
メント ラッシュ 繰り返す 過慮なく、持ってください  
ヤマハとの契約 えー、チェックして関連するもの 関連するもの  
回路。

## 私ヤマハ可変速時

ストリートモードではリミッター(YVSL)システムが作動し、燃料メーターがYVSL表示に変わります。（3-8ページ参照）



- 1.燃料計
- 2.YVSL表示

## 時計

時計は12時間制を採用しています。

## 変速ギア表示

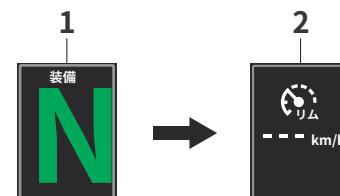
これはトランスミッションがどのギアに入っているかを示します。このモデルには6つのギアがあり、ニュートラル位置があります。ニュートラル位置はニュートラル表示灯

と変速ギア表示「」で表示されます。



## ヒント

ヤマハ可変スピードリミッター(YVSL)システムがTRACK MODEで動作している場合、トランスミッションギア表示がYVSL表示に変わります。（3-8ページ参照）

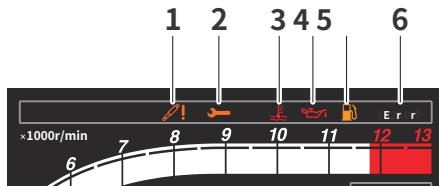


- 1.変速ギア表示
- 2.YVSL表示

回転ピークホールドインジケーターこの小さなバーはタコメーター内に一時的に表示され、最新のピークエンジン速度を示します。

# 計測器および制御機能

## 警告アイコン



1. SCUトラブル警告「」
2. 補助システムの警告「」
3. 水温警告「」
4. 油圧警告「」
5. 燃料レベル警告「」
6. エラーモード警告「Err」

エラーが検出されると、次のエラー関連の警告アイコンが表示されます。

## SCUトラブル警告「」

このアイコンは、フロントまたはリアのサスペンションに問題が検出された場合に表示されます。

## 補助システム警告「」

このアイコンは、問題がある場合に表示されます。私はデ-エンジン以外のところで保護されるシステム。

**水温警告「」** このアイコンは冷却水温度が高いときに表示されます。車を停止し、エンジンを切ります。エンジンを冷ましてください。

## 燃料レベル警告「」

このアイコンは、タンク内に燃料が約 4.0 L (1.06 US gal, 0.88 Imp.gal) 残っているときに点灯します。

### 知らせ

ECA10022

エンジンが過熱している場合は、運転を続けないでください。

## 油圧警告「」

エンジンオイルの圧力が低下するとこのアイコンが表示されます。最初に車両の電源を入れたときは、エンジンオイルの圧力がまだ上がっていないため、このアイコンが点灯し、エンジンが始動するまで点灯したままになります。

### ヒント

異常を検知すると油圧警告アイコンが繰り返し点滅します。

**エラーモード警告「Err」** システムコントローラとの通信が切断されたなど、内部エラーが発生した場合、以下のエラーモード警告が表示されます。

「ーー」と「」はECUエラーを示します。"

「ーー」と「」はSCUエラーを示します。

「Err」はABS ECUエラーのみを示します。

### ヒント

エラーの内容によっては、表示が正常に動作しなかったり、YRCの設定が変更できなくなる場合があります。また、ABSが正常に機能しなくなる可能性があります。ブレーキをかけるときは十分注意し、ただちにヤマハ販売店で点検を受けてください。

### 知らせ

ECA26410

油圧が低い状態でエンジンを運転し続けないでください。

## 情報表示

情報表示項目は以下のとおりです。A.TEMP: 気温

C.TEMP: 冷却水温度 TRIP-1:

トリップメーター1

TRIP-2: トリップメーター2

# 計測器および制御機能

F-TRIP: 燃料リザーブトリップメーター

ODO: オドメーター

 : クルーズコントロールの速度設定

FUEL AVG: 平均燃料消費量 CRNT

FUEL: 現在の燃料消費量 FUEL CON:

燃料消費量

4

## ヒント

TRIP-1、TRIP-2、F-TRIP、FUEL CON、FUEL AVG の各項目を個別にリセットできます。

表示項目は、カスタマイズ可能な 4 つのペア (表示 1 ~ 4) にグループ化されています。TRACK MODE では、一度に 1 つの項目のみを表示できます。 (4-27 ページ参照)

上のホイールスイッチを回すと、DISPLAY グループが次の順序で切り替わります。

ストリートモード<sup>®</sup>ディスプレイ-1<sup>®</sup>  
DIS-PLAY-2<sup>®</sup>ディスプレイ-3<sup>®</sup>ディスプレイ-4<sup>®</sup>グリップウォーマー機能<sup>®</sup> トラックモード<sup>®</sup>最速<sup>®</sup>平均<sup>®</sup>グリップウォーマー機能<sup>®</sup>DIS-PLAY-1<sup>®</sup>ディスプレイ-2<sup>®</sup>ディスプレイ-3

<sup>®</sup>画面 - 4<sup>®</sup>

## ヒント

グリップウォーマー機能は車両に装着されている場合のみ表示されます。 (4-15 ページ参照)

## 大気温 :



1. ストリートモードでの表示

2. TRACKMODEでの表示

気温は以下から表示されます。

-9°C(16°F) ~ 50°C(122°F) 1 °C(1°F) が増加します。表示される温度は実際の周囲温度とは異なる場合があります。

## ヒント

「—」が検出されると表示されます。

温度が低くなります。

「—」が検出されると表示されます。  
ED 温度が高くなります。

## 冷却水温度:



1. ストリートモードでの表示

2. TRACKMODEでの表示

冷却水温度は 41°C から表示されます。 °C(106°F) ~ 124°C(255°F) 1 °C(1°F) が増加します。

## ヒント

私車両の冷却水温度が

41 未満です °C(106°F) 冷却水温度表示が「Lo」と表示されます。

私車両の冷却水温度が

124 以上です °C(255°F) 冷却水温度表示が「Hi」と表示されます。

# 計測器および制御機能

トリップメーター:



- ストリートモードでの表示
- TRACKMODEでの表示

TRIP1 と TRIP2 は、最後にゼロに設定されてからの移動距離を示します。

## ヒント

TRIP-1 と TRIP-2 は 0 にリセットされ、9999.9 に達すると再びカウントを開始します。

笛 私リザーブトリップメーター:



- ストリートモードでの表示
- TRACKMODEでの表示

燃料タンクの残量に達すると、F-TRIP が自動的に表示され、その時点からの走行距離の記録が始まります。

給油してある程度の距離を走行すると、F-TRIP は自動的に消えます。

## ヒント

F-TRIP表示中はMENUにアクセスできません。F-TRIP 作動中に MENU にアクセスするには、まずホイールスイッチを使用して情報表示を別の項目に切り替えます。

オドメーター:



- ストリートモードでの表示
- TRACKMODEでの表示

オドメーターは車両が走行した総距離を示します。

## ヒント

ODO は 999999 でロックされ、リセットできません。

# 計測器および制御機能

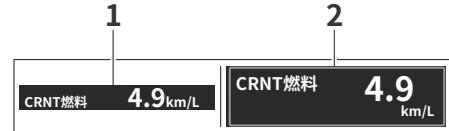
クルーズコントロール 私速度設定:



平均燃料 私消費:



現在の燃料 私消費:



4

1. ストリートモードでの表示
2. TRACKMODEでの表示

クルーズ コントロール システムの選択された速度設定が表示されます。この速度設定を調整するには、3-6 ページのクルーズ コントロール システムの説明を参照してください。

1. ストリートモードでの表示
2. TRACKMODEでの表示

平均燃費表示は「km/L」または「L/100km」の設定が可能です。 (4-24 ページ参照)

## ヒント

平均燃費表示をリセット後、1km走行するまでは「---」が表示されます。

1. ストリートモードでの表示
2. TRACKMODEでの表示

現在の燃費表示を「km/L」または「L/100km」に設定できます。 (4-24 ページ参照)

## ヒント

10km/h以下の場合は「---」が表示されます。

# 計測器および制御機能

## 笛 私消費トリップメーター:



1. ストリートモードでの表示
2. TRACKMODEでの表示

トリップメーターが最後にリセットされてから消費された燃料の量を表示します。

### ヒント

現在の燃費関数は一般的な参考値としてのみ使用してください。この数値を現在の燃料タンクで走行できる距離を見積るために使用しないでください。

## 情報をリセットするには表示 私 テム

1.tを使用します ホイールスイッチ スクロールする  
を通過して表示項目 まで  
リセットしたい項目が表示されます。

2. ストリートモード: ホイールスイッチを短く押すと、項目グループが5秒間点滅します。グループ内の両方の項目がリセット可能な場合は、一番上の項目が最初に点滅します。下にスクロールして一番下の項目を選択します。TRACK MODE: ホイールスイッチを短く押すと、情報ディスプレイが5秒間点滅します。
3. 項目が点滅している間にホイールスイッチを長押しすると項目がリセットされます。

**グリップウォーマーインジケーター（装備されている場合）** グリップウォーマーはエンジン始動時にも使用できます。カスタマイズ可能な温度プリセットが3つあり、10の異なる温度レベル間でカスタマイズできます。（4-29ページ参照）インジケーターは現在の設定温度を「OFF」または段階（LO/MIDDLE/HIGH）で表示します。

### グリップウォーマーを作動させるには

1. ホイールスイッチを使用して、グリップウォーマー表示をカーソルで反転させます。
2. ホイールスイッチを短く押すと、インジケーターが点滅し始めます。

3. ホイールスイッチを回して、プリセット温度を選択します。
4. ホイールスイッチを短く押して選択を確定すると、グリップウォーマーインジケーターの点滅が止まります。

ECA17932

### 知らせ

ご利用の際は必ず手袋を着用してください。

グリップウォーマーを付けています。

私グリップウォーマーは使用しないでください。

暖かい気候。

私ハンドルバーのグリップやスロットルがグリップが摩耗または損傷した場合は、グリップウォーマーの使用を中止し、グリップを交換してください。

### YRCのアイコン

現在の YRC MODE プリセットとその関連設定は、メイン画面の上部と下部にあるさまざまなアイコンに表示されます。

YRC項目PWR、TCS、SCS、QS“”、QS“”、LIF▲EBM、BC“”、ERSの設定をプリセット化（MODE-A、MODE-B、MODE-C、MODE-D）。各 MODE プリセットの設定は、次の方法でカスタマイズできます。

# 計測器および制御機能

YRC設定メニューを表示します。 (4-19ページ参照)

## ヒント

私ボットに表示される YRC 設定  
メイン画面のタム (PWR、TCS、  
SCS、ERS) はメイン画面とは独立  
して調整できます。

私YRC設定は上部に表示されます  
メイン画面 (QS「」、QS「」、LIF、  
BC「」、EBM) は、メイン画面から独立  
して調整することはできません。これら  
の値を変更するには、YRC 設定メニ  
ューを使用します。 (4-19ページ参  
照)

私LIF アイコンはアクティブ/のみとして表示されます。

非アクティブだが設定が異なる  
YRで調整できるレベル

C設定 MENU。 (ページを参照)

4-19.)

私The BC 「」 a nd EBMアイコン表示  
ボ番目のアクティブ/な アクティブだけでなく、  
キュンタル設定I レベル。

YR Cモードコ 私はブリセットf ROM  
さまざまな工場 走行条件。  
事実を使用lgな彼場合 オリザリセット、  
提案されたYRC MOD エス番組の通り。  
MODE-A: に適しています トランク 乗馬

MODE-B: サーキット走行に適したソフトな設定

MODE-C: ロードユースに適しています MODE-D: スト  
リートまたは雨天での使用に適しています

## YRCモードの変更や設定変更を行うには

1. 「MODE」スイッチを使用して左から右にスクロールし、調整したい項目を強調表示します。
2. MODE 上「」または MODE 下「」スイッチを使用して、選択した項目の値を変更します。

## ヒント

私故障インジケーターが点灯したとき  
ライト「」、補機系警告「」、また  
は水温警告「」が点灯している  
場合、YRC  
設定を調整することはできません。

私いつ e SCU トラブル警告 n、  
「」はオです ERS を調整できません -  
編

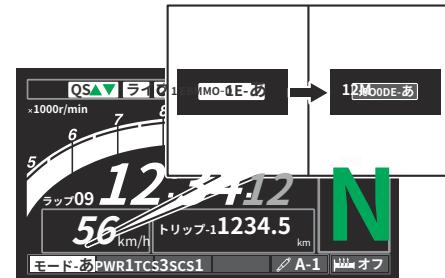
私とき YRC 機能は、アクセル  
従事しています WR が調整できない場合  
正当化された。 F など、アイテムを装飾で  
Pを消去する きない場合に有效です。

私YRC項目を強調表示した場合

調整できない場合は、YRC アイテム  
ボックスが黒色に戻ります。

## 私ERS モードが消えた場合

ERS インジケーター (アイコンが空白に変  
わります) が点灯したら、車両を停止し、  
モードが再び表示されるまで数秒待ちま  
す。



トラクションコントロールシステムをオフに  
する トラクションコントロールシステムをオ  
フにするには、「MODE」スイッチで TCS を選  
択し、TCS OFF が表示されるまで MODE ア  
ップ「」スイッチを押し続けます。

トラクションコントロールシステムをオン  
に戻すには、TCS OFF を選択し、MODE を  
押して「」スイッチを押します (トラクショ  
ンコントロールシステムは以前の設定に戻  
ります)。

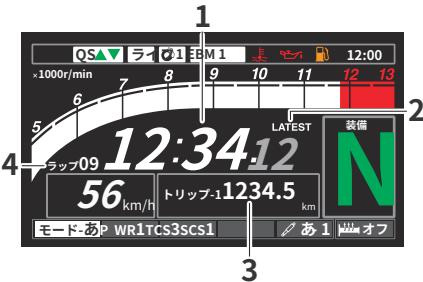
# 計測器および制御機能

## ヒント

トラクションコントロールシステムをオフにする  
と、すべてのYRCモードプリセットのSCSおよび  
LIFシステムがオフになります。

## ラップタイマー

最大40ラップまで計測・記録できるス  
トップウォッチ機能です。メイン画面の  
ラップタイマーには、現在のラップタイ  
ムとラップ番号（LAPマークで表示）が表  
示されます。ディマー//パススイッチ「//  
PASS」を使用してラップタイムをマーク  
します。ラップが完了すると、ラップタ  
イマーには最新のラップタイム（LATEST  
インジケーターでマーク）が5秒間表示さ  
れます。



1. ラップタイム

2. 遅刻 ラストラップタイム表示 ああAT EST (東部基準時\*)

## 3. 情報表示項目

## 4. ラップ数

### ラップタイマーを使用するには

1. TRACK MODEでホイールスイッチを短く押します。情報表示が5秒間点滅します。
2. 情報表示項目が点滅している間にホイールスイッチを上に回転させます。ラップタイマーが5秒間点滅します。
3. ラップタイマーが点滅している間にホイールスイッチを長押しするとラップタイマーが作動、またはラップタイマーが停止します。
4. ラップタイマーが作動し、ヘッドライトがロービームに設定されている場合、スイッチを「PASS」方向に押し下げてハイビームを点滅させ、タイマーを開始します。

## ヒント

私を使用するにはエンジンが作動している必要があります

ラップタイマー。

私情報表示を次のように設定します。

追加のラップタイム情報については、「FASTEST」ま  
たは「AVERAGE」を選択してください。

私MENU画面にアクセスすると、

ラップタイマーを自動的に停止します。

私はラップタイマーが停止するたびに、  
現在のラップは記録されません。

私はラップタイム記録が閲覧可能

MENU画面からリセットしてください。

# 計測器および制御機能

## メニュー画面



EAU93604

MENU メイン画面には以下の設定モジュールが含まれています。

モジュール	説明
ディスプレイモード	表示をSTREETMODEとTRACKの間で切り替えますモード
YRC設定	YRC設定を調整する
ラップタイム	ラップタイムの表示とリセット
メンテナンス	メンテナンス間隔トリップメーターの表示とリセット
ユニット	燃料消費量を設定し、距離単位
壁紙	表示背景を設定する と色
シフトインジケーター	シフトを変える 示す または/にオフにして調整する タチヨメ王+オル設定

モジュール	説明
表示設定	情報表示グループを選択します
輝度	画面の明るさを調整する
グリップウォーマー設定	グリップウォーマーのプリセットを調整する(装備されている場合)
時計	時計を調整する
オールリセット	すべての設定を工場出荷時の状態に戻しますデフォルト

**MENUへのアクセスと操作** 車両が停止しているときにホイールスイッチを長押し（長押し）して、メニューにアクセスします。ホイールスイッチを上下に回転して、モジュール/項目を強調表示したり、値を増減したりできます。

ホイールスイッチを内側に短く押す（短押し）と、メニュー項目の選択や設定値の確認ができます。  
画面がメインディスプレイに戻るまでホイールスイッチを押し続ける（長押しする）と、いつでもメニューを終了できます。

### ヒント

私特定のメニュー画面には、  
区を指す三角マークのアイテム。  
三角マークを選択して保存

設定を変更し、現在の画面を終了します。

私車両の動きが検出されると、完了すると、画面は自動的にメニューを終了し、メイン画面に戻ります。

私希望の設定を確実に行うには  
変更は保存されます。必ず三角マーク（表示されている場合）から各メニューを終了してください。ホイールスイッチを長押しして設定メニューを終了すると、設定の変更が保存されない場合があります。

### "ディスプレイモード"

メイン画面の表示モードには、STREET MODE と TRACK MODE の 2 つがあります。



# 計測器および制御機能

## 「YRC設定」

このモジュールを使用すると、YRC 項目 PWR、TCS、SCS、QS 「」、QS 「」、LIF、EBM、BC、ERS。



## ヒント

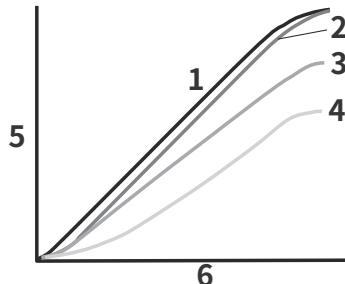
私トラクションコントロールシステムには5つの機能が搭載されています。

設定レベルとERSには6つのモードがあります。

私さらに選択できるときはいつでも、使用可能なオプション(レベルまたはモードの設定)が画面に一度に表示できない場合は、画面の右側にスクロールバーが表示され、スクロールすることで追加の選択が可能であることが通知されます。

## PWR

最もアグレッシブなスロットルレスポンスを得るにはPWR-1を選択し、よりスムーズなスロットルグリップ/エンジンレスポンスを得るにはPWR-2とPWR-3を選択し、雨の日やエンジン出力を抑えたい場合にはPWR-4を使用します。



- 1.PWR1
- 2.PWR2
- 3.PWR3
- 4.PWR4
- 5.スロットルバルブ開度
- 6.スロットルグリップの操作

## ヒント

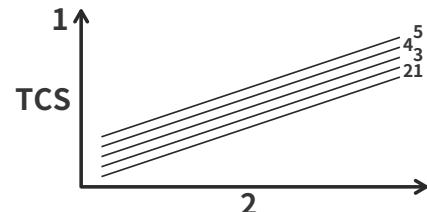
私トラクションコントロールシステムは、メイン画面で「MODE」スイッチとモードアップ「」スイッチを使用してのみ完全にオフにできます。4-16ページ▶「トラクションコントロールシステムをオフにする」を参照してください。

私トラクションコントロールシステムの場合オフになっています。TCS、SCS、LIFはOFFとなり調整できません。トラクションコントロールシステムを再度オンにすると、これらの関連するトラクションコントロール機能は以前の設定レベルに戻ります。

4

## トラクションコントロール 私システム

可変トラクションコントロールシステムを採用したモデルです。各設定レベルで、車両を大きく傾けるほど、より多くのトラクションコントロール(システム介入)が適用されます。5段階の設定レベルが利用可能です。レベル1を設定すると、システムの介入が最も少なくなり、レベル5を設定すると、最も全体的なトラクションコントロールが適用されます。

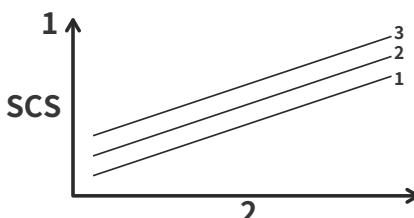


- 1.システム介入
- 2.リーン角

# 計測器および制御機能

## SCS

SCS は OFF、1、2、および 3 に設定できます。OFF はスライドコントロールシステムをオフにし、レベル 1 を設定するとシステム介入が最も少なくなり、レベル 3 を設定するとシステム介入が最も多くなります。



1. システム介入
2. 横方向のスライド

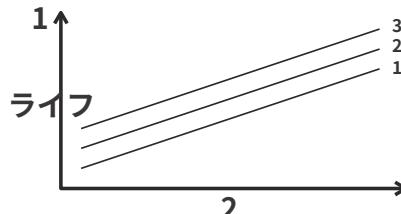
## クリックシフター

クリックシフターは QS (シフトアップ) と ▲ QS に分かれます ▼ (シフトダウン) 秒ション。 QS と QS ▼ リンクされていません独立してオンまたはオフにすることができます。

OFF は、それぞれのシフトアップまたはシフトダウン機能をオフにし、その方向にシフトするときはクラッチレバーを使用する必要があります。

## ライフ

LIF は 1、2、3、または OFF に設定できます。レベル 3 を設定すると、ホイールの浮き上がりが最も強く軽減され、レベル 1 を設定すると、システムの介入が最小限になります。OFF は LIF をオフにします。



1. システム介入
2. ホイールリフト

## EBM

このシステムには 2 つの設定があります。レベル 1 では、システム介入が最小限に抑えられるため、最も強力なエンジンブレーキが提供されます。レベル 2 では、システム介入が最も多くなり、エンジンブレーキが最小限になります。

## 紀元前

標準 ABS のみが必要な場合は、BC1 を選択してください。ブレーキを付けるには BC2 を選択してください。

また、制御システムはコーナリング中にブレーキ圧力を調整し、横方向の車輪の滑りを抑制します。

## ヒント

熟練したライダーやサーキットで走行する場合、さまざまな状況により、BC2 ブレーキシステムの作動が、希望のコーナリング速度や意図したコーナリングラインに比べて予想よりも早くなる場合があります。

YRC モードをカスタマイズするか、YRC を調整するには私テム

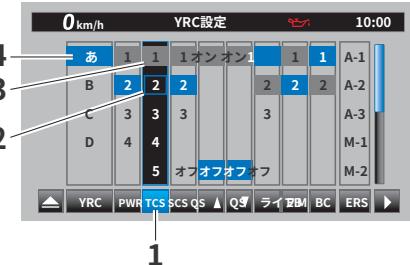
1. 「YRC 設定」画面が表示され、YRC モードボックス「YRC」が反転表示されます。ホイールスイッチを短く押してボックスに入り、調整する YRC モードプリセット (A、B、C、または D) を選択します。

# 計測器および制御機能



- 1.三角マーク
- 2.YRCモードボックス
- 3.YRCアイテム

2. 調整したいYRC項目 PWR、TCS、SCS、QS▲QS、▼F、EBM、BC、またはERSを選択します。



- 1.YRCアイテム
- 2.電流レベルの設定
- 3.工場出荷時のプリセットレベル

## 4.YRCモード

### ヒント

私YRC項目を選択すると、

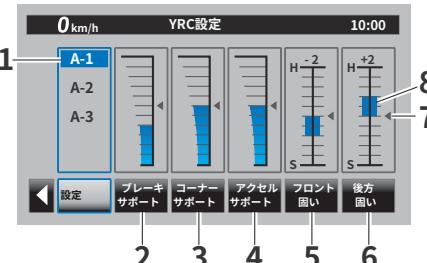
現在の設定レベルは青色で強調表示され、工場出荷時のプリセットレベルは灰色で強調表示されます。

私工場出荷時のプリセットレベルは状況に応じて異なります。

選択したYRCモードプリセットを使用します。

- 3.終了したら、左端の三角マークを選択してMENU画面に戻ります。  
または、「」マークを選択して▶個々のERSプリセットを調整します。

## ERS



## 1.ERSモード

## 2.ブレーキサポートレベル

- 3.コーナリングサポートレベル
- 4.加速サポートレベル
- 5.フロント全体の減衰レベル
- 6.リア全体の減衰レベル
- 7.工場出荷時のプリセットレベル
- 8.現在のレベル

ERSは、3つのセミアクティブ自動プリセット(A-1、A-2、およびA-3)と3つの手動設定プリセット(M-1、M-2、およびM-3)で構成されます。自動プリセットが選択されている場合、SCUは走行状況に基づいて圧縮側と伸び側の減衰力を調整します。すべてのプリセットについて、スプリングのプリロードは手動で物理的に調整する必要があります。(4-36、4-37ページ参照)

### ヒント

工場出荷時のプリセットレベルは次のとおりです。

- 私A-1/M-1はトラック用にプリセットされています  
レーシングスリックタイヤを装備。  
私A-2/M-2はトラック用にプリセットされています  
ストリートタイヤ付き。  
私A-3/M-3は道路用にプリセットされています  
ストリートタイヤ付き。

# 計測器および制御機能

4

## セミアクティブ自動プリセット (A-1/A-2/

A-3) 調整可能な設定: ブレーキサポート:

ノーズダイブ(ブレーキによるフロントエンドのピッチ)を軽減します。

コーナーサポート: ダンピングを高めてシャーシの変動を吸収し、スムーズなコーナーリングを実現します。後輪のグリップを高めるには、この設定を下げます。

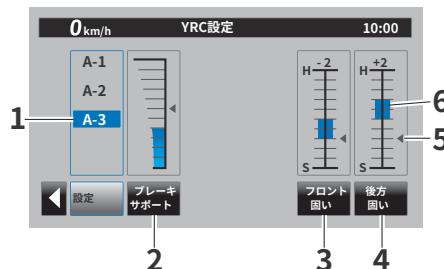
アクセルサポート: リアエンドスクワット(加速によるリアエンドピッチ)を軽減します。

FRONT FIRM: フロントサスペンションの全体的なダンピングを硬くする(H)または柔らかくする(S)

REAR FIRM: リアサスペンションの全体的なダンピングを硬くする(H)または柔らかくする(S)

## ヒント

道路プリセット A-3 の場合、コーナーサポートとアクセルサポートは調整できず、メニューに表示されません。



- ERSモード
- ブレーキサポートレベル
- フロント全体の減衰レベル
- リア全体の減衰レベル
- 工場出荷時のプリセットレベル
- 現在のレベル

## 手動プリセット (M-1/M-2/M-3) 調整可能な設定:

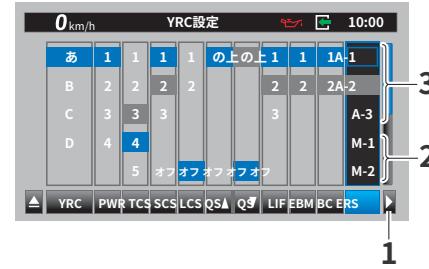
Fr COM: フロント圧側ダンピング Fr

REB: フロント伸び側ダンピング

Rr COM: リア圧側ダンピング Rr REB:  
リア側伸び側ダンピング

## ERSモード設定を調整するには

- YRC 設定モジュールで、調整したい ERS プリセット (A-1/A-2/A-3/M-1/M-2/M-3) を選択します。



- ERSメニューへ
- マニュアルモード
- 自動モード

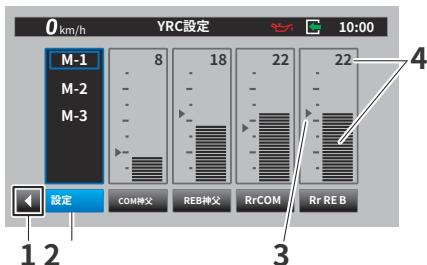
## ヒント

ERS 設定メニューは自動 (A-1/A-2/A-3) 画面と手動 (M-1/M-2/M-3) 画面に分かれており、それぞれにアクセスします。ERS 設定メニューに移動する前に、ERS モード プリセットの適切なタイプ(自動/手動)が選択されていることを確認してください。

- YRC 設定メニューで、ERS の右側にあ  
る「」マークを選択し、ホイールスイッチを短押しします。
- 該当するサスペンション設定画面に表示が変わります

# 計測器および制御機能

- (自動/手動) ERS モード選択ボックス「SETTING」が強調表示されます。ホイールスイッチを短押しし、調整するプリセットを選択し、もう一度ホイールスイッチを短押しします。
4. ホイールスイッチを回して、さまざまな設定をスクロールします。設定が強調表示されたら、ホイールスイッチを短く押して選択し、ホイールスイッチを回して設定レベルを調整します。
5. 同じタイプの他の ERS モードを調整する場合は、手順 3 から繰り返します。タイプを切り替える場合、または終了したら、「」マ◀クを選択してメインの「YRC 設定」メニューに戻ります。



3. 工場出荷時のプリセットレベル  
4. 電流レベルの設定

## "ラップタイム"

このモジュールを使用すると、ラップタイム記録を表示および削除できます。画面上部にはラップタイムレコードに保存されているファーステストラップと平均ラップタイムが表示されます。ホイールスイッチを使用してスクロールすると、すべてのラップタイムが表示されます。上位 3 つの最速ラップが銀色で強調表示されます。ラップは最大 40 ラップまでメモリー可能。40 ラップを超えて記録される場合、最も古いラップ(1 ラップ目から)が上書きされます。

このモジュールには 2 つのオプションがあります。「ディスプレイ」ではラップタイムの記録を確認できます。「リセット」ではラップタイムの記録データを削除します。



4

0 km/h		ラップタイム	GPS 10:00
1	最速 / ラップ 12	02:34.56	
2	平均	02:53.00	
3	ラップ1	02:54.56	
	ラップ2	02:55.20	
	3周目	02:56.04	
	4周目	02:56.80	

1. ファステストラップ  
2. 平均ラップタイム  
3. ラップタイム記録

## "メンテナンス"

このモジュールを使用すると、エンジンオイル交換間の走行距離(OIL 項目を使用)、および選択した他の 2 つの項目(INTER-VAL 1 および INTERVAL 2 を使用)を記録できます。

# 計測器および制御機能

メンテナンスをリセットするには私テム

1. リセットしたい項目を選択します。



2. ホイールスイッチを長押しして項目をリセットします。



## ヒント

メンテナンス項目名  
かわった。

条件ではないため、自動的に実行されます  
ディスプレイの昼と夜の設定を変更し  
ます。光センサーで微妙な自動明るさ  
もコントロール

## "ユニット"

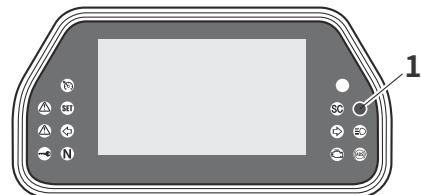
このモジュールを使用すると、キロメートルとマイルの間で表示を切り替えることができます。キロメートルを使用する場合、燃料消費量の単位をkm/LまたはL/100kmに変更できます。マイルをご利用の場合はMPGのみとなります。



## "壁紙"

このモジュールを使用すると、昼と夜の両方の設定で、STREET MODE および TRACK MODE の表示背景色を黒または白に個別に設定できます。インパネに装備された光センサーが照明を検知

周囲の光の状況に合わせて、昼夜モードの両方で調整機能を使用できます。



## 1. フォトセンサー

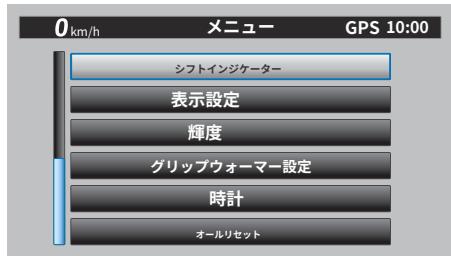
### 「シフトインジケーター」

シフトインジケーター モジュールには次のサブモジュールが含まれています。

モジュール	説明
シフトIND 設定	シフトインジケーターのパターンを「ON」「点滅」「OFF」に設定し、何回転/分でインジケーターが点灯・消灯するかを調整します。
シフトIND 輝度	シフトインジケーターの明るさを調整します。

# 計測器および制御機能

モジュール	説明
タッチIND 設定	タコメーターのカラー表示を「ON」または「OFF」に設定し、何r/minでタコメーターが緑とオレンジになるかを調整します。
ピーク回転数 IND 設定	タコメーターのピーク回転インジケーターを「ON」または「OFF」に設定します。

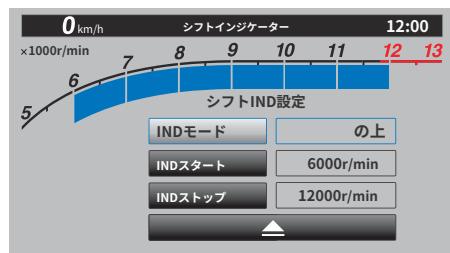


## 設定を変更するには

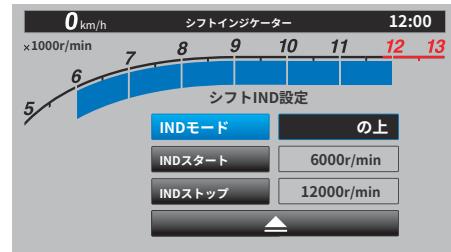
1. 「シフトIND設定」を選択します。



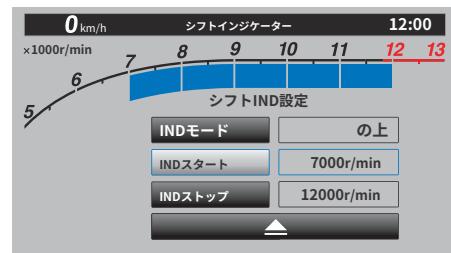
2. 「INDモード」を選択します。



3. インジケーターが常時点灯する場合は「オン」、インジケーターが消灯する場合は「オフ」、インジケーター開始しきい値に達したときにシフトインジケーターが点滅する場合は「フラッシュ」を選択します。



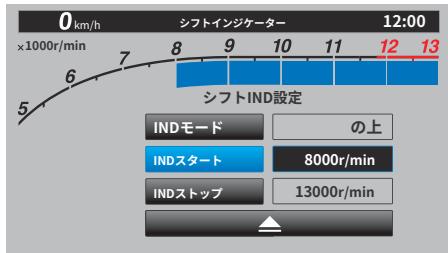
4. 「INDスタート」を選択します。



5. ホイールスイッチを回して、シフトタイミング表示灯が点灯する回転数を調整します。「INDスタート」の動作範囲は 5000 ~ 12800 r/min です。

# 計測器および制御機能

4



6. 「IND St op」を選択し、ホイールスイッチを回してシフトタイミングインジケーターが消灯するr/minを調整します。「IND 停止」の動作範囲は5500～13000 r/minです。

## ヒント

タコメーターの青い領域は、現在設定されているシフトインジケーターライトの動作範囲を示します。

## "シフト IND の明るさ"

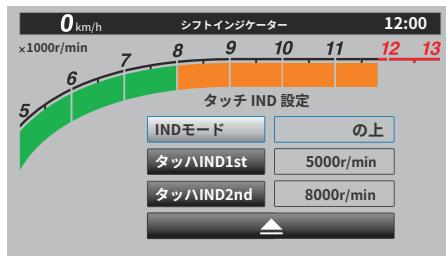
シフトタイミングインジケーターライトは6つあります。明るさのレベル。短押し th ホイールスイッチを押して設定を確認し、d 終了します。



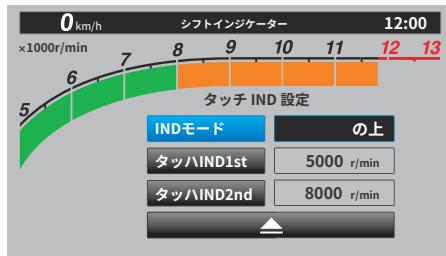
## 「タッハ 私ND設定」

このモジュールを使用すると、タコメーターのカラー表示をオンまたはオフにできます。オフにすると、タコメーターは赤いゾーンより下のすべての r/min レベルを黒または白で表示します(壁紙の設定に応じて)。オンにすると、中および中から高の R/MIN ゾーンが緑色で点灯し、次にオレンジ色で点灯するように設定できます。

1. 「INDモード」を選択します。

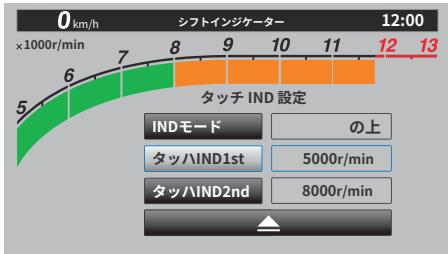


2. ON を選択するとタコメーターのカラー表示モードがONになります(またはOFFを選択するとこの機能がOFFになります)。

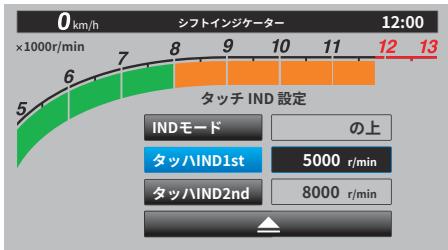


3. 「Tach IND 1st」を選択して、r/min から始まるグリーン ゾーンを設定します。

# 計測器および制御機能



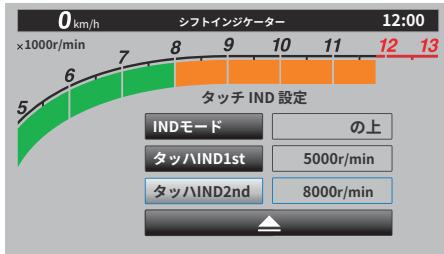
4. ホイールスイッチを回して短く押して、開始回転数を設定します。この値を超えて「Tach IND 2nd」設定値(または11800 r/minのレッドゾーン)までのすべてのr/minが緑色で表示されます。



## ヒント

緑色のバーの開始設定範囲 e: 5000–11800r/分

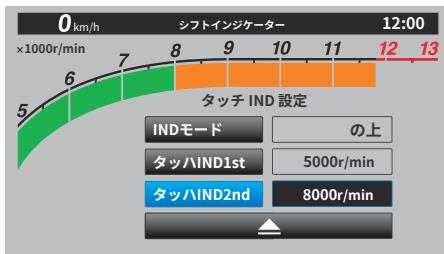
5. 「Tach IND 2nd」を選択します。



6. ホイールスイッチを回して短く押して、オレンジ色の開始r/minを設定します。11800 r/minのレッドゾーンまで、この数値を超えるすべてのr/minはオレンジ色で表示されます。

## ヒント

オレンジバースタート設定範囲：5000～11800r/min。

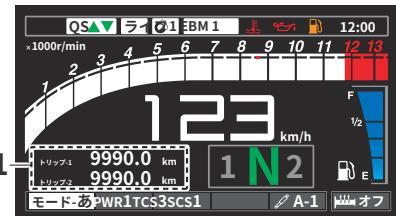


## 「ピークレブ」私ND設定

このモジュールでは、回転ピークホールドインジケーターのオン/オフを切り替えることができます。

## "表示設定"

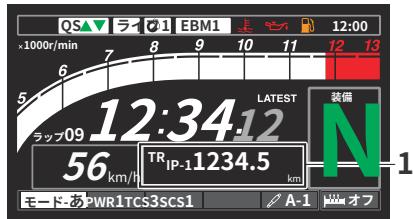
このモジュールでは、情報表示項目(TRIP-1、ODO、C.TEMPなど)をメイン画面でどのようにグループ化するかを設定できます。表示グループは4つあります。



## 1. 情報表示項目 (STREET MODE)

# 計測器および制御機能

4



## 1. 情報表示項目 (TRACKMODE)

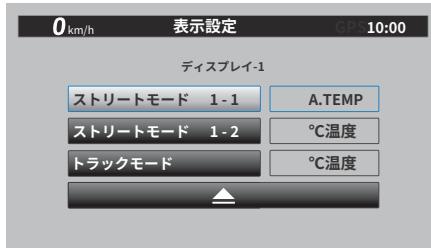
表示グループを設定するには

- 「DISPLAY-1」、「DISPLAY-2」、「DISPLAY-3」、「DISPLAY-4」が表示されます。



- たとえば、次のようにしましょう Ct 「ディスプレイ-1」。

3. 「ストリートモード1-1」を選択します。



4. ホイールスイッチで希望の情報表示項目を選択します。



## ヒント

選択できる情報表示項目は以下のとおりです。

- A.TEMP: 気温  
C.TEMP : 冷却水温度 TRIP-1 :  
トリップメーター1

TRIP-2 : トリップメーター2

ODO: オドメーター

SPEED : クルーズコントロールの速度設定 FUEL AVG : 平均燃料消費量 CRNT FUEL : 現在の燃料消費量 FUEL CON : 燃料消費量

- 「STREET MODE 1-2」または「TRACK MODE」を選択して、DISPLAY-1 グループの残りの項目を設定します。



- 三角形の記号を選択して終了します。他の表示グループを設定する場合は、手順3から繰り返します。

## "輝度"

このモジュールを使用すると、表示画面の全体的な明るさレベルを調整できます。

**「グリップウォーマー設定」**（装備されている場合）グリップウォーマーのプリセット（LO/MIDDLE/HIGH）の温度値を調整するためのモジュールです。各プリセットは1（弱火）から10（強火）まで設定できます。

## "時計"

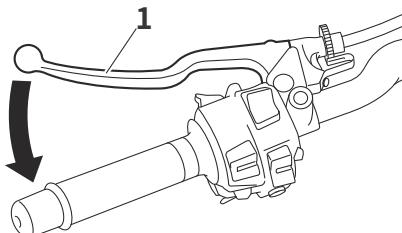
このモジュールを使用すると、時計を設定できます。

### 「オールリセット」

このモジュールは、走行距離計と時計を除くすべてを工場出荷時のプリセットまたはデフォルト設定にリセットします。

すべての項目をリセットするには、「はい」を選択します。YESを選択すると、すべての項目がリセットされ、自動的にMENU画面に戻ります。

## クラッチレバー



1. クラッチレバー

ギアをシフトするときなど、ドライブトレインをエンジンから切り離すには、クラッチ レバーをハンドルバーの方に引きます。レバーを放すとクラッチがつながり、後輪に動力が伝わります。

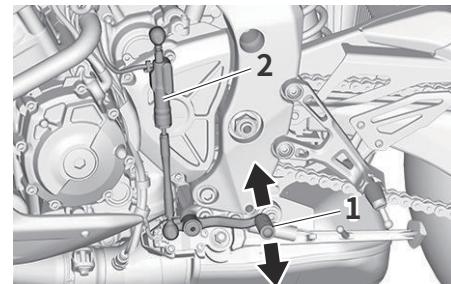
## ヒント

スムーズなシフトを行うには、レバーを素早く引き、ゆっくりと放す必要があります。（6-3ページ参照）

EAU12823

EAU83692

## シフトペダル



1. シフトペダル
2. シフトセンサー

シフトペダルはバイクの左側にあります。トランスマッisionをより高いギアにシフトするには、シフトペダルを上に動かします。トランスマッisionを低いギアにシフトするには、シフトペダルを下げます。（6-3ページ参照）

シフトロッドにはクイックシフターの一部であるシフトセンサーが装備されています。シフトセンサーはシフトペダルを動かしたときの上下の動きや入力の強さを読み取ります。

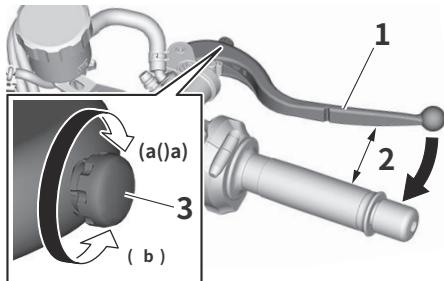
# 計測器および制御機能

## ヒント

意図しないシフトを防ぐために、クイックシフターは不明確な入力信号を無視するようにプログラムされています。したがって、シフト操作は素早く十分な力を加えて行うようにしてください。

4

### ブレーキレバー



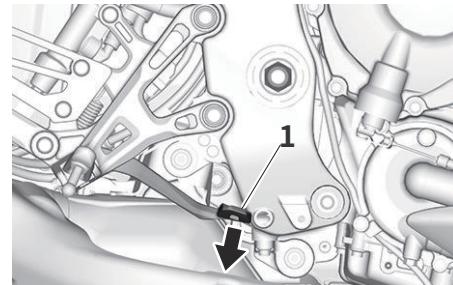
1. ブレーキレバー
2. 距離
3. ブレーキレバー位置調整ノブ

ブレーキレバーはハンドルバーの右側にあります。フロントブレーキをかけるには、レバーをスロットルグリップ側に引きます。

ブレーキレバーにはブレーキレバー位置調整ノブが装備されています。ブレーキレバーとスロットルグリップの距離を調整するには、レバーをスロットルグリップから離した状態で調整ノブを回します。調整ノブを(a)方向に回すと距離が長くなります。調整ノブを(b)の方向に回すと距離が短くなります。

EAU93080

### ブレーキペダル



1. ブレーキペダル

ブレーキペダルはバイクの右側にあります。リアブレーキをかけるには、ブレーキペダルを踏み込みます。

EAU12944

# 計測器および制御機能

## ブレーキコントロールシステム（BC）

ブレーキ制御システムは、ブレーキがかかっているときやホイールロックが検出されたときに、前輪と後輪のブレーキ油圧を独立して調整します。このシステムには2つの設定があり、設定メニューで変更できます。（4-19ページ参照）

BC1は標準のABSで、車速と車輪速度のデータに基づいてブレーキ圧力を調整します。BC1は、車両が直立しているときにブレーキを作動させ、最大のブレーキをかけるように設計されています。BC2は、IMUからの追加データを使用してコーナリング時に適用されるブレーキ力を調整し、横方向の車輪の滑りを抑制します。

ABSについては、従来のブレーキと同様にブレーキを操作してください。ブレーキ制御システムが作動すると、油圧ユニットがブレーキ圧力を急速に加えて減圧するため、ブレーキレバーまたはブレーキペダルに脈動感を感じる場合があります。この状況では、ABSが機能するようにブレーキレバーとブレーキペダルを踏み続けます。ブレーキの効果が低下するため、「ブレーキを踏む」ことはしないでください。

EAU94200

### 警告

ABSが作動している場合でも、走行速度に合わせて前方車両との車間距離を常に十分に保ってください。

私ABSは次の条件で最高のパフォーマンスを発揮します。

長い制動距離。

私特定の表面では、

悪路や砂利道では、ABSを使用した場合よりも制動距離が長くなることがあります。

ABS油圧ユニットはABS ECUによって監視されており、異常が発生した場合にはシステムを従来のブレーキに戻します。

EWA20891

### 警告

ブレーキ制御システムは、適切なライディングおよびブレーキテクニックの使用に代わるものではありません。ブレーキ制御システムは、速度超過によるオーバーブレーキや滑りやすい路面でのブレーキ時の車輪の横滑りによるトラクションの損失をすべて防ぐことはできません。

EWA16051

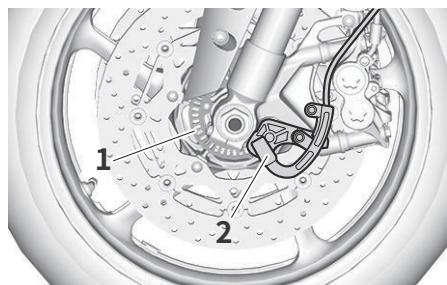
## ヒント

ABSは、車両が始動し、速度が5km/h(3mi/h)に達すると、自己診断テストを実行します。テスト中、油圧コントロールユニットからカチッという音が聞こえたり、ブレーキレバーやペダルに振動を感じる場合がありますが、異常ではありません。

ECA20100

## 知らせ

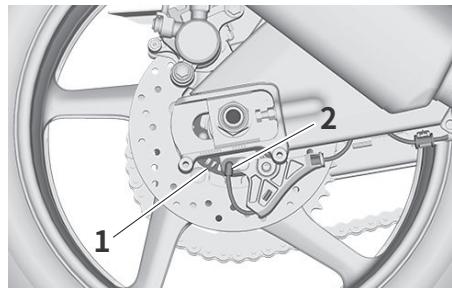
ホイールセンサーまたはホイールセンサーローターを損傷しないように注意してください。そうしないと、ABSの不適切な性能が生じます。



1.前輪センサーユニット  
2.前輪センサー

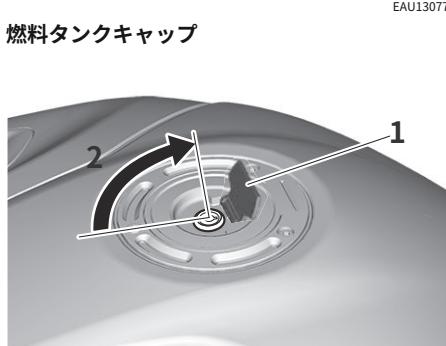
# 計測器および制御機能

4



1. 後輪センサーローター
2. 後輪センサー

燃料タンクキャップ



EAU13077

キャップがきちんと閉まってロックされていないとキーを取り外すことができません。

EWA11092

## !**警告**

燃料を充填した後は、燃料タンクのキャップがきちんと閉まっていることを確認してください。燃料が漏れると火災の危険があります。

### 1. 燃料タンクキャップロックカバー

2. ロックを解除します。

### 燃料タンクのキャップを開けるには

燃料タンクのキャップロックカバーを開け、キーを差し込み時計回りに1/4回転させます。ロックが解除され、燃料タンクキャップが開けられるようになります。

### 燃料タンクのキャップを閉めるには

キーを差し込んだまま、燃料タンクのキャップを押し下げます。キーを反時計回りに1/4回転させて取り外し、ロックカバーを閉めます。

### **ヒント**

燃料タンクのキャップはキーが差し込まれていないと閉められません。加えて、

# 計測器および制御機能

## 燃料

タンク内に十分なガソリンがあることを確認してください。

EAU13222

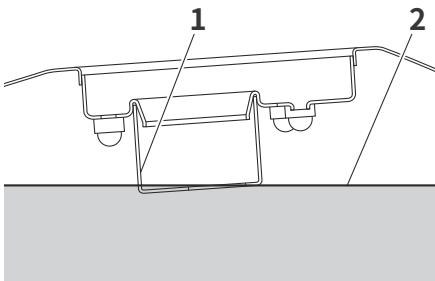
### !**警告**

ガソリンおよびガソリン蒸気は非常に引火しやすいものです。火災や爆発を回避し、給油時の怪我のリスクを軽減するために、次の指示に従ってください。

1. 給油する前にエンジンを切り、車両に人がいないことを確認してください。喫煙中、または火花、裸火、給湯器や衣類乾燥機の種火などの着火源の近くで給油しないでください。

2. 燃料タンクに燃料を入れすぎないでください。給油時は必ずポンプのノズルを燃料タンクの給油口に差し込んでください。燃料がフィラーチューブの底に達したら充填を止めてください。燃料は加熱すると膨張するため、エンジンや太陽の熱により燃料がこぼれる可能性があります。  
燃料タンクの。

EWA10882



1. 燃料タンクフィラーチューブ
2. 最大燃料レベル

3. こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。**知らせ**：燃料がこぼれた場合は、塗装面やプラスチック部品を劣化させる可能性がありますので、すぐに乾いた清潔な柔らかい布で拭き取ってください。

[ECA10072]

4. 燃料タンクのキャップは確実に閉めてください。

EWA15152

### !**警告**

ガソリンは有毒であり、怪我や死亡事故を引き起こす可能性があります。ガソリンは丁寧に扱ってください。決して口からガソリンを吸い出さないでください。万一、ガソリンを飲み込んだり、ガソリン蒸気を大量に吸い込んだり、ガソリンが入った場合

目に入った場合は直ちに医師の診察を受けてください。ガソリンが皮膚についた場合は、石鹼と水で洗ってください。ガソリンが衣服についた場合は、衣服を着替えてください。

EAU86072

4

ヤマハ エンジンは、研究オクタン価 95 以上の無鉛ガソリンを使用するように設計されています。エンジンのノックキングやピン音が発生する場合は、別の銘柄またはオクタン価の高いガソリンを使用してください。

#### 推奨燃料:

無鉛ガソリン (E10可) オクタン価 (RON):  
95

#### 燃料タンク容量 :

17 L (4.5 US ガロン、3.7 Imp.gal) 燃料タンクの予備:  
4.0 L (1.06 US ガロン、0.88 Imp.gal)



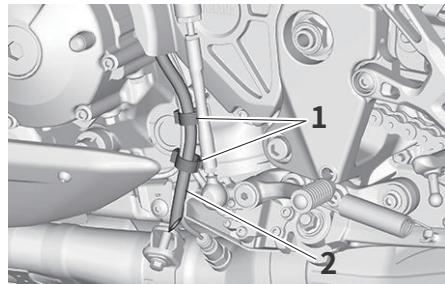
## 知らせ

無鉛ガソリンのみを使用してください。有鉛ガソリンを使用すると、バルブやピストンリングなどのエンジン内部部品や排気システムに重大な損傷を与えます。

ECA11401

EAU86160

## 燃料タンクのオーバーフロー ホース



1. クランプ

2. 燃料タンクオーバーフロー ホース

オーバーフロー ホースは余分なガソリンを排出し、車両から安全に排出します。

### 車両を操作する前に:

私燃料タンクのオーバーフロー ホースを点検してください  
繋がり。

私燃料タンクのオーバーフロー ホースを点検してください  
亀裂や損傷がないか確認し、必要に応じて交換  
してください。

私燃料タンクがオーバーしていることを確認してください。  
フローホースが詰まっていないか、必要に応じ  
て掃除してください。

私燃料タンクがオーバーしていることを確認してください。  
フローホースは図のように配置されています。

## ヒント

私このマークは推奨品を識別します。  
欧州規制 (EN228) で指定されてい  
るこの車両用の修正燃料。

私ガソリンポンプノズルの確認  
同じ燃料識別マークが付いていま  
す。

## ガソホール

ガソホールにはエタノールを含むガソ  
ホールとメタノールを含むガソホール  
の2種類があります。エタノール含有ガ  
ソホールは、エタノール含有量が 10%  
(E10) を超えない場合に使用できます。  
メタノールを含むガソホールは、燃料  
システムの損傷や車両の性能上の問題  
を引き起こす可能性があるため、ヤマ  
ハでは推奨しません。

## ヒント

キャニスターの情報については、7-10 ページを参照してください。

## 触媒コンバーター

排気システムには、有害な排気ガスを削減するための触媒コンバータが含まれています。

EAU13435



### 警告

運転後の排気システムは高温になっています。火災や火傷を防ぐには:

私近くに車を駐車しないでください  
草やその他の燃えやすい物質など、火災の危険がある可能性があります。

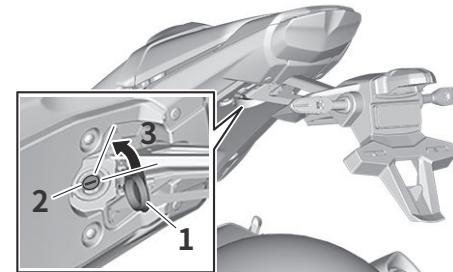
私車を次の場所に駐車します。  
歩行者や子供が高温の排気システムに触れることはできません。

私排気システムが正常であることを確認してください。  
メンテナンス作業を行う前に、温度が下がっていることを確認してください。  
私エンジンをアイドリングさせないでください  
数分以上。長時間のアイドリングは熱の蓄積を引き起こす可能性があります。

## シート

### シートを取り外すには

1. シートロックカバーを開け、キーをシートロックに差し込み、キーを反時計回りに回します。



1. シートロックカバー

2. シートロック

3. ロックを解除します。

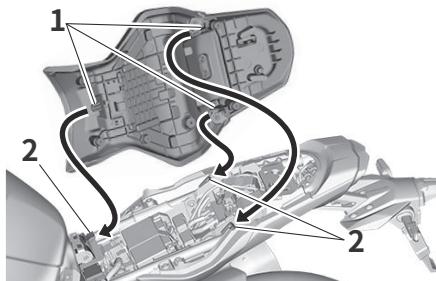
2. その位置でキーを押しながらシートを後方にスライドさせ、シート後部を持ち上げてシートを取り外します。

### シートを取り付けるには

1. 図のように突起をシートホルダーに差し込みます。

# 計測器および制御機能

4



1. 投影
2. シートホルダー
2. シートの後部を押し下げて、所定の位置にロックします。
3. キーを取り外します。

## ヒント

乗車前にシートが正しく固定されていることを確認してください。

ECA27380

## 知らせ

IMUはシートの下にあります。これはユーザーが保守できるものではなく、非常に機密性が高いため、IMUを直接扱わないことをお勧めします。

私取り外したり、改造したり、設置したりしないでください

**IMU内またはその周囲に異物が存在する場合。**

私IMUを強い負荷にさらさないでください  
衝撃。

EAU94871

ECA22472

## フロントフォークの調整

### 知らせ

私傷が付かないように細心の注意を払ってください。  
**サスペンション調整時にはアルマイト仕上げを行ってください。**

私サスペンションの損傷を避けるために、  
sionの内部機構に問題があるため、最大または最小設定を超えて回転させないでください。

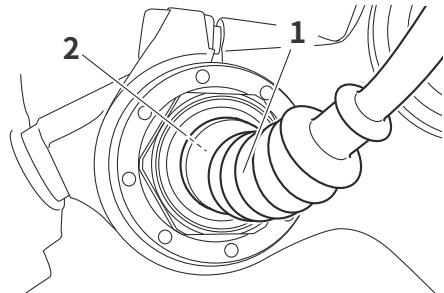
オーリンズ製電子レーシングサスペンションを搭載したモデルです。圧縮側と伸び側の減衰力は電子的に調整されます(4-21ページのERSを参照)。スプリングプリロードは手動で調整されます。

### スプリングプリロード

1. 車両の電源を切ります。
2. 各カプラーのゴム製カバーをスライドさせて戻します。
3. 各フロントフォークのカプラーを取り外します。**知らせ：カプラーの損傷を防ぐため、鋭利な工具や過度の力を使用しないでください。**

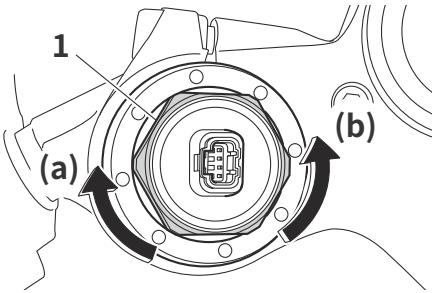
[ECA22770]

# 計測器および制御機能



1. ゴムカバー  
2. カプラー

4. アジャストボルトを の方向に回す  
(a) スプリングのプリロードを大きくします。アジャストボルトを(b)方向に回すとスプリングプリロードが減少します。スプリングプリロードを設定するには、アジャスターを(b)方向に止まるまで回し、その後(a)方向への回転数を数えます。



1. スプリングプリロード調整ボルト

## スプリングプリロード設定：

- 最小(ソフト):  
(a) 方向に 0 ターン 標準:  
(a) 方向に 11 回転 最大(ハード):  
(a) 方向に 15 回転

## ヒント

スプリングプリロードアジャスターを(a)方向に回すと規定以上に回転する場合がありますが、調整効果がなくサスペンションを損傷する可能性があります。

5. 各フォークにカプラーを取り付けます。  
6. ゴムカバーを元の位置にスライドさせます。

## ショックアブソーバーAssyの調整

EAU94880

EWA10222

### 警告

このショックアブソーバーアセンブリには高圧の窒素ガスが封入されています。ショックアブソーバーアセンブリを取り扱う前に、次の情報を読んで理解してください。

私改ざんしたり、改ざんしようしないでください  
シリンダーアセンブリを開けます。

私衝撃を与えないでください。  
ソーバーアセンブリを裸火または他の高熱源に近づけます。過剰なガス圧力によりユニットが爆発する可能性があります。

私変形させたり、傷をつけたりしないでください  
とにかくシリンダー。シリンダーが損傷すると、減衰性能が低下します。

私破損したものや破損したものは処分しないでください。  
摩耗したショックアブソーバーアセンブリは自分で交換してください。ショックアブソーバーアセンブリの修理については、ヤマハ販売店にご依頼ください。

# 計測器および制御機能

オーリンズ製電子レーシングサスペンションを搭載したモデルです。

## 圧側減衰力と伸び側減衰力

圧側減衰力と伸び側減衰力は電子制御されており、MENU画面から調整可能です。これらの設定を調整する方法については、4-21 ページの「ERS」を参照してください。

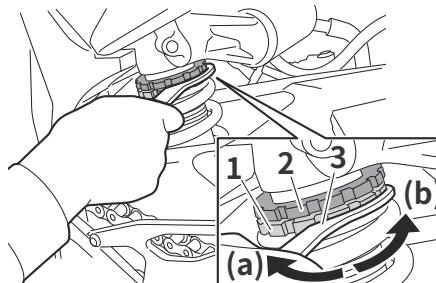
### スプリングプリロード

スプリングプリロード調整は手動で行います。

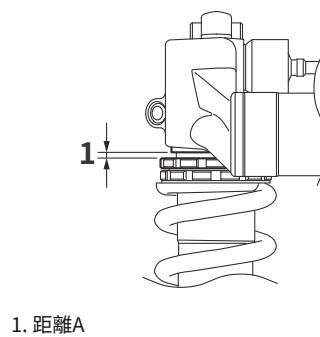
1. ロックナットを緩めます。
2. 調整ナットを の方向に回します。  
(a) スプリングのプリロードを大きくします。調整ナットを (b) の方向に回すと、スプリングのプリロードが減少します。スプリングのプリロード設定は、距離 A を測定することによって決定されます。距離 A が長いほど、スプリングのプリロードは高くなります。短い方の距離A は、スプリングが低いほど

プリロード。

私は使用します e s 特別なレンチで  
道具箱に作る e調整。



1. スプリングプリロード調整ナット
2. ロックナット
3. 専用レンチ



1. 距離A

スプリングプリロード:
最小(ソフト):
距離 A = 0.0 mm (0.00 インチ)
標準:
距離 A = 4.0 mm (0.16 インチ)
最大(ハード):
距離 A = 9.0 mm (0.35 インチ)

3. ロックナットを規定トルクで締め付けます。知らせ: 必ずロックナットをアジャストナットに当てる締め付けた後、ロックナットを規定トルクで締め付けてください。 [ECA10122]

### 締め付けトルク :

ロックナット :  
 $25\text{N}\cdot\text{m}$  (2.5kgf·m)

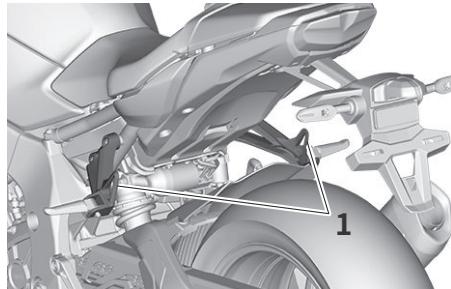
ECA10102

### 知らせ

機構の損傷を避けるため、最大または最小設定を超えて回転させないでください。

# 計測器および制御機能

## 荷物用ストラップホルダー



1. ラゲッジストラップホルダー

示されたストラップポイントを使用して、荷物紐を車両に固定します。

EAU84680

## EXUPシステム

ヤマハのEXUP(Exhaust Ultimate Power Valve)システムを搭載したモデルです。このシステムは、排気チャバー内の排気流を制御するバルブによってエンジン出力をブーストします。

EAU67050

### 知らせ

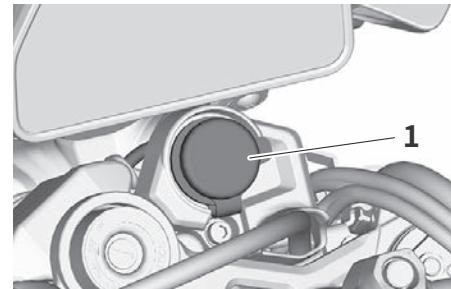
EXUPシステムはヤマハ工場で設定され、徹底的にテストされています。十分な専門知識なしにこれらの設定を変更すると、エンジンの性能低下や損傷を引き起こす可能性があります。

ECA15611

EAU93890

4

## 電源コンセント



1. コンセントキャップ

メインスイッチがオンのときに、コンセントに接続された 12 V アクセサリが使用できます。

ECA27360

### 知らせ

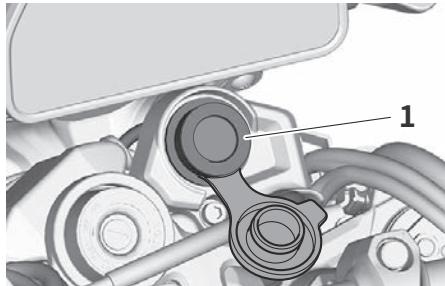
電源コンセントに接続されたアクセサリは、エンジンを停止した状態で使用しないでください。また、負荷は 12 W (1.0A) を超えないようにしてください。ヒューズが切れたり、バッテリーが放電したりする可能性があります。

## コンセントを使用するには

1. メインスイッチをオフにします。
2. コンセントキャップを取り外します。

# 計測器および制御機能

3. アクセサリの電源をオフにします。
4. 付属のプラグを電源コンセントに差し込みます。



1. 電源コンセント
5. メインスイッチをオンにし、エンジンを始動します。 (6-2ページ参照)
6. アクセサリの電源をオンにします。

EWA21220

## ⚠ 警告

感電やショートを防ぐため、コンセントを使用しないときは必ずキャップを取り付けてください。

EAU15306

## サイドスタンド

サイドスタンドはフレームの左側にあります。車を直立させた状態で足でサイドスタンドを上げたり下げたりしてください。

## ヒント

内蔵サイドスタンドスイッチは点火回路カットオフシステムの一部であり、特定の状況で点火を遮断します。（点火回路カットオフシステムの説明は次項を参照）

EWA10242

## ⚠ 警告

サイドスタンドを下げた状態、またはサイドスタンドを適切に上げられない（または上がったままにならない）場合は、車両に乗ってはなりません。そうしないと、サイドスタンドが地面に接触してオペレーターの気が散り、制御不能になる可能性があります。ヤマハの点火回路カットオフシステムは、オペレーターが発進前にサイドスタンドを上げる責任を果たすのを支援するように設計されています。したがって、このシステムを定期的にチェックし、ヤマハの修理を行ってください。

正常に機能しない場合はディーラーで修理してください。

EAUA1270

## 点火回路カットオフシステム

このシステムは、クラッチレバーを引いてサイドスタンドを上げない限り、インギアでエンジンが始動することを防ぎます。また、トランスミッションがギアに入っているときにサイドスタンドを下げると、実行中のエンジンが停止します。

以下の手順で本システムを定期的に確認してください。

### ヒント

私このチェックは、以下のとおりである場合に最も信頼性が高くなります。

暖機されたエンジンで形成されます。

私スイッチについては4-2、4-3ページをご覧ください。

運行情報。

# 計測器および制御機能

EUA1280

4

エンジンを停止した状態で:

1. サイドスタンドを下に動かします。
2. エンジン停止スイッチを実行位置に設定します。
3. メインスイッチをオンの位置にします。
4. トランスミッションをニュートラルにシフトします。
5. スタートスイッチを押します。

エンジンは始動しますか？

## ⚠ 警告

故障が見つかった場合は車両をご返却ください  
検査する人 d 乗車前に。

はい

いいえ

エンジンがまだ作動している状態で:

6. サイドスタンドを上に動かします。
7. クラッチレバーを引きます。
8. トランスミッションをギアに入れます。
9. サイドスタンドを下に動かします。 エ  
ンジンが止まってしまいますか？

ニュートラルスイッチが作動していない可能性があります。  
**バイクは乗ってはいけないそれまで**  
ヤマハ販売店にて点検済みです。

はい

いいえ

エンジンが停止した後:

10. サイドスタンドを上に動かします。
11. クラッチレバーを引きます。
12. スタートスイッチを押します。

エンジンは始動しますか？

サイドスタンドスイッチが作動していない可能性があります。  
**バイクは乗ってはいけないヤマハ販売店に点  
検してもらうまでは。**

はい

いいえ

システムは正常です。 **バイクは乗れます。**

クラッチスイッチが作動していない可能性があります。  
**バイクは乗ってはいけないそれまで**  
ヤマハ販売店にて点検済みです。

# 安全のために - 操作前チェック

EAU1559B

車両を使用するたびに車両を点検し、安全な運転状態にあることを確認してください。取扱説明書に記載されている検査およびメンテナンスの手順とスケジュールに従ってください。

EWA11152



## 警告

車両の点検や整備を適切に行わないと、事故や機器の損傷の可能性が高くなります。異常を見つけた場合は車両を運転しないでください。本書の手順で症状が改善しない場合は、ヤマハ販売店で点検を受けてください。

この車両を使用する前に、次の点を確認してください。

5

アイテム	小切手	ページ
燃料	<ul style="list-style-type: none"><li>燃料タンク内の燃料レベルを確認してください。</li><li>必要に応じて燃料を補給します。</li><li>燃料ラインに漏れがないか確認してください。</li><li>燃料タンクのブリーザー/オーバーフロー ホースに障害物、亀裂、損傷がないか確認し、ホースの接続を確認します。</li></ul>	4-33、4-34
エンジンオイル	<ul style="list-style-type: none"><li>エンジン内のオイルレベルを確認します。</li><li>必要に応じて、推奨オイルを指定レベルまで追加します。</li><li>車両にオイル漏れがないか確認してください。</li></ul>	7-10
クーラント	<ul style="list-style-type: none"><li>リザーバー内の冷却液レベルを確認します。</li><li>必要に応じて、推奨クーラントを指定レベルまで追加します。</li><li>冷却システムに漏れがないか確認してください。</li></ul>	7-11
前輪のブレーキ	<ul style="list-style-type: none"><li>動作を確認します。</li><li>柔らかい場合やスポンジ状の場合は、ヤマハ販売店に油圧システムのエア抜きを依頼してください。</li><li>ブレーキパッドが摩耗していないか確認してください。</li><li>必要に応じて交換してください。</li><li>リザーバー内の液面を確認してください。</li><li>必要に応じて、指定されたブレーキフルードを指定されたレベルまで追加します。</li><li>油圧システムに漏れがないか確認してください。</li></ul>	7-20、7-20

# 安全のために - 操作前チェック

5

アイテム	小切手	ページ
リアブレーキ	<ul style="list-style-type: none"><li>動作を確認します。</li><li>柔らかい場合やスポンジ状の場合は、ヤマハ販売店に油圧システムのエア抜きを依頼してください。</li><li>ブレーキパッドが摩耗していないか確認してください。</li><li>必要に応じて交換してください。</li><li>リザーバー内の液面を確認してください。</li><li>必要に応じて、指定されたブレーキフルードを指定されたレベルまで追加します。</li><li>油圧システムに漏れがないか確認してください。</li></ul>	7-20、7-20
クラッチ	<ul style="list-style-type: none"><li>動作を確認します。</li><li>必要に応じてケーブルに注油してください。</li><li>レバーの遊びを確認します。</li><li>必要に応じて調整します。</li></ul>	7-18
スロットルグリップ	<ul style="list-style-type: none"><li>スムーズな回転と自動復帰を確認してください。</li></ul>	7-24
制御ケーブル	<ul style="list-style-type: none"><li>動作がスムーズであることを確認してください。</li><li>必要に応じて注油してください。</li></ul>	7-24
ドライブチェーン	<ul style="list-style-type: none"><li>チェーンの緩みを確認してください。</li><li>必要に応じて調整します。</li><li>チェーンの状態を確認してください。</li><li>必要に応じて注油してください。</li></ul>	7-22、7-23
ホイールとタイヤ	<ul style="list-style-type: none"><li>損傷がないか確認してください。</li><li>タイヤの状態と溝の深さを確認してください。</li><li>空気圧を確認してください。</li><li>必要に応じて修正します。</li></ul>	7-15、7-17
ブレーキペダルとシフトペダル	<ul style="list-style-type: none"><li>動作がスムーズであることを確認してください。</li><li>必要に応じて、ペダルの回転点に注油してください。</li></ul>	7-24
ブレーキレバーとクラッチレバー	<ul style="list-style-type: none"><li>動作がスムーズであることを確認してください。</li><li>必要に応じて、レバーの回転点に注油してください。</li></ul>	7-25
サイドスタンド	<ul style="list-style-type: none"><li>動作がスムーズであることを確認してください。</li><li>必要に応じてピボットに注油します。</li></ul>	7-26
シャーシの留め具	<ul style="list-style-type: none"><li>すべてのナット、ボルト、ネジが適切に締められていることを確認してください。</li><li>必要に応じて締めます。</li></ul>	—

# 安全のために - 操作前チェック

アイテム	小切手	ページ
計器、照明、信号、スイッチ	<ul style="list-style-type: none"><li>動作を確認します。</li><li>必要に応じて修正します。</li></ul>	—
サイドスタンドスイッチ	<ul style="list-style-type: none"><li>点火回路カットオフシステムの動作を確認してください。</li><li>システムが正常に動作しない場合は、ヤマハ販売店に車両の点検を依頼してください。</li></ul>	4-40

# 操作方法と走行上の注意点

EAU15952

オーナーズマニュアルをよく読んで、すべてのコントロールに慣れてください。わからない操作や機能がある場合は、ヤマハ販売店にご相談ください。

EWA10272



コントロールに慣れていないと、コントロールを失い、事故や怪我を引き起こす可能性があります。

6

EAU16842

## エンジン慣らし運転

エンジンの寿命において、0～1600 km (1000 マイル) の期間ほど重要な時期はありません。このため、次の資料をよくお読みください。

1000～1600 km (600～1000 マイル) 7100 r/min を超える長時間の運転は避けてください。

1600 km (1000 マイル) 以降 これで車両は通常通り運転できるようになりました。

ECA10311

## 知らせ

私エンジン回転数を超えないようにしてください  
タコメーターのレッドゾーン。

私万が一エンジントラブルが発生した場合は、  
エンジンの慣らし期間中に異常が  
生じた場合は、ただちにヤマハ販  
売店で点検を受けてください。

EAU17085

## 0～1000 km (0～600 マイル)

5900 r/min を超える長時間の運転は避けてください。**知らせ：1,000 km (600 マイル) 運転**  
した後は、エンジン オイルを交換し、オイル  
フィルター カートリッジまたはエレメントを交  
換する必要があります。

[ECA10303]

## ヒント

エンジンのならし期間中およびその後  
は、排気熱によりエキゾーストパイプが  
変色することがありますが、異常ではありません。

# 操作方法と走行上の注意点

## エンジンの始動

EAU91411

点火回路カットオフシステムにより、次の場合に始動が可能になります。

私トランスミッションはニュートラルにあります  
**立場とか**

私トランスミッションはギアに入っており、  
サイドスタンドを立て、クラッチレバー  
を引きます。

### エンジンを始動するには

1. メインスイッチをオンにし、エンジンストップスイッチを運転位置にします。
2. インジケーターと警告灯が数秒間点灯し、その後消灯することを確認します。 (4-5ページ参照)

### ヒント

私故障している場合はエンジンを始動しないでください。

機能表示灯は点灯したままになります。

### 私油圧と冷却水の温度

速度警告灯が点灯し、エンジンが始動するまで点灯したままになります。

### 私ABS警告灯は、

さあ、車の速度が5 km/h (3 mi/h)に達するまでそのままにしておきます。

ECA24110

1. 1/4回転 (20度)

ECA11043

## 知らせ

上記の警告灯や表示灯が点灯しない場合は、ヤマハ販売店で車両の点検をご依頼ください。

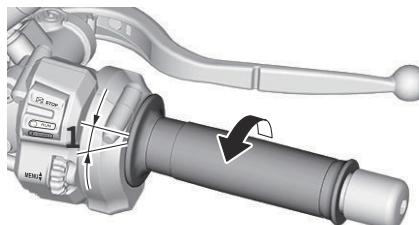
3. トランスミッションをニュートラルにシフトします。寒い！

  トラルポジション。

4. スタートスイッチを押してエンジンを始動します。
5. エンジンが始動したら、または5秒後にスタートスイッチを放します。  
バッテリー電圧が回復するまで、10秒待ってからもう一度スイッチを押してください。

## ヒント

エンジンが始動しない場合は、スロットルグリップを1/4回転（20度）開いた状態で再試行してください。



# 操作方法と走行上の注意点

EAU68221

## ヒント

このモデルには以下が装備されています。

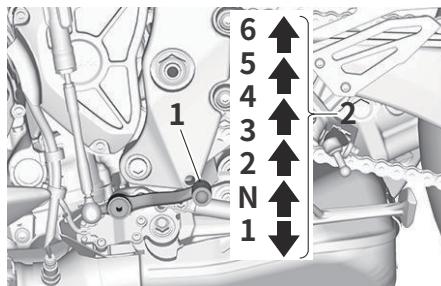
### 私慣性測定装置 (IMU)。

転倒時にエンジンを停止させる装置です。エンジンを再始動する前に、メインスイッチをオフにしてからオンしてください。そうしないと、スタートスイッチを押してもエンジンが始動しなくなります。

6

私エンジン自動停止システム。の  
20分間アイドリングを続けるとエンジンが  
自動的に停止します。エンジンが停止した場  
合は、スタートスイッチを押すだけでエンジ  
ンが再始動します。

## シフトする



1. シフトペダル
2. ギアポジション

ギアをシフトすることで、発進、加速、登坂などに利用できるエンジン出力の量を制御できます。

このモデルにはクイックシフターが装備されています。3-3ページおよび4-20ページを参照してください。

## ヒント

ニュートラル ( ) にシフトするには、2速からシフトペダルを軽く踏み込むか、1速でシフトペダルを少し上げます。

EAU67084

ECA22523

## 知らせ

私シフトするときはシフトを押します  
ギアシフトが完了したと感じるまでしつ  
かりとペダルを踏みます。

私トランスミッションが入っていても、  
エンジンを停止した状態で長時間  
惰性走行したり、長距離を牽引し  
たりしないでください。トランシ  
ミッションは、エンジンが作動し  
ているときにのみ適切に潤滑され  
ます。潤滑が不十分だとトランシ  
ミッションが損傷する可能性があ  
ります。

私クイック使用時を除く  
エンジン、トランスミッション、ド  
ライブトレインの損傷を避けるた  
め、ギアを変更するときは必ずク  
ラッチレバーを引いてください。

EAU85370

## スタートして加速するには

1. クラッチレバーを引いてクラッチを切ります。
2. トランスミッションを1速ギアに入  
れます。ニュートラル表示灯が消え  
るはずです。

# 操作方法と走行上の注意点

EAU16811

3. スロットルを徐々に開けると同時にクラッチレバーをゆっくり放します。
4. 発進後はスロットルを閉じ、同時にクラッチレバーを素早く引き込みます。
5. トランスマッショ n を 2 速に入れます。（トランスマッショ n をニュートラルにしないでください。）
6. スロットルを途中まで開き、徐々にクラッチレバーを放します。
7. 1 段上のギアにシフトするときも、同じ手順に従います。

EAU85380

## 減速するには

1. スロットルを放し、前後のブレーキをスムーズにかけてバイクの速度を下げます。
2. 車両が減速したら、より低いギアにシフトします。
3. エンジンが停止しそうになったり、エンジンが乱暴に回転したりした場合は、クラッチレバーを引き、ブレーキを使ってバイクの速度を落とし、必要に応じてシフトダウンを続けます。
4. バイクが停止したら、トランスマッショ n をシフトすることができます

ニュートラルポジションにします。ニュートラル表示灯が点灯し、クラッチレバーを放すことができます。

EWA17380



## 警告

私適切なブレーキは次の原因となる可能性があります  
コントロールやトラクションの喪失。常に両方のブレーキを使用し、スムーズにブレーキをかけてください。

### 私が

エンジンが十分に減速してから、より低いギアにシフトします。車両速度またはエンジン速度が高すぎると、低いギアに入れると、後輪がトラクションを失ったり、エンジンが過剰回転したりする可能性があります。コントロールを失い、事故や怪我を引き起こす可能性があります。  
エンジンやドライブトレインの損傷を引き起こす可能性もあります。

## 燃料消費量を減らすためのヒント

燃料消費量はあなたのライディングスタイルに大きく依存します。燃料消費量を削減するには、次のヒントを考慮してください。

私速やかにシフトアップし、高回転を避けてください。  
加速時のジン速度。シフトダウン中はエンジンを高回転にしないでください。また、エンジンに負荷がかからない状態でエンジン回転数を高くしないでください。

私そのままではなくエンジンを切ってください  
長時間放置した場合（渋滞中、信号待ち、踏切など）。

# 操作方法と走行上の注意点

---

EAU17214

## 駐車場

駐車するときはエンジンを停止し、メインスイッチからキーを抜いてください。

EWA10312



### 警告

---

私エンジンと排気なので  
システムが非常に高温になる可能  
性があるため、歩行者や子供が触  
れて火傷をする可能性のない場所  
に駐車してください。

私坂道や柔らかい場所には駐車しないでください  
地面に接地しないと車両が横転  
し、燃料漏れや火災の危険が高ま  
ります。

私芝生などの近くに駐車しないでください  
引火する可能性のある可燃物。

---

# 定期的なメンテナンスと調整

EAU17246

EAU15123

EAU17303

定期的な点検、調整、注油により、車両を可能な限り安全かつ効率的な状態に保つことができます。安全は車両の所有者/運転者の義務です。車検、調整、注油の最も重要なポイントは次のページで説明しています。

定期メンテナンス表に記載されている間隔は、通常の走行条件における一般的な目安として考えてください。ただし、天候、地形、地理的位置、および個人の使用状況によっては、メンテナンスの間隔を短縮する必要がある場合があります。

## ⚠ 警告

メンテナンスを行うときは、特に指示がない限りエンジンを停止してください。

**稼働中のエンジンが動いている**  
身体や衣服に引っ掛かる可能性のある部品や、感電や火災の原因となる電気部品など。

**整備中にエンジンをかけると、  
目の怪我、火傷、火災、一酸化炭素中毒を引き起こし、場合によっては死に至る可能性があります。  
一酸化炭素について詳しくは、1-2  
ページをご覧ください。**

排出ガス制御は、よりきれいな空気を確保する機能だけでなく、エンジンの適切な動作と最大限のパフォーマンスにも不可欠です。次の定期保守表では、排出ガス制御に関するサービスが個別にグループ化されています。これらのサービスには、専門的なデータ、知識、機器が必要です。排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理は、認定を受けた修理施設または個人（該当する場合）によって実行できます。ヤマハディーラーは、これらの特定のサービスを実行するための訓練を受け、装備されています。

EAU15461

## ⚠ 警告

ブレーキディスク、キャリパー、ドラム、ライニングは使用中に非常に熱くなることがあります。火傷の可能性を避けるために、

車両の使用前または使用中にサービスブレーキコンポーネントが冷えると、負傷または死亡彼らに触れること。

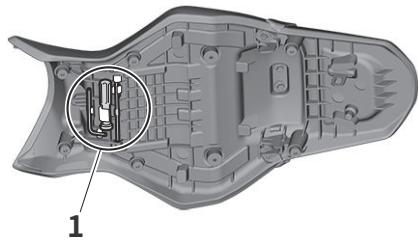
## ⚠ 警告

車両を適切にメンテナンスしなかったり、メンテナンス作業を不適切に実行すると、  
車両の使用前または使用中にサービスブレーキの危険があります。あなたがいる場合  
車の整備に詳しくない場合は、ヤマハ販売店に整備を依頼してください。

# 定期的なメンテナンスと調整

## ツールキット

EAU85240



1. ツールキット

7

オンボード ツール キットは図の場所にあります。また、車両購入時に追加のツールキットが別途配布されました。

このマニュアルに含まれる情報とツールキットに含まれるツールは、予防メンテナンスや簡単な修理の実行を支援することを目的としています。ただし、特定のメンテナンス作業を正しく実行するには、トルクレンチやその他の工具が必要です。

## ヒント

特定の作業に必要な工具や経験がない場合は、ヤマハ販売店に作業を依頼してください。

# 定期的なメンテナンスと調整

EAU71033

## 定期メンテナンス表

### ヒント

私アスタークの付いた項目は特別な工具が必要なため、ヤマハ販売店で行ってください。

データも技術力も。

私50000 km (30000 マイル) 以降は、10000 km (6000 マイル) から始まるメンテナンス間隔を繰り返します。

私年次点検は、距離ベースのメンテナンスが次の場所で実行される場合を除き、毎年実行する必要があります。

代わりに。

EAU71052

## 排ガス規制システムの定期メンテナンス表

いいえ。	アイテム	チェックメンテナンスジョブ	走行距離計の読書					年間 チェック
			1000km (600マイル)	10000km (6000マイル)	20000km (12000マイル)	30000km (18000マイル)	40000km (24000マイル)	
1	* 燃料ライン	• 燃料ホースに亀裂や損傷がないか確認してください。 • 必要に応じて交換してください。		Ö	Ö	Ö	Ö	Ö
2	* 点火プラグ	• 状態を確認してください。 • 間隔を調整して清掃してください。		Ö		Ö		
		• 交換する。			Ö		Ö	
3	* バルブクリアランス	• 確認して調整します。	40000km (24000mi) ごと					
4	* 燃料噴射	• エンジンのアイドリング速度を確認します。	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö
		• 同期を確認および調整します。		Ö	Ö	Ö	Ö	Ö
5	* 排気システム	• 漏れがないか確認してください。 • 必要に応じて締めます。 • 必要に応じてガスケットを交換します。	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	
6	* 蒸発エミッショニオン制御システム	• 制御システムに損傷がないか確認してください。 • 必要に応じて交換してください。			Ö		Ö	

# 定期的なメンテナンスと調整

いいえ。	アイテム	チェックメンテナンスジョブ	走行距離計の読書					年間 チェック
			1000km (600マイル)	10000km (6000マイル)	20000km (12000マイル)	30000km (18000マイル)	40000km (24000マイル)	
7	*	エアインダクションシステム	•エアカットオフバルブ、リードバルブ、ホースに 損傷がないか確認してください。 •必要に応じて、損傷した部品を交換し ます。		Ö	Ö	Ö	Ö

# 定期的なメンテナンスと調整

EAU71354

## 一般的なメンテナンスと注油のチャート

いいえ。	アイテム	チェックメンテナンスジョブ	走行距離計の読書					年間 チェック
			1000km (600マイル)	10000km (6000マイル)	20000km (12000マイル)	30000km (18000マイル)	40000km (24000マイル)	
1	* 診断システム チェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヤマハ診断ツールを使用して動的検査を実行します。</li> <li>エラーコードを確認してください。</li> </ul>	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö
2	* エアフィルターエレメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>交換する。</li> </ul>	40000km (24000mi) ごと					
3	クラッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>動作を確認します。</li> <li>調整する。</li> </ul>	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	
4	* 前輪のブレーキ	<ul style="list-style-type: none"> <li>動作、液面、液漏れの有無を確認してください。</li> <li>ブレーキレバーの遊びを調整します。</li> <li>必要に応じてブレーキパッドを交換してください。</li> </ul>	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö
5	* リアブレーキ	<ul style="list-style-type: none"> <li>動作、液面、液漏れの有無を確認してください。</li> <li>必要に応じてブレーキパッドを交換してください。</li> </ul>	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö
6	* ブレーキホース	<ul style="list-style-type: none"> <li>亀裂や損傷がないか確認してください。</li> <li>交換する。</li> </ul>		Ö	Ö	Ö	Ö	Ö
7	* ブレーキ液	<ul style="list-style-type: none"> <li>変化。</li> </ul>	4年ごと					
8	* ホイール	<ul style="list-style-type: none"> <li>振れや損傷がないか確認してください。</li> <li>必要に応じて交換してください。</li> </ul>		Ö	Ö	Ö	Ö	
9	* タイヤ	<ul style="list-style-type: none"> <li>トレッドの深さと損傷を確認してください。</li> <li>必要に応じて交換してください。</li> <li>空気圧を確認してください。</li> <li>必要に応じて修正します。</li> </ul>		Ö	Ö	Ö	Ö	Ö
10	* ホイールベアリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベアリングに緩みや損傷がないか確認してください。</li> </ul>		Ö	Ö	Ö	Ö	

# 定期的なメンテナンスと調整

いいえ。	アイテム	チェックメンテナンスジョブ	走行距離計の読書					年間 チェック
			1000km (600マイル)	10000km (6000マイル)	20000km (12000マイル)	30000km (18000マイル)	40000km (24000マイル)	
11 *	スイングアームピボット ペアリング	・動作と過剰な遊びがないか確認してください。		ö	ö	ö	ö	
		・リチウム石鹼ベースのグリースを使用して潤滑します。		50000 km (30000 マイル) ごと				
12	ドライブチェーン	・チェーンの緩み、アライメント、状態を確認してください。 ・チェーンの調整と潤滑には、専用のオリングチェーン潤滑剤を使用してください。		1000 km (600 マイル) ごと、およびバイクの洗車後、雨天走行後、または走行後濡れた場所で				
13 *	ステアリングペアリング	・ペアリングアセンブリに緩みがないか確認してください。	ö	ö		ö		
		・リチウム石鹼ベースのグリースを適度に再充填してください。			ö		ö	
14 *	ステアリングダンパー	・動作と油漏れがないか確認してください。		ö	ö	ö	ö	
15 *	シャーシの留め具	・すべてのナット、ボルト、ネジが適切に締められていることを確認してください。		ö	ö	ö	ö	ö
16 *	ブレーキレバーピボット 軸	・シリコングリースを塗布してください。		ö	ö	ö	ö	ö
17	ブレーキペダルピボット 軸	・リチウム石鹼ベースのグリースを使用して潤滑します。		ö	ö	ö	ö	ö
18	クラッチレバーピボット 軸	・リチウム石鹼ベースのグリースを使用して潤滑します。		ö	ö	ö	ö	ö
19	シフトペダルピボット 軸	・二硫化モリブデングリースを使用して潤滑してください。		ö	ö	ö	ö	ö
20	サイドスタンド	・動作を確認します。 ・リチウム石鹼ベースのグリースを使用して潤滑します。		ö	ö	ö	ö	ö

# 定期的なメンテナンスと調整

いいえ。	アイテム	チェックメンテナンスジョブ	走行距離計の読書					年間 チェック
			1000km (600マイル)	10000km (6000マイル)	20000km (12000マイル)	30000km (18000マイル)	40000km (24000マイル)	
21 *	サイドスタンドスイッチ	・動作を確認し、必要に応じて交換します。	ö	ö	ö	ö	ö	ö
22 *	フロントフォーク	・動作と油漏れがないか確認してください。 ・必要に応じて交換してください。		ö	ö	ö	ö	
23 *	ショックアブソーバーとして <b>センブリ</b>	・動作と油漏れがないか確認してください。 ・必要に応じて交換してください。		ö	ö	ö	ö	
24 *	リアサスペンション再調整 レイアーマンドコネクト- 腕を回転させている <b>ポイント</b>	・動作を確認します。		ö	ö	ö	ö	
25 *	エンジンオイル	・交換します(排出する前にエンジンを暖めます)。 ・オイルレベルと車両にオイル漏れがないか確認してください。	ö	ö	ö	ö	ö	ö
26 *	エンジンオイルフィルターカー トリッジ	・交換する。	ö		ö		ö	
27 *	冷却システム	・冷却水のレベルと車両に冷却水の漏れがないか確認してください。 ・変化。		ö	ö	ö	ö	ö
28 *	EXUPシステム	・動作、ケーブルの遊び、プーリーの位置を確認します。	ö		ö		ö	
29 *	前後ブレーキスイッチ	・動作を確認します。	ö	ö	ö	ö	ö	ö
30 *	可動部品とケーブル	・潤滑してください。		ö	ö	ö	ö	ö

# 定期的なメンテナンスと調整

いいえ。	アイテム	チェックメンテナンスジョブ	走行距離計の読書					年間 チェック
			1000km (600マイル)	10000km (6000マイル)	20000km (12000マイル)	30000km (18000マイル)	40000km (24000マイル)	
31 *	スロットルグリップ	・動作を確認します。 ・スロットルグリップハウジングのチューブガイドに注油します。		Ö	Ö	Ö	Ö	Ö
32 *	ライトや信号など、 スイッチ	・動作を確認します。 ・ヘッドライトのビームを調整します。	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö

EAU94952

## ヒント

### 私工ア・フィルター

- このモデルのエア フィルタには、使い捨てのオイルコート紙エレメントが装備されています。損傷を避けるため、圧縮空気で清掃しないでください。
- 異常に濡れた場所やほこりの多い場所で走行する場合は、エア フィルター エレメントをより頻繁に交換する必要があります。

### 私油圧ブレーキサービス

- ブレーキ液レベルを定期的に確認し、必要に応じて修正してください。
- 2年ごとにブレーキマスター・シリンダーとキャリパーの内部部品を交換し、ブレーキフルードを交換してください。
- ブレーキホースは4年ごとに亀裂や損傷がある場合は交換してください。
- ステンレス製のブレーキ ホースの一部が黒くなった場合は、フロント ブレーキ ホースを4年ごとに交換してください。

# 定期的なメンテナンスと調整

## 点火プラグの点検

スパークプラグは重要なエンジン部品であるため、できればヤマハ販売店で定期的に点検してください。スパークプラグは熱や堆積物によって徐々に腐食するため、定期メンテナンスおよび潤滑チャートに従って取り外して点検する必要があります。さらに、点火プラグの状態からエンジンの状態がわかることがあります。各点火プラグの中心電極の周囲の磁器絶縁体は中程度から明るい黄褐色（車両が通常に走行している場合に理想的な色）である必要があります。エンジンに取り付けられているすべての点火プラグは同じ色である必要があります。いずれかの点火プラグが明らかに異なる色を示している場合は、エンジンが正常に動作していない可能性があります。このような問題を自分で診断しようとしないでください。ヤマハ販売店で点検を受けてください。

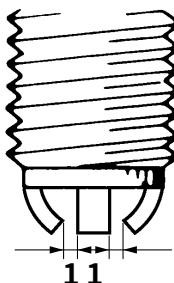
スパーク プラグに電極の腐食や過剰なカーボンまたはその他の堆積の兆候が見られる場合は、交換する必要があります。

EAU67110

### 指定された点火プラグ:

株式会社ニチラ(旧日本特殊陶業株式会社)/LMAR9E-J

スパークプラグを取り付ける前に、スパークプラグのギャップをワイヤ厚さゲージで測定し、必要に応じて仕様に合わせて調整する必要があります。



1.点火プラグのギャップ

### スパークプラグギャップ:

0.6 ~ 0.7 mm (0.024 ~ 0.028 インチ)

点火プラグガスケットの表面とその合わせ面を清掃し、点火プラグネジ部の汚れを拭き取ります。

### 締め付けトルク:

スパークプラグ（新品）：  
18N・m (1.8kgf・m, 13lb・ft) スパークプラグ（点検後）：  
13N・m (1.3kgf・m)

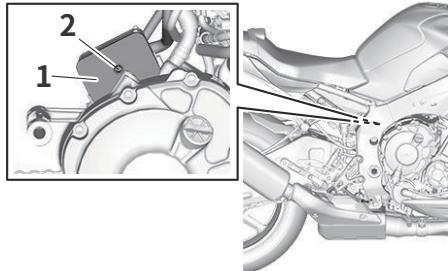
ECA10841

### 知らせ

スパークプラグキャップの取り外し、取り付けには工具を使用しないでください。点火コイルカブラーが損傷する可能性があります。点火プラグキャップは、キャップ端のゴムパッキンが密着しているため、外しにくい場合があります。スパークプラグキャップを取り外すには、キャップを前後にひねりながら引き抜きます。取り付けるときは、押し込みながら前後にひねります。

# 定期的なメンテナンスと調整

## キャニスター



1. キャニスター  
2. キャニスタークリーナー

燃料蒸気の大気中への放出を防止するキャニスターを装備したモデルです。この車両を運転する前に、次のことを必ず確認してください。

各ホースの接続を確認してください。

各ホースとキャニスターを確認してください。

亀裂や損傷。交換する場合

破損した。

私キャニスターが

ブリーザーが詰まっているか、必要に応じて掃除してください。

EAU36113

## エンジンオイル

エンジンオイルレベルは乗車前に必ず確認してください。また、定期整備表に記載された周期で、ヤマハ販売店でエンジンオイルの交換およびオイルフィルターカートリッジの交換を行ってください。

### 推奨エンジンオイル：

全合成  
10W-40、15W-50

### オイル量：

オイル交換：  
3.90 L (4.12 US qt, 3.43 Imp.qt) オイルフィルターを取り外した場合:  
4.10 L (4.33 US クォート、3.61 Imp.qt)

EAU94853

私外国人仲間がないことを確認してください。  
リアルがクランクケースに入ります。

## エンジンオイルレベルを確認するには

- エンジンを始動し、数分間暖機してから停止します。
- オイルレベルが安定するまで数分間待ち、正確な測定値を得るために車両を水平な面に置き、車両を直立させます。
- クランクケース左側下部の確認窓からオイルレベルを確認します。

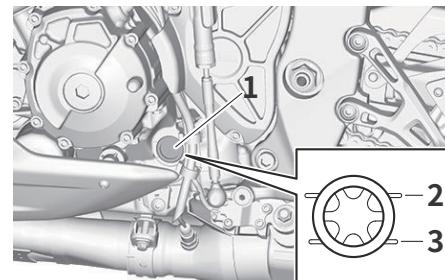
## 知らせ

私クラッチの滑りを防ぐために、  
(エンジンオイルはクラッチの潤滑にもなりますので) 化学添加剤を混ぜないでください。ディーゼル仕様「CD」のオイルや指定以上の品質のオイルは使用しないでください。また、「EN-ERGY CONSERVING II」以上の表示のあるオイルは使用しないでください。

ECA11621

## ヒント

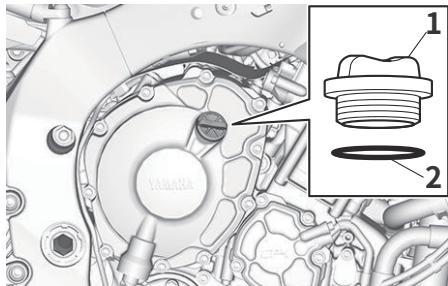
エンジンオイルは最低レベルマークと最高レベルマークの間にある必要があります。



# 定期的なメンテナンスと調整

EAUS1\_203

1. エンジンオイルレベル確認窓
2. 最大レベルマーク
3. 最低レベルマーク
4. エンジンオイルが最低レベルマーク以下の場合は、オイルフィラーキャップを取り外し、オイルを追加します。



1. エンジンオイルフィラーキャップ

2.0 リング

5. O リングに損傷がないか確認し、必要に応じて交換します。
6. エンジンオイルフィラーキャップを取り付けます。

eを変更するには エンジンオイル そしてそのオイルフィルターカートリッジ  
ヤマハディーラーで交換してもらう e、エンジンオイルとオイルフィルターカートリッジ e。

EAU85450

## なぜヤマルーブなのか

ヤマルーブオイルは、エンジンオイルは重要な液体エンジン部品であるという技術者の情熱と信念から生まれたヤマハ純正部品です。機械工学、化学、エレクトロニクス、サーティットテストなどの専門家でチームを編成し、エンジンとそれに使用するオイルを開発してもらっています。ヤマルーブオイルは、基油の特性を最大限に活かし、添加剤を理想的なバランスで配合し、性能基準をクリアしたオイルに仕上げています。このように、ヤマルーブの鉛物油、半合成油、合成油はそれぞれに異なる特徴と価値を持っています。1960年代以来、ヤマハが長年オイルの研究開発で得た経験により、ヤマルーブはヤマハエンジンに最適です。

## クーラント

冷却水レベルを定期的にチェックする必要があります。また、定期点検表に記載された周期で冷却液を交換する必要があります。

### 推奨クーラント:

ヤマルーブクーラント

### クーラント量:

クーラントリザーバー(最大レベルマーク):

0.24 L (0.25 US qt、0.21 Imp.qt) ラジ

エーター(すべてのルートを含む):

2.25 L (2.38 US クオート、1.98 Imp.qt)

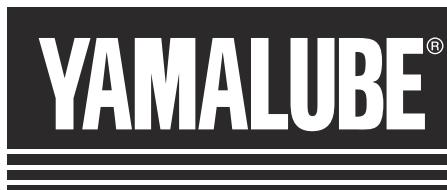
## ヒント

ヤマハ純正クーラントが入手できない場合は、アルミエンジン用の腐食防止剤を含むエチレン glycol 系不凍液を蒸留水と1:1の割合で混合して使用してください。

EAU94092

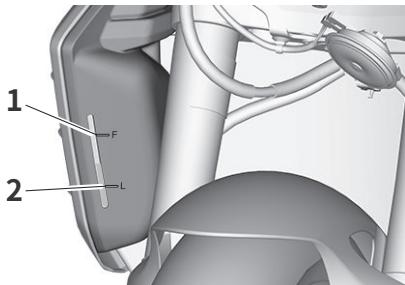
冷却水レベルを確認するには 冷却水のレベルはエンジン温度によって変化しますので、エンジンが冷えているときに確認してください。

1. 車両を平らな場所に駐車します。



# 定期的なメンテナンスと調整

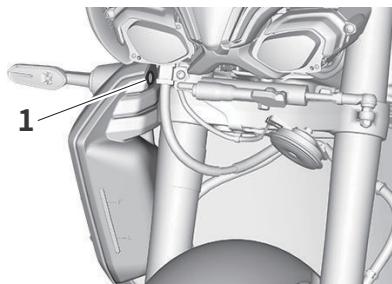
2. 車両を直立させた状態で、リザーバー内の冷却液のレベルを確認します。



1. 最大レベルマーク  
2. 最低レベルマーク

3. 冷却水が下限マーク以下の場合は、次の手順で冷却水タンクのキャップを取り外します。

4. クイックファスナーを外します。



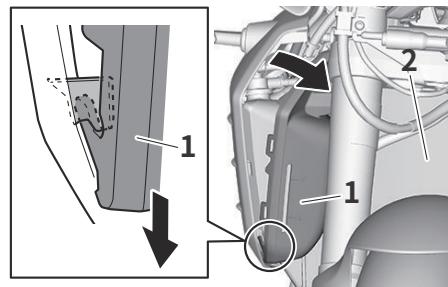
1. クイックファスナー

## ヒント

クイックファスナーはセンターpinを押し込んで引き抜くと外れます。

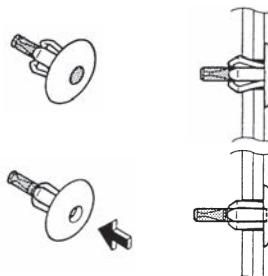
下にスライドさせて移動させます。 知らせ：冷却水リザーバーカバーAを取り外す際は、放熱フィンに接触しないように注意して取り外してください。

[ECA27400]



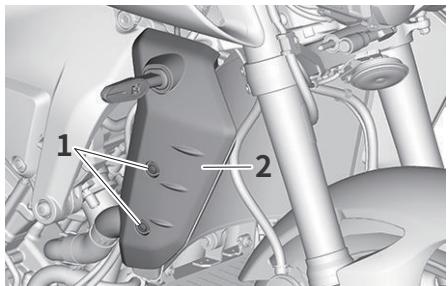
1. クーラントリザーバーカバーA  
2. ラジエターフィン

6. ボルトを外し、クーラントリザーバーカバーBを取り外します。



5. クーラントリザーバーカバーAを図のように手前に引いて、再度取り付けます。

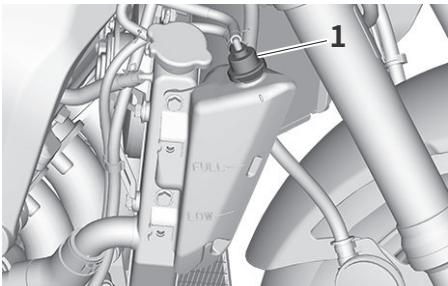
# 定期的なメンテナンスと調整



1. ボルト  
2. クーラントリザーバーカバーB

7. 冷却液リザーバーのキャップを取り外します。警告！クーラントリザーバーキャップのみを取り外します。エンジンが熱いときは、絶対にラジエターキャップを取り外さないでください。

[EWA15162]



1. クーラントリザーバーキャップ

8. クーラントを最大レベルマークまで追加します。知らせ：冷却剤が入手できない場合は、代わりに蒸留水または軟水道水を使用してください。硬水や塩水はエンジンに有害ですので使用しないでください。冷却液の代わりに水を使用した場合は、できるだけ早く冷却液と交換してください。そうしないと、冷却システムが霜や腐食から保護されなくなります。冷却水に水が混入した場合は、冷却水の効果が低下しますので、できるだけ早くヤマハ販売店で冷却水の不凍液の含有量を確認してください。

[ECA10473]

9. クーラントリザーバーキャップを取り付けます。  
10. クーラントリザーバーカバーBを元の位置に取り付け、ボルトを規定のトルクで締め付けます。

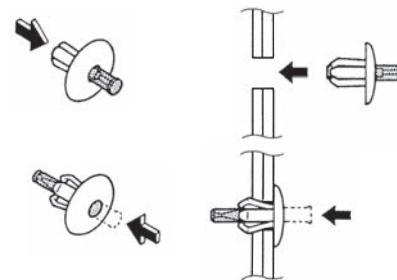
## 締め付けトルク：

クーラントリザーバーカバーボルト：  
 $4.3\text{N}\cdot\text{m}$  ( $0.43\text{kgf}\cdot\text{m}$ )

11. クーラントリザーバーカバーAを元の位置にセットし、クイックファスナーを取り付けます。

## ヒント

クイックファスナーは、センターピンを押し出してカバーに差し込み、センターピンをファスナーの頭と面一に押し込むことで取り付けられます。



EAU33032

## 冷却液の交換

クーラントは、定期メンテナンスおよび潤滑チャートに指定された間隔で交換する必要があります。冷却水の交換はヤマハ販売店にご依頼ください。警告！エンジンが熱いときは、絶対にラジエターキャップを取り外さないでください。

[EWA10382]

# 定期的なメンテナンスと調整

EAU36765

## エアフィルター エレメント

エアフィルター エレメントは、定期保守および注油表に指定された間隔で交換する必要があります。エアフィルター エレメントの交換はヤマハ販売店にご依頼ください。

EAU44735

## エンジンのアイドリング回転数の確認

エンジンのアイドリング回転数を確認し、必要に応じてヤマハ販売店で修理を受けてください。

エンジンアイドリング速度:  
1200 ~ 1400 r/min

EAU21403

## バルブクリアランス

バルブはエンジンの重要部品であり、使用によりバルブクリアランスが変化するため、定期整備表に記載された間隔で点検・調整が必要です。バルブが調整されていないと、空気と燃料の混合が不適切になり、エンジンの騒音が発生し、最終的にはエンジンが損傷する可能性があります。これを防ぐために、定期的にバルブクリアランスの点検・調整をヤマハ販売店にご依頼ください。

## ヒント

この整備はエンジンが冷えているときに行う必要があります。

# 定期的なメンテナンスと調整

## タイヤ

タイヤは車両と道路の間の唯一の接触部分です。あらゆる走行条件における安全性は、比較的小さな道路接触面積に依存します。したがって、タイヤを常に良好な状態に維持し、適切な時期に指定されたタイヤに交換することが重要です。

## タイヤの空気圧

タイヤの空気圧は毎回乗車前にチェックし、必要に応じて調整する必要があります。

EAU94082

### 警告

タイヤ空気圧が不適切な状態でこの車両を操作すると、制御不能により重傷を負ったり死亡したりする可能性があります。

私タイヤの空気圧は次のとおりである必要があります  
タイヤが冷えている状態（つまり、  
タイヤの温度が周囲温度と等しいとき）でチェックおよび調整を行ってください。

私タイヤの空気圧は適切に調整する必要があります。  
走行速度と合計に応じて調整されます

EWA10504

ライダー、パッセンジャー、車の重量 - タイヤの検査が行われ、付属品が承認されています  
このモデルの場合。

### 冷えたタイヤの空気圧:

1人 :

フロント : 250 kPa (2.50 kgf/cm<sup>2</sup>、36 psi) リ

ア:

290 kPa (2.90 kgf/cm<sup>2</sup>、42 psi) 2名様 :

フロント :

250 kPa (2.50 kgf/cm<sup>2</sup>、36 psi) リ

ア:

290 kPa (2.90 kgf/cm<sup>2</sup>、42 psi) 最大荷重 :

車両 :

171kg (377ポンド)

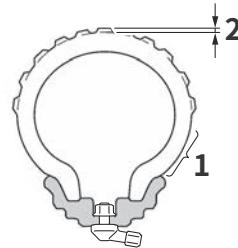
車両の最大積載量は、ライダー、乗客、荷物、および付属品の合計重量です。

EWA10512

### 警告

車両に過積載をしないでください。過積載車両の運転は事故を引き起こす可能性があります。

7-15



1. タイヤのサイドウォール
2. タイヤの溝の深さ

タイヤは乗車前に毎回点検する必要があります。センタートレッドの深さが規定値に達した場合、タイヤに釘やガラスの破片が入った場合、サイドウォールに亀裂が入った場合は、ただちにヤマハ販売店でタイヤを交換してください。

### タイヤの最小溝深さ (フロントおよびリア):

1.6 mm (0.06 インチ)

## ヒント

タイヤの溝の深さの制限は国によって異なる場合があります。常に現地の規制に従ってください。

# 定期的なメンテナンスと調整

## ⚠ 警告

私やマハ販売店で交換してもらう

過度に摩耗したタイヤ。過度に摩耗したタイヤで車両を運転すると、違法であるだけでなく、走行安定性が低下し、コントロール不能につながる可能性があります。

私ホイール全交換

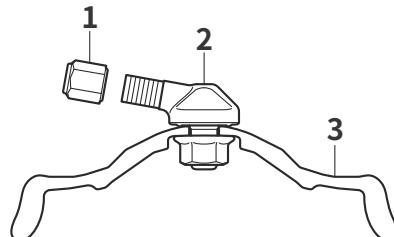
タイヤを含むブレーキ関連部品は、専門的な知識と経験を持ったマハ販売店にご相談ください。

7

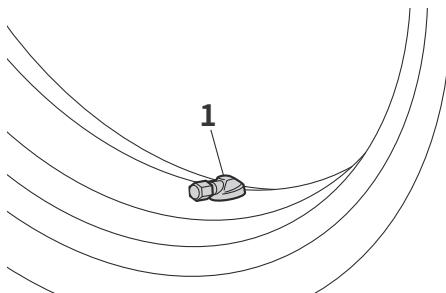
私後は適度な速度で走行してください  
タイヤを交換する場合、タイヤの最適な特性を発現させるためには、まずタイヤの表面を「慣らし」する必要があるからです。

EWA10472

## タイヤ情報



1. シール付きタイヤエアバルブキャップ
2. クランプインバルブ
3. ホイールリム



1. タイヤエアバルブ

チューブレスタイヤとタイヤエアバルブを装備したモデルです。

タイヤは、たとえ使用されていなくても、またはたまにしか使用されなかつたとしても、老化します。トレッドとサイドウォールのゴムの亀裂は、カーカスの変形を伴う場合があり、経年劣化の証拠です。古くなったタイヤや老朽化したタイヤは、タイヤ専門家によって検査され、さらなる使用への適合性が確認されます。

EWA21232

## ⚠ 警告

私前後のタイヤは、

同じメーカー、同じ設計のバイクでもハンドリング特性が異なり、事故につながる可能性があります。

私のバルブが確実に閉まっていることを常に確認してください。  
キャップはしっかりと取り付けられており、空気圧の漏れを防ぎます。

私タイヤバルブのみを使用し、

走行中のタイヤの空気抜けを避けるために、以下にリストされているバルブコアを使用してください。

私タイヤエアバルブの元の位置

バルブキャップが車両の右側を向き、ホイールの軸（中心線）に対して垂直（90度直角）になるように取り付けてください。もし

# 定期的なメンテナンスと調整

EAU21963

タイヤのエアバルブがずれた場合は、ご自身でねじって元の位置に戻さないでください。液漏れの原因となります。ヤマハ販売店でバルブの点検を依頼してください。

広範なテストの後、以下にリストされているタイヤのみがヤマハによってこのモデル用に承認されました。

フロントタイヤ:  
サイズ：  
120/70ZR17M/C(58W)

メーカー/モデル：  
ブリヂストン/バトラックス ハイ  
ペースポート S22F

リアタイヤ:  
サイズ：  
190/55ZR17M/C(75W)

メーカー/モデル：  
ブリヂストン/バトラックス ハイ  
ペースポート S22R

フロントドリア：  
タイヤエアバルブ:  
PVR251

EWA10601



このバイクには超高速タイヤが装着されています。次の点に注意してください

タイヤを最大限に有効活用するためのポイントをご紹介します。

私指定された replace- のみを使用してください  
メントタイヤ。他のタイヤでは超  
高速走行時にバーストする危険性  
があります。

私新品のタイヤには問題がある可能性があります。

特定の路面では、「なじむ」まで  
グリップ力が非常に低くなりま  
す。したがって、高速走行を行う  
前に、新しいタイヤを取り付けて  
から約 100 km (60 マイル) は控え  
めに走行することをお勧めしま  
す。

私タイヤを暖めなければなりません  
高速走行の前に。

私タイヤの空気圧は必ず調整してください。  
動作条件に応じて確実に調整して  
ください。

## 鋳造ホイール

車両の性能、耐久性、安全性を最大限に高めるため、指定ホイールに関しては以下の点にご注意ください。

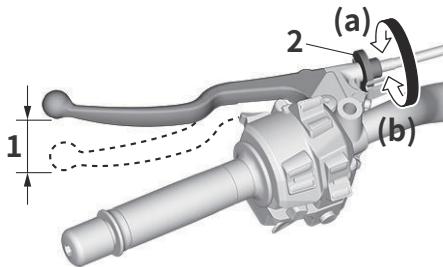
私ホイールリムをチェックする必要があります  
乗車前に亀裂、曲がり、反り、その他の  
損傷がないか確認してください。損傷が  
ある場合は、ヤマハ販売店でホイールの  
交換を依頼してください。ホイールの小  
さな修理であっても行わないでくださ  
い。変形または亀裂のあるホイールは交  
換する必要があります。

私ホイールはバランスを取る必要があります  
タイヤまたはホイールのいずれかを交  
換または交換したとき。ホイールのバ  
ランスが崩れると、パフォーマンスの  
低下、ハンドリング特性の悪化、タイ  
ヤの寿命の短縮を引き起こす可能性が  
あります。

# 定期的なメンテナンスと調整

## クラッチレバーの遊び調整

図のようにクラッチレバーの遊びを測定します。



7

1. クラッチレバーの遊び
2. クラッチレバー遊び調整ボルト

### クラッチレバーの遊び:

10.0 ~ 15.0 mm (0.39 ~ 0.59 インチ)

クラッチレバーの遊びを定期的に確認し、必要に応じて次のように調整してください。

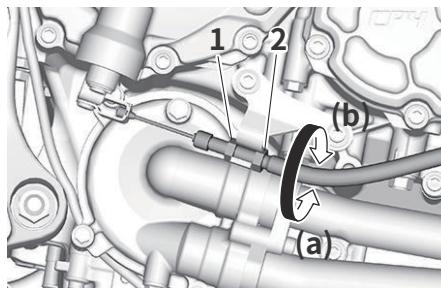
クラッチレバーの遊びを大きくするには、クラッチレバーにあるクラッチレバー遊び調整ボルトを(a)方向に回します。クラッチレバーの遊びを小さくするには、アジャストボルトを(b)方向に回します。

EAU94121

### ヒント

上記のようにクラッチレバーの遊びが規定値にならない場合は、次のようにしてください。

1. クラッチレバーのアジャストボルトを(a)方向にいっぱいまで回し、クラッチケーブルを緩めます。
2. クラッチケーブルのさらに下のロックナットを緩めます。
3. クラッチレバー遊びを大きくするには、クラッチレバー遊び調整ナットを(a)方向に回します。クラッチレバーの遊びを小さくするには、調整ナットを(b)の方向に回します。



1. ロックナット
2. クラッチレバー遊び調整ナット

4. ロックナットを規定トルクで締め付けます。

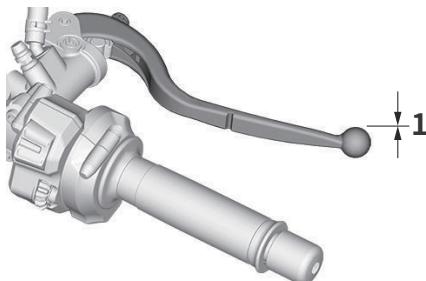
### 締め付けトルク:

ロックナット:  
7N・m (0.7kgf・m)

# 定期的なメンテナンスと調整

## ブレーキレバーの遊びの確認

EAU37914



コントロールを失い、事故を引き起こす可能性があります。ブレーキライトスイッチ  
凹み。

EAU36505

ブレーキランプはちょうど点灯するはずです  
フォアブレーキが効きます。ブレーキライト  
は、ブレーキレバーとブレーキペダルに接続  
されたスイッチによって作動します。ブレー  
キライトスイッチはアンチロックブレーキシ  
ステムのコンポーネントであるため、整備は  
ヤマハ販売店のみが行ってください。

1. ブレーキレバーの遊びがない

ブレーキレバーの端に遊びがあつてはな  
りません。遊びがある場合は、ヤマハ販  
売店でブレーキシステムの点検をご依頼  
ください。

7

EWA14212

### ⚠ 警告

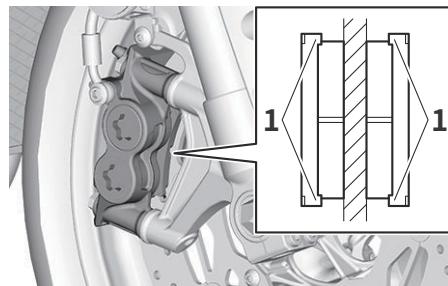
ブレーキレバーの柔らかさやスポンジ状  
の感触は、油圧システム内に空気が存在  
していることを示している可能性があり  
ます。油圧システムにエアが入っている  
場合は、車両を運転する前にヤマハ販売  
店でエア抜きを依頼してください。油圧  
システム内の空気によりブレーキ性能が  
低下し、再発する可能性があります。

# 定期的なメンテナンスと調整

## 前後ブレーキパッドの点検

定期メンテナンスおよび潤滑表に指定されている間隔で、前後のブレーキパッドの摩耗をチェックする必要があります。

### フロントブレーキパッド



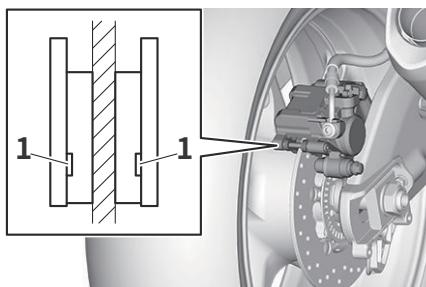
1. ブレーキパッド摩耗インジケーター

各フロントブレーキパッドには、摩耗インジケーターにより、ブレーキパッドの摩耗を手間をかけずに確認できます。テブルヘルケパッドウアラケ。チェックするtを分解するため、rcはその地位にいますあ着用は彼を示しますまたeイル申請中tすbあるブレーキならeパd着ています彼p私そりゃ私たちではありません あてふんとんとんケータ

EAU22393

ブレーキディスクに接触した場合は、ヤマハ販売店でブレーキパッドとセットで交換してください。

### リアブレーキパッド



1. ブレーキパッド摩耗インジケーター溝

各リアブレーキパッドには摩耗インジケーターの溝があり、ブレーキを分解せずにブレーキパッドの摩耗を確認できます。ブレーキパッドの摩耗を確認するには、摩耗インジケーターの溝を確認してください。ブレーキパッドが摩耗インジケーターの溝が見えるほど摩耗した場合は、ヤマハ販売店でブレーキパッドとセットで交換してください。

## ブレーキフルードレベルの点検

乗車前にブレーキフルードが最低レベルマークを超えていることを確認してください。

### ヒント

液面を確認するときは、リザーバータンクが地面と水平になっていることを確認してください。

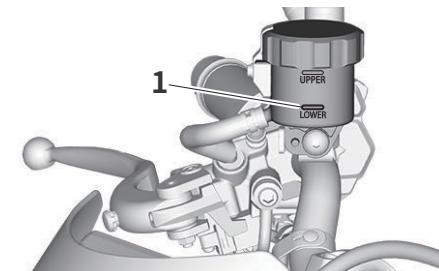
指定ブレーキ液：  
ドット4

EAU22585

### 知らせ

ブレーキ液は塗装面やプラスチック部品を損傷する可能性があります。こぼれた液体は常にすぐに拭き取ってください。

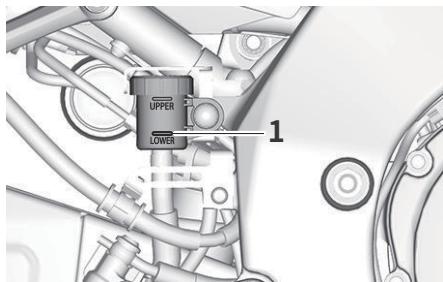
### 前輪のブレーキ



1. 最低レベルマーク

# 定期的なメンテナンスと調整

## リアブレーキ



1. 最低レベルマーク

ブレーキパッドが摩耗すると、ブレーキ液のレベルが徐々に低下するのが通常です。

私 ブレーキ液レベルが低い場合は、次のことを示している可能性があります。

ブレーキパッドの摩耗またはブレーキシステムの漏れ。したがって、ブレーキパッドの摩耗とブレーキシステムの漏れを必ずチェックしてください。

私 ブレーキフルードの液面が下がったら  
突然の場合は、そのまま走行する前にヤマハ販売店で原因を調べてもらってください。

## ⚠️ 警告

不適切なメンテナンスを行うと、ブレーキ能力が失われる可能性があります。次の注意事項に従ってください。

私 ブレーキフルードが不十分であると、  
ブレーキシステムに入る空気が少なくなり、ブレーキの効きが悪くなる  
パフォーマンス。

私 再充填する前にフィラーキャップを清掃してください  
動いている。密閉容器に入った DOT 4 ブレーキ液のみを使用してください。

私 指定されたブレーキフルードのみを使用してください。  
**ID;ゴムパッキンが劣化し、漏れの原因となります。**

**私 同種のものを詰め替えてください**  
ブレーキ液。DOT 4 以外のブレーキ液を添加すると、有害な化学反応が起こる可能性があります。

私 水がかからないように注意してください  
ブレーキ液を補充するときは、ブレーキ液リザーバーに入れてください。水は液体の沸点を大幅に下げ、ベーパーロックを引き起こす可能性があります。

EWA15991

EAU22734

## ブレーキフルードの交換

ブレーキフルードは2年ごとにヤマハ販売店で交換してください。また、マスター・シリンダー・ブレーキキャリパーのシールやブレーキホースに損傷や漏れがある場合は、以下の間隔で交換してください。

私 ブレーキシール：2年ごと  
私 レーキホース：4年ごと

# 定期的なメンテナンスと調整

EAU22762

## ドライブチェーンのたるみ

ドライブチェーンの緩みは乗車前に必ず確認し、必要に応じて調整してください。

EAU74253

## ドライブチェーンの緩みを確認するには

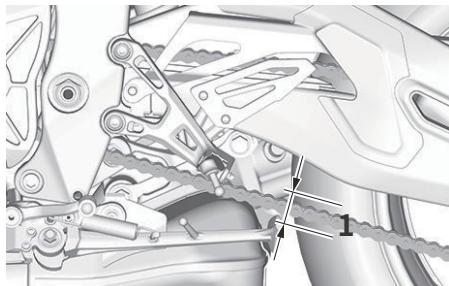
- オートバイをサイドスタンドに置きます。

## ヒント

ドライブチェーンのたるみを確認・調整するときは、バイクに荷重がかからない状態で行ってください。

7

- トランスマッisionをニュートラル位置に入れます。
- 図のようにドライブチェーンのたるみを測定します。



1. ドライブチェーンのたるみ

## ドライブチェーンのたるみ:

20.0 ~ 30.0 mm (0.79 ~ 1.18 インチ)

4. ドライブチェーンのたるみが適正でない場合は、次のように調整してください。**知らせ：ドライブチェーンのたるみが不適切であると、エンジンやオートバイの他の重要な部品に過負荷がかかり、チェーンの滑りや破損につながる可能性があります。**これを防ぐには、ドライブチェーンのたるみを指定された制限内に保ってください。

[ECA10572]

EAU74260

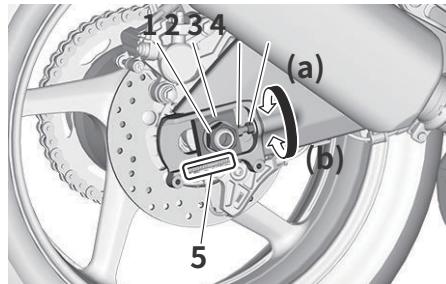
## ドライブチェーンのたるみを調整するには

ドライブチェーンのたるみ調整はヤマハ販売店にご相談ください。

- スイングアーム両側のアクスルナットとロックナットを緩めます。
- ドライブチェーンを締め付ける場合は、スイングアーム両側のドライブチェーン緩み調整ボルトを(a)方向に回してください。ドライブチェーンを緩めるには、スイングアーム両側のアジャストボルトを(b)の方向に回し、後輪を前方に押します。

## ヒント

スイングアームの両側にある位置合わせマークを使用して、両方のドライブチェーンプーラーが同じ位置にあり、ホイールが適切に位置合わせされていることを確認します。



- アクスルナット
  - ドライブチェーンプーラー
  - ドライブチェーン緩み調整ボルト
  - ロックナット
  - 位置合わせマーク
3. アクスルナットを締め、次にロックナットを指定のトルクで締めます。

## 締付けトルク：

アクスルナット:  
190 N・m (19 kgf・m, 140 lb・ft) ロックナット:  
16N・m (1.6kgf・m)

# 定期的なメンテナンスと調整

4. ドライブチェーンプーラーが同じ位置にあり、ドライブチェーンのたるみが正しく、ドライブチェーンがスマーズに動くことを確認します。

## ドライブチェーンの清掃と注油

ドライブチェーンは、定期メンテナンスおよび潤滑表に指定されている間隔で清掃および注油する必要があります。そうしないと、特にほこりの多い場所や濡れた場所で走行する場合、すぐに摩耗してしまいます。ドライブチェーンは次のように整備してください。

EAU23027

ドライブチェーンには、Oリングを損傷する可能性のある物質が含まれている可能性があります。  
[ECA11112]

ECA10584

### 知らせ

洗車後、雨天走行後、または濡れた場所で走行した後は、ドライブチェーンに注油する必要があります。

1. ドライブチェーンクリーナーと小さな柔らかいブラシを使用してドライブチェーンを清掃します。**知らせ：**Oリングの損傷を防ぐため、ドライブチェーンをスチームクリーナー、高圧洗浄機、または不適切な溶剤で洗浄しないでください。

[ECA11122]

2. ドライブチェーンを乾拭きします。
3. ドライブチェーンを特殊なOリングチェーン潤滑剤で十分に潤滑します。**知らせ：**エンジンオイルやその他の潤滑剤は使用しないでください。

# 定期的なメンテナンスと調整

## ケーブルの点検と注油

EAU23098

すべての制御ケーブルの動作とケーブルの状態は、乗車前に必ずチェックし、必要に応じてケーブルとケーブルの端に注油する必要があります。ケーブルが傷ついたり、スムーズに動かない場合は、ヤマハ販売店で点検または交換をご依頼ください。警告！ケーブルの外側ハウジングが損傷すると、内部が錆びてケーブルの動作に干渉する可能性があります。危険な状態を防ぐために、損傷したケーブルはできるだけ早く交換してください。

[EWA10712]

### 推奨潤滑剤:

ヤマハケーブル潤滑剤またはその他の適切なケーブル潤滑剤

## スロットルグリップの点検と注油

EAU82490

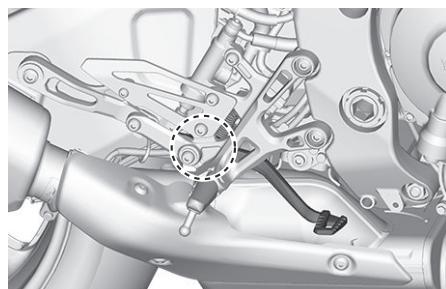
スロットルグリップの動作は乗車前に必ず確認してください。また、スロットルグリップハウジングは、定期整備表に記載の間隔でヤマハ販売店にて注油を行ってください。

## ブレーキペダルとシフトペダルの点検と注油

EAU88560

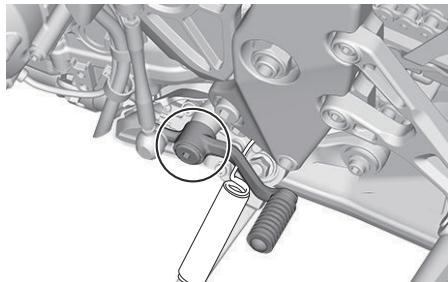
乗車前にブレーキペダルとシフトペダルの動作を確認し、必要に応じてペダルピボットに注油する必要があります。

### ブレーキペダル



# 定期的なメンテナンスと調整

シフトペダル



**推奨潤滑剤:**

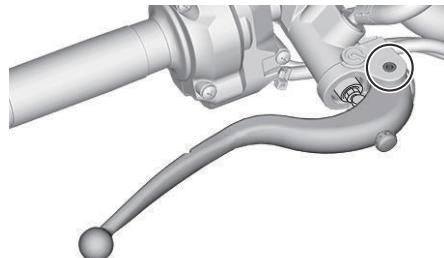
- ブレーキペダル：  
リチウム石けん系グリース シフ  
トペダル：  
二硫化モリブデングリース

## ブレーキレバーとクラッチレ バーの点検と注油

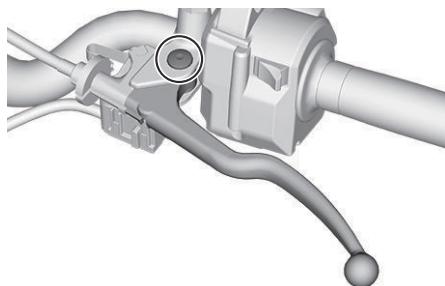
乗車前にクラッチレバーの動作を確認  
し、必要に応じてレバーピボットに注  
油する必要があります。ブレーキレ  
バーのピボットは、定期保守および注油  
表に指定された間隔でヤマハ販売店に  
による注油が必要です。

EAU94800

ブレーキレバー



**クラッチレバー**

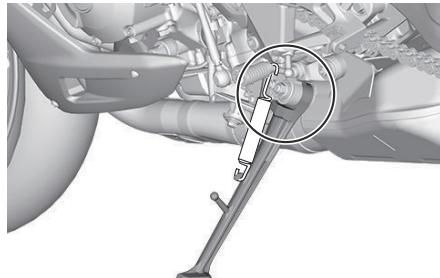


**推奨潤滑剤:**

- クラッチレバー：  
リチウム石けん系グリース ブレ  
ーキレバー：  
シリコングリス

# 定期的なメンテナンスと調整

## サイドスタンドの点検と注油



EAU23203

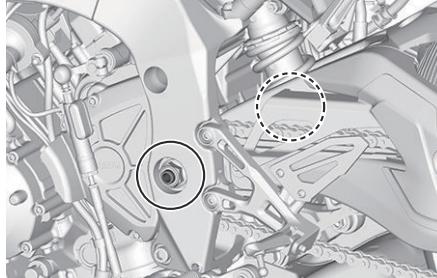
サイドスタンドの動作は乗車前に必ずチェックし、必要に応じてサイドスタンドのピボットと金属間の接触面に注油する必要があります。

**警告**

サイドスタンドがスムーズに上下しない場合は、ヤマハ販売店で点検または修理をご依頼ください。そうしないと、サイドスタンドが地面に接触してオペレーターの気が散り、コントロールを失う可能性があります。

**推奨潤滑剤:**  
リチウム石けん基グリース

## スイングアームピボットの注油



EAUM1653

スイングアームピボットは、定期メンテナンスおよび注油表に指定された間隔で、ヤマハ販売店による注油が必要です。

**推奨潤滑剤:**  
リチウム石けん基グリース

## フロントフォークの点検

フロントフォークの状態および動作は、定期整備および注油表に定められた間隔で次のとおり点検してください。

### 状態を確認するには

インナーチューブに傷、損傷、過度のオイル漏れがないか確認してください。

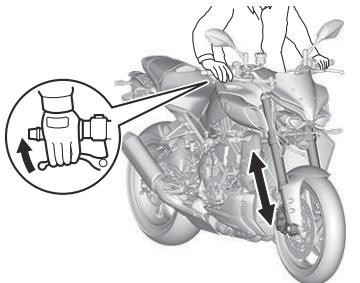
### 動作を確認するには

1. 車両を水平な場所に置き、直立した状態に保ちます。警告！怪我を避けるため、転倒の危険がないよう車両をしっかりと支えてください。

[EWA10752]

2. フロントブレーキをかけながら、ハンドルバーを数回強く押し込み、フロントフォークがスムーズに縮み、元に戻るかどうかを確認します。

# 定期的なメンテナンスと調整



ECA10591

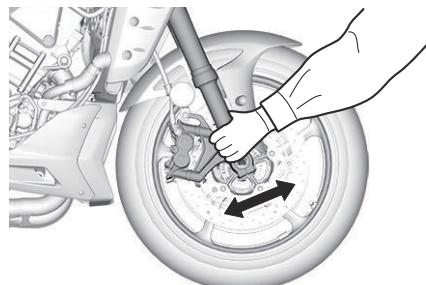
## 知らせ

フロントフォークに損傷がある場合や  
スムーズに動作しない場合は、ヤマハ  
販売店で点検・修理をご依頼ください。

## ステアリングの点検

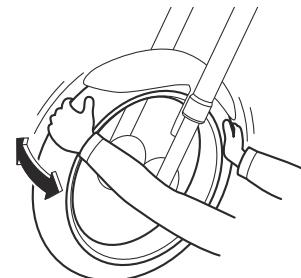
ステアリングベアリングが摩耗したり緩んだりすると、危険が生じる可能性があります。したがって、定期保守および注油表に定められた間隔で、以下のとおりステアリングの動作確認を行う必要があります。

1. 前輪を地面から持ち上げます。  
(7-31ページ参照) 警告！怪我を避けるため、転倒の危険がないように車両をしっかりと支えてください。  
[EWA10752]
2. フロントフォークの脚の下端を持って、前後に動かしてみます。遊びが感じられる場合はヤマハ販売店でステアリングの点検・修理をご依頼ください。



EAU23285

## ホイールベアリングの点検



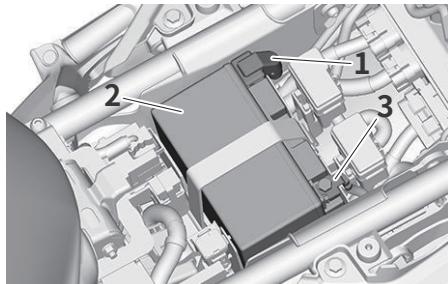
EAU23292

前輪および後輪のベアリングは、定期保守および注油表に指定されている間隔で点検する必要があります。ホイールハブに遊びがある場合やホイールがスムーズに回転しない場合は、ヤマハ販売店でホイールベアリングの点検をご依頼ください。

# 定期的なメンテナンスと調整

## バッテリー

EAU50292



1. バッテリーのプラスリード線 (赤)
2. バッテリー
3. バッテリーのマイナスリード (黒)

バッテリーはシートの下にあります。

(4-35ページ参照)

このモデルにはVRLA(制御弁式鉛蓄電池)バッテリーが搭載されています。電解液のチェックや蒸留水を追加する必要はありません。ただし、バッテリーのリード線の接続を確認し、必要に応じて締める必要があります。

EWA10761



**警告**  
私電解質には毒性があり、  
重篤な症状を引き起こす硫酸が含  
まれているため危険です。

**火傷します。皮膚、目、衣服との接触を避け、バッテリーの近くで作業する場合は常に目を保護してください。接触した場合は、次の応急処置を行ってください。**

- 外部: 多量の水で洗い流してください。
- 内部: 大量の水または牛乳を飲み、すぐに医師に連絡してください。
- 目に入った場合: 水で 15 分間洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。

私バッテリーは爆発性の高熱を発生します。  
**水素ガス。**したがって、密閉された空間で充電する場合は、火花、炎、タバコなどをバッテリーから遠ざけ、十分な換気を行ってください。

私これとすべてのバターを保管してください-  
お子様の手の届かない場所に保管して  
ください。

## バッテリーを充電するには

バッテリーに異常があると思われる場合は、早めにヤマハ販売店で充電してください。

退院しました。車両にオプションの電気アクセサリが装備されている場合、バッテリーの放電が早まる傾向があることに注意してください。

ECA16522

## 知らせ

VRLA(制御弁式鉛蓄電池)バッテリーを充電するには、特別な(定電圧)バッテリー充電器が必要です。従来のバッテリー充電器を使用するとバッテリーが損傷します。

## バッテリーを保管するには

1. 車両を 1 か月以上使用しない場合は、バッテリーを取り外し、完全に充電してから、涼しく乾燥した場所に置きます。知らせ: バッテリーを取り外すときは、必ずメイクスイッチをオフにし、マイナスリードを外してからプラスリードを外してください。

[ECA16304]

2. バッテリーを 2 か月以上保管する場合は、少なくとも月に 1 回点検し、必要に応じて完全に充電してください。
3. 取り付ける前にバッテリーを完全に充電してください。知らせ: いつ

# 定期的なメンテナンスと調整

バッテリーを取り付けるときは、必ずメインスイッチをオフにし、マイナスリード線を接続する前にプラスリード線を接続してください。

[ECA16842]

4. 取り付け後、バッテリーのリード線がバッテリー端子に正しく接続されていることを確認してください。

ECA16531

## 知らせ

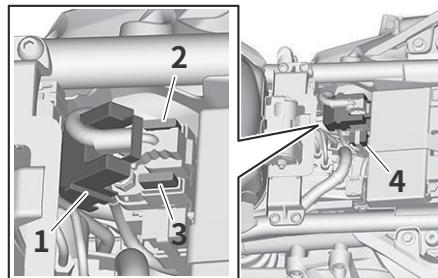
バッテリーは常に充電しておいてください。放電したバッテリーを保管すると、バッテリーに永久的な損傷が生じる可能性があります。

## ヒューズの交換

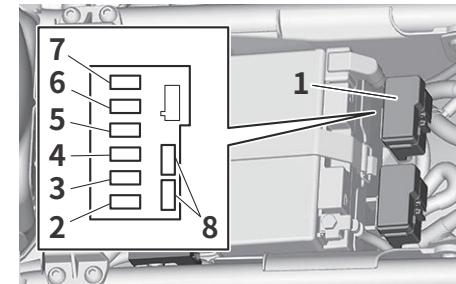
メインヒューズ、ABSモーターヒューズ、各回路ヒューズを収めたヒューズボックスはすべてシートの下に配置されています。

### ヒント

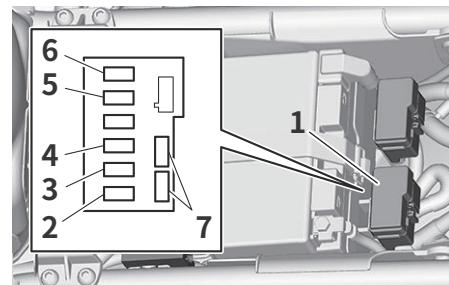
スターターリレーカバーを上に引いて取り外します。



1. スターターリレーカバー
2. ABSモーター予備ヒューズ
3. ABSモーターヒューズ
4. メインヒューズ



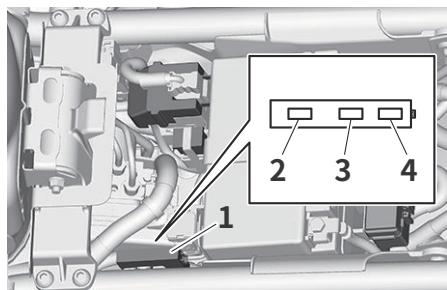
1. ヒューズボックス1
2. ABSソレノイドヒューズ
3. 燃料噴射システムヒューズ
4. 電子スロットルバルブヒューズ
5. パックアップヒューズ
6. サブラジエーターファンモーターヒューズ
7. ラジエターファンモーターヒューズ
8. 予備ヒューズ



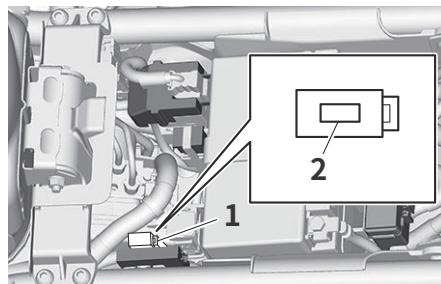
1. ヒューズボックス2

# 定期的なメンテナンスと調整

2. 点火ヒューズ
3. ABS ECUヒューズ
4. 信号システムヒューズ
5. ヘッドライトヒューズ
6. 端子ヒューズ 1
7. 予備ヒューズ



1. ヒューズボックス
2. ブレーキランプヒューズ
3. クルーズコントロールヒューズ
4. 予備ヒューズ



1.ヒューズボックス

2.SCUヒューズ

ヒューズが切れた場合は、次の手順で交換してください。

1. キーを「OFF」にし、該当する電気回路を遮断します。
2. 切れたヒューズを取り外し、指定されたアンペア数の新しいヒューズを取り付けます。警告！電気システムに大きな損傷を与える、火災が発生する可能性を避けるため、推奨されているアンペア数よりも高い定格電流のヒューズを使用しないでください。[WA15132]

## 指定ヒューズ：

メインヒューズ:

50.0A

端子ヒューズ 1:

2.0A

ヘッドライトヒューズ:

10.0A

信号システムヒューズ:

7.5A

点火ヒューズ:

15.0A

ラジエーターファンモーターヒューズ:

15.0A

サブラジエーターファンモーターヒューズ:

10.0A

ABSモーターヒューズ:

30.0A

ABS ECUヒューズ:

7.5A

ABSソレノイドヒューズ:

15.0A

SCUヒューズ:

7.5A

燃料噴射システムヒューズ:

15.0A

バックアップヒューズ:

10.0A

電子スロットルバルブヒューズ:

7.5A

ブレーキランプヒューズ:

1.0A

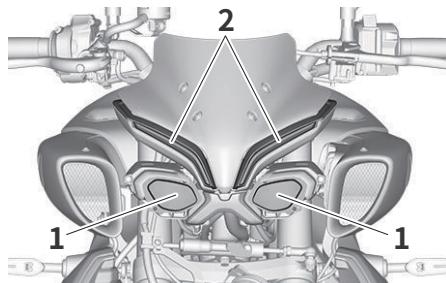
クルーズコントロールヒューズ:

1.0A

# 定期的なメンテナンスと調整

3. キーを「ON」にし、該当の電気回路をオンにして装置が動作するかどうかを確認します。
4. ヒューズがすぐに切れる場合は、ヤマハ販売店で電気系統の点検を依頼してください。

## 車のライト



1. ヘッドライト
2. 補助ライト

フルLED照明を搭載したモデルです。ユーザーが交換できる電球はありません。ライトが点灯しない場合はヒューズを確認し、ヤマハ販売店で車両の点検を受けてください。

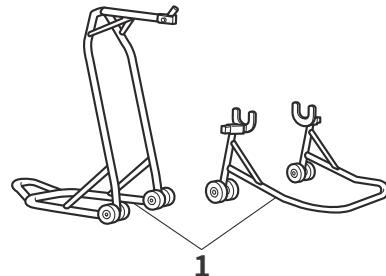
### 知らせ

ヘッドライトのレンズに色付きのフィルムやステッカーを貼らないでください。

EAU72980

EAU67131

## バイクのサポート



1. メンテナンススタンド（一例）

このモデルにはセンタースタンドが装備されていないため、前輪または後輪を取り外す場合や、バイクを直立させて整備する場合にはメンテナンススタンドをご利用ください。

メンテナンスを開始する前に、バイクが安定した水平な位置にあることを確認してください。

# 定期的なメンテナンスと調整

EAU25872

## トラブルシューティング

ヤマハバイクは工場出荷前に十分な検査を行っておりますが、走行中にトラブルが発生する場合がございます。たとえば、燃料、圧縮、点火システムに問題があると、始動不良や動力損失が発生する可能性があります。

ヒーターや炉。ガソリンまたはガソリン蒸気は発火または爆発を起こし、重篤な傷害や物的損害を引き起こす可能性があります。

次のトラブルシューティング チャートは、これらの重要なシステムを自分でチェックするための迅速かつ簡単な手順を示しています。ただし、オートバイの修理が必要な場合は、オートバイを適切に整備するために必要な工具、経験、ノウハウを備えた熟練した技術者がいるヤマハ販売店にお持ちください。

ヤマハ純正の交換部品のみを使用してください。模造部品はヤマハの部品に似ているかもしれません、多くの場合粗悪で、耐用年数が短く、高額な修理費かかる可能性があります。

EWA15142



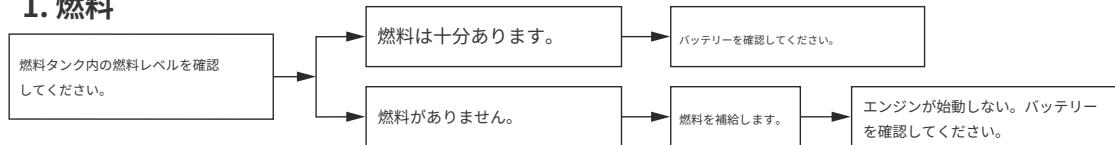
燃料システムを点検するときは、喫煙しないでください。また、水からのパイロットランプを含め、周囲に裸火や火花がないことを確認してください。

# 定期的なメンテナンスと調整

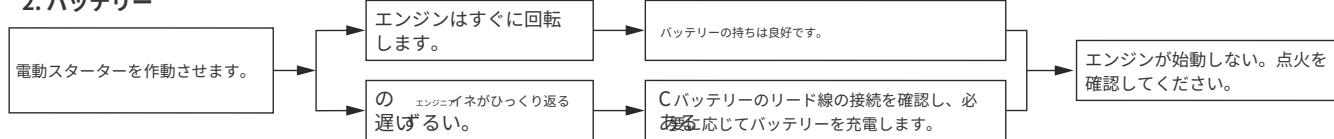
EAU86350

## トラブルシューティングチャート

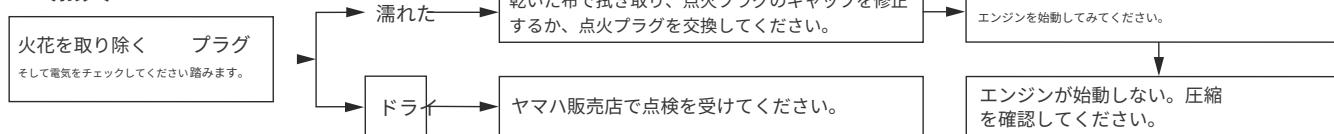
### 1. 燃料



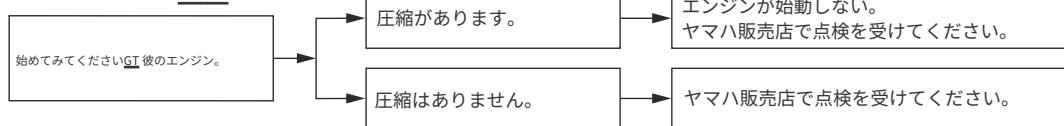
### 2. バッテリー



### 3. 点火



### 4. コンプレッション



# 定期的なメンテナンスと調整

エンジンのオーバーヒート

EAU86420

EWAT1041



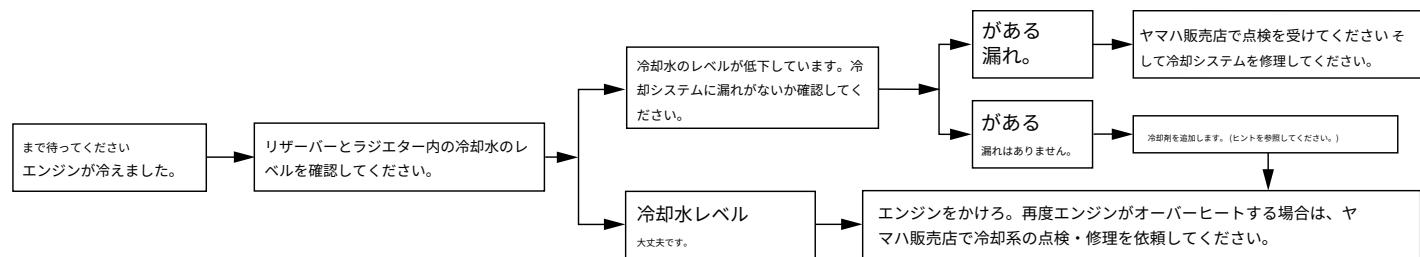
私エンジンとラジエーターが熱いときは、ラジエーターキャップを取り外さないでください。熱湯や蒸気が吹き出す場合があります

プレッシャーがかかるとアウトになり、重傷を負う可能性があります。必ずエンジンが冷えるまで待ってください。

私タオルなどの厚手の布をラジエーターキャップの上に置き、キャップを反時計回りにゆっくりと回転させます。

残留圧力を逃がすための戻り止め。「シュー」という音が止まったら、キャップを押しながら反時計回りに回し、キャップを外します。

7



## ヒント

冷却水が入手できない場合は、できるだけ早く推奨冷却水に交換すれば、一時的に水道水を代わりに使用できます。

## マットカラーの注意点

EAU37834

### 知らせ

一部モデルにはマットカラー仕上げのパーツを採用。洗車前に使用する製品について必ずヤマハ販売店にご相談ください。これらの部品を掃除するときにブラシ、刺激の強い化学製品、または洗剤を使用すると、表面に傷がついたり損傷したりすることがあります。また、マットカラー仕上げの部品にはワックスを塗布しないでください。

## お手入れ

車両を頻繁に徹底的に清掃すると、外観が良くなるだけでなく、車両の全体的な性能が向上し、多くのコンポーネントの耐用年数が長くなります。洗車、掃除、磨きを行うと、車の状態をより頻繁に検査する機会にもなります。塩分は金属を腐食させてるので、雨の日や海の近くを走行した後は必ず洗車を行ってください。

## 冬場のスペシャルケア

### 知らせ

寒い天候では、除氷方法として道路に塩が付着する可能性があるため、車両を徹底的に洗浄して道路の塩を除去し、腐食を防ぐことが重要です。ホイールのスポーク、ボルト/ナット、その他の未塗装の金属部品は、道路塩による腐食に対して特に脆弱になる可能性があります。車を洗って乾燥させた後、傷つきやすい部分に防錆剤を塗布してください。

EAU83446

## ヒント

### 豪雪地帯の道路

除氷方法として塩を噴霧することもあります。この塩は春になんでも道路に残る可能性があるため、そのような地域を走行した後は、必ず下側とシャーシの部品を洗ってください。

私ヤマハ純正のケアとメンテナンス製品は、YAMALUBE ブランドとして世界中の多くの市場で販売されています。

私追加についてはヤマハ販売店にご相談ください。

クリーニングのヒント。

ECA28181

### 知らせ

不適切な洗浄は、表面および機械的損傷を引き起こす可能性があります。使ってはいけません：

私高压 ワッシャー または  
スチームジェットクリーナー。過剰な水圧は水の浸入を引き起こし、ホイールベアリング、ブレーキ、トランスマッショニングシール、電装品の劣化を引き起こす可能性があります。次のような高圧洗浄剤の使用は避けてください。

# バイクの手入れと保管

コイン洗車機でご利用いただけます。

## 私過酷な化学物質、 含む

強酸性ホイールクリーナー、特にスポークやマグネシウムホイールには使用しないでください。

## 私過酷な化学物質、 研磨剤

マット仕上げの部品にはクリーニングコンパウンドやワックスを使用してください。ブラシはマット仕上げを傷つけたり損傷したりする可能性があるため、柔らかいスポンジまたはタオルのみを使用してください。

## 私タオル、スポンジ、ブラシなど

研磨剤入りの洗浄剤や、溶剤、ガソリン、錆取り剤、ブレーキ液、不凍液などの強力な化学薬品で汚染されている。

4. 虫や鳥の糞などの頑固な汚れを濡れたタオルに数分間浸しておきます。

5. 高品質の脱脂剤とプラスチック毛のブラシまたはスポンジを使用して、道路の汚れや油汚れを取り除きます。**知らせ：**シール、ガスケット、車軸などの潤滑が必要な箇所には脱脂剤を使用しないでください。製品の指示に従ってください。

[ECA26290]

## 洗浄

1. 脱脂剤を洗い流し、庭のホースで車両にスプレーします。作業を行うのに十分な圧力のみを使用してください。マフラー、インストルメントパネル、吸気口、またはシート下の収納コンパートメントなどの他の内部領域に直接水を噴霧しないでください。

2. 冷水と柔らかい清潔なタオルまたはスポンジを混ぜた高品質の自動車用洗剤で車を洗います。届きにくい場所には古い歯ブラシやプラスチック毛のブラシを使用してください。**知らせ：**車両が塩分にさらされた場合は、冷水を使用してください。あつたかいわ～

ターは塩の腐食性を高めます。

[ECA26301]

3. フロントガラス装備車の場合: 水とpH中性洗剤で湿らせた柔らかいタオルまたはスポンジでフロントガラスを拭きます。

必要に応じて、高品質のフロントガラスクリーナーまたはオートバイ用ポリッシュを使用してください。**知らせ：**フロントガラスの掃除には強力な化学物質は絶対に使用しないでください。さらに、プラスチック用の洗浄剤によってはフロントガラスに傷を付ける可能性があるため、すべての洗浄剤を通常に使用する前に必ずテストしてください。

[ECA26310]

4. きれいな水でよく洗い流してください。残留洗剤はプラスチック部品に有害となる可能性があるため、必ずすべて除去してください。

## 洗濯後

- セーム革または吸収性タオル、できればマイクロファイバーのテリークロスで車両を乾かします。
- ドライブチェーン装着車の場合 錆防止のため、ドライブチェーンを乾燥させた後、注油してください。

## 洗濯前

- 直射日光の当たらない場所に車両を駐車し、車両が冷えるまで待ちます。これはウォータースポットを避けるのに役立ちます。
- すべてのキャップ、カバー、電気カプラー、コネクタがしっかりと取り付けられていることを確認してください。
- マフラーの端をビニール袋と強力な輪ゴムで覆います。

3. クロム、アルミニウム、ステンレス鋼の部品を輝かせるには、クロムポリッシュを使用します。多くの場合、ステンレススチール排気システムの熱による変色は研磨によって除去できます。
4. クロムまたはニッケルメッキの表面を含むすべての金属部品に腐食防止スプレーを塗布します。警告！シート、ハンドグリップ、ゴム製フットペグ、タイヤトレッドにシリコンやオイルスプレーを塗布しないでください。そうしないと、これらの部品が滑りやすくなり、制御不能になる可能性があります。車両を運転する前に、これらの部品の表面を徹底的に清掃してください。  
[EWA20651]
5. ゴム、ビニール、および塗装されていないプラスチック部品は、適切なケア製品で扱ってください。
6. 飛び石等による軽度の塗装傷はタッチアップしてください。
7. 非研磨性ワックスを使用してすべての塗装面にワックスをかけるか、オートバイ用のディテールスプレーを使用します。
8. 洗浄が終了したら、エンジンを始動し、残った水分を乾燥させるために数分間アイドリングさせます。

9. ヘッドライトのレンズが曇った場合は、エンジンを始動し、ヘッドライトを点灯して湿気を取り除きます。

10. 車両を保管したりカバーしたりする前に、車両を完全に乾燥させてください。

ECA26320

## 知らせ

私ゴムやゴムにワックスを塗らないでください。

未塗装のプラスチックパーツ。

私研磨剤の入った研磨剤は使用しないでください  
塗装を剥がしてしまうのでコンパウンドを使用します。

私はスプレーやワックスは控えめに塗布してください。  
その後余分な部分を拭き取ります。

EWA20660

## ！警告

ブレーキやタイヤに汚れが残っていると、コントロール不能になる可能性があります。

私は潤滑剤が入っていないことを確認してください  
またはブレーキやタイヤにワックスを塗ります。

私は必要に応じて、タイヤを洗浄します。  
ぬるま湯と中性洗剤。

私は必要に応じてブレーキを掃除します  
ディスクとパッドをブレーキクリーナーまたは  
アセトンで洗います。

私は高速に乗る前に、  
車両のブレーキ性能とコーナリング挙動をテストします。

EAU83450

**チタンマフラーの掃除** このモデルには注意が必要なチタンマフラーが装備されています。マフラーの掃除には、柔らかい布またはスポンジと水で中性洗剤のみを使用してください。これにより、指紋やその他の油汚れが除去されます。必要に応じて、アルカリ性のpH洗浄剤と柔らかいブラシを使用できます。ただし、マフラーの清掃に研磨剤や特別な処理剤を使用しないでください。保護仕上げが摩耗してしまうためです。

8

## ヒント

チタンマフラーにつながるエキゾーストパイプの熱による変色は正常であり、除去することはできません。

# バイクの手入れと保管

EAU83472

## ストレージ

車両は常に涼しく乾燥した場所に保管してください。必要に応じて、多孔質バーでほこりから保護してください。車両を覆う前に、エンジンと排気システムが冷えていることを確認してください。車両を使用するまでに数週間放置することが多い場合は、給油のたびに高品質の燃料安定剤を使用することをお勧めします。

ECA21170

## 知らせ

### 私不適切な場所での車両の保管

換気の良い部屋に置いたり、濡れたまま防水シートで覆ったりすると、水や湿気が浸透し、錆びの原因になります。

私腐食を防ぐため、次のことを避けてください。

湿気の多い地下室、廐舎（アンモニアが存在するため）、強力な化学薬品が保管されている場所。

## 長期保存庫

車両を長期（60日以上）保管する前に:

1. 必要な修理をすべて行い、未完了のメンテナンスを実行します。
  2. この章の「お手入れ」セクションのすべての指示に従ってください。
  3. 製品の説明書に従って燃料安定剤を追加して、燃料タンクを満タンにします。エンジンを5分間運転して、処理済み燃料を燃料システムに分配します。
  4. 燃料コック装着車の場合 燃料コックレバーを「OFF」の位置にします。
  5. キャブレター付き車両の場合: 燃料の堆積を防ぐために、キャブレターのフロートチャンバー内の燃料をきれいな容器に排出します。ドレンボルトを締め直して燃料を燃料タンクに戻します。
  6. エンジン内部コンポーネントを腐食から保護するために、製品の指示に従って高品質のエンジンかぶりオイルを使用してください。エンジンフォグオイルが入手できない場合は、シリンダーゴトに次の手順を実行します。
    - a. 点火プラグキャップと点火プラグを取り外します。
- b. 小さじ1杯のエンジンオイルを点火プラグの穴に注ぎます。
- c. 点火プラグに点火プラグキャップを取り付け、電極が接地されるように点火プラグをシリンダーヘッドに置きます。（これにより、次のステップでの火花が制限されます。）
- d. スターターでエンジンを数回回転させます。（シリンダー壁にオイルが付着します。）**警告！**スパークによる損傷や怪我を防ぐため、エンジンを回転させるときは必ず点火プラグの電極を接地してください。
- [EWA10952]
- e. 点火プラグから点火プラグキャップを取り外し、点火プラグと点火プラグキャップを取り付けます。
  7. すべてのコントロールケーブル、ピボット、レバー、ペダル、およびサイドスタンドとセンタースタンド（装備されている場合）に注油します。
  8. タイヤの空気圧を確認して修正し、すべての車輪が地面から離れるように車両を持ち上げます。それ以外の場合は、車輪を少し回してください

- タイヤの一か所の劣化を防ぐため、月に一度程度の頻度で点検してください。
9. マフラー出口に湿気が入らないようビニール袋で覆ってください。
10. バッテリーを取り外して完全に充電するか、メンテナンス用充電器を取り付けてバッテリーを最適な充電状態に保ちます。知らせ：バッテリーとその充電器に互換性があることを確認してください。VRLA バッテリーを従来の充電器で充電しないでください。[ECA26330]

## ヒント

私はバッテリーを取り外す場合は、月に1回充電し、0～30度の温度の高い場所に保管してください。 $^{\circ}\text{C}$  (32-90 $^{\circ}\text{F}$ )。

私詳細については、7-28ページを参照してください。バッテリーの充電と保管について。

# 仕様

## 寸法:

全体の長さ：  
2100 mm (82.7 インチ)  
全幅：  
800 mm (31.5 インチ)  
全高：  
1165 mm (45.9 インチ)  
シート高さ：  
835 mm (32.9 インチ)  
ホイールベース：  
1405 mm (55.3 インチ)  
地上高：  
135 mm (5.31 インチ)  
最小回転半径：  
3.4m (11.16 フィート)

## 重さ :

車両重量：  
214kg (472ポンド)

## エンジン :

燃焼サイクル：  
4ストローク

冷却システム：  
水冷式

バルブレイン：  
DOHC

シリンダー配置：

列をなして

シリンダー数：  
4気筒

変位：

998cm<sup>3</sup>

脳卒中：

79.0 50.9mm(3.11 2.00インチ)

9

起動システム:  
電動スターター

エンジンオイル：  
おすすめブランド：



タイプ：

全合成

SAE粘度グレード：

10W-40、15W-50

推奨エンジンオイルグレード：

APIサービス SGタイプ以上、JASO規格MA

エンジンオイル量：

オイル交換：  
3.90 L (4.12 US qt、3.43 Imp.qt) オイルフィ

ルターを取り外した場合：

4.10 L (4.33 US クオート、3.61 Imp.qt)

クーラント量：

クーラントリザーバー (最大レベルマークまで):

0.24 L (0.25 US qt、0.21 Imp.qt) ラジ

エーター (すべてのルートを含む):

2.25 L (2.38 US クオート、1.98 Imp.qt)

燃料：

推奨燃料：  
無鉛ガソリン (E10 可) オクタン価  
(RON):  
95

燃料タンク容量：

17 L (4.5 US ガロン、3.7 Imp.gal)

燃料予備量：

4.0 L (1.06 US ガロン、0.88 Imp.gal)

燃料噴射：

スロットルボディ：

IDマーク：

B5Y1 00

ドライブトレイン：

ギア比：

1位：

2,600 (39/15)

2番目：

2,176 (37/17)

3位：

1,842 (35/19)

4位：

1,579 (30/19)

5位：

1,381 (29/21)

6位：

1,250 (30/24)

フロントタイヤ：

タイプ：

チューブレス

サイズ：

120/70ZR17M/C(58W)

メーカー/モデル：

ブリヂストン/バトラックス ハイパースポーツ  
S22F

リアタイヤ：

タイプ：

チューブレス

サイズ：

190/55ZR17M/C(75W)

**メーカー/モデル:**

ブリヂストン/バトラックス ハイパースポーツ  
S22R

**読み込み中:****最大荷重:**

171kg (377ポンド)

車両の最大積載量は、ライダー、同乗者、荷物、付属品の合計重量です。

**フロントターンシグナルライト:**

導かれた

**リアターンシグナルライト:**

導かれた

**補助ライト:**

導かれた

**ナンバープレートライト:**

導かれた

**前輪のブレーキ:****タイプ:**

油圧デュアルディスクブレーキ

**リアブレーキ:****タイプ:**

油圧シングルディスクブレーキ

**フロントサスペンション:****タイプ:**

テレスコピックフォーク

**リアサスペンション:****タイプ:**

スイングアーム (リンクサスペンション)

**電気系統:****システム電圧:**

12V

**バッテリー:****モデル:**

YTZ10S

**電圧、容量:**

12V、8.6Ah(10HR)

**電球のワット数:****ヘッドライト:**

導かれた

**ブレーキ/テールライト:**

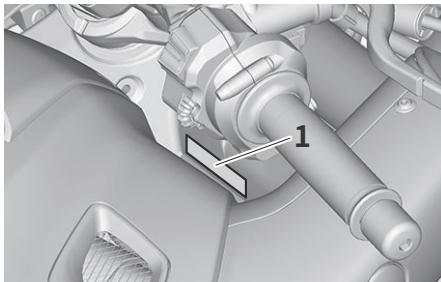
導かれた

## 識別番号

車両識別番号、エンジンのシリアル番号、およびモデルのラベル情報を以下のスペースに記録します。これらの識別番号は、地域の当局に車両を登録するとき、およびヤマハディーラーにスペアパーツを注文するときに必要です。

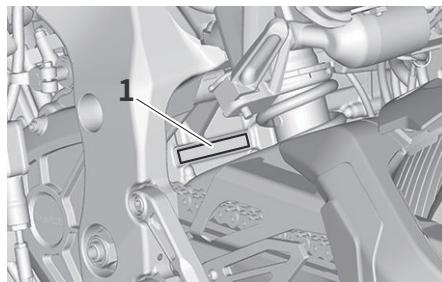
EAU53562

### 車両識別番号



EAU26401

### エンジンのシリアル番号



EAU26442

車両識別番号：

エンジンのシリアル番号：

10

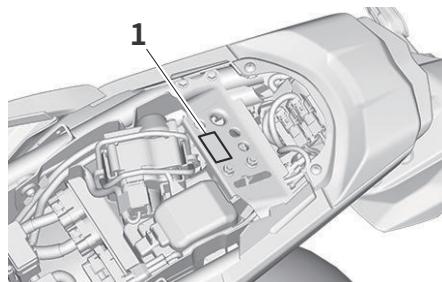
モデルラベル情報:

○  
●

### ヒント

車両識別番号はオートバイを識別するために使用され、お住まいの地域の免許局にオートバイを登録するために使用される場合があります。

### モデルラベル



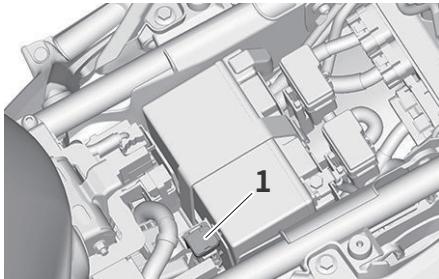
EAU26481

1. モデルラベル

型式ラベルはシート下のフレームに貼付されています。(4-35 ページを参照してください。) このラベルの所定のスペースに情報を記録してください。この情報は、ヤマハ販売店にスペアパーツを注文する際に必要になります。

## 診断コネクタ

EAU69910



1. 診断コネクタ

診断コネクタは図のような位置にあります。

## データの使用

これは、ヤマハ(ヤマハ発動機株式会社およびヤマハヨーロッパNV)がお客様のデータをどのように使用するかについての簡単な概要です。詳細については、以下の特定のURLにアクセスしてプライバシー ポリシーをご覧ください。

国	言語	URL
オーストリア	ドイツ人	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/at/de/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/at/de/privacy/privacy-policy/</a>
ベルギー	オランダの	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/be/nl/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/be/nl/privacy/privacy-policy/</a>
ベルギー	フランス語	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/be/fr/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/be/fr/privacy/privacy-policy/</a>
ブルガリア	ブルガリア語	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/bg/bg/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/bg/bg/privacy/privacy-policy/</a>
チェコ共和国	チェコ語	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/cz/cs/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/cz/cs/privacy/privacy-policy/</a>
デンマーク	デンマーク語	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/dk/da/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/dk/da/privacy/privacy-policy/</a>
フィンランド	フィンランド語	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/fi/fi/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/fi/fi/privacy/privacy-policy/</a>
フランス	フランス語	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/fr/fr/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/fr/fr/privacy/privacy-policy/</a>
ドイツ	ドイツ人	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/de/de/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/de/de/privacy/privacy-policy/</a>
ギリシャ	ギリシャ語	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/gr/el/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/gr/el/privacy/privacy-policy/</a>
ハンガリー	ハンガリー語	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/hu/hu/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/hu/hu/privacy/privacy-policy/</a>
イタリア	イタリアの	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/it/it/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/it/it/privacy/privacy-policy/</a>
アイルランド	英語	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/ie/en/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/ie/en/privacy/privacy-policy/</a>
オランダ	オランダの	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/nl/nl/privacy/Privacybeleid/">https://www.yamaha-motor.eu/nl/nl/privacy/Privacybeleid/</a>
ノルウェー	ノルウェー語	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/no/nb/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/no/nb/privacy/privacy-policy/</a>
ポーランド	研磨	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/pl/pl/prywatnosc/polityka-prywatnosci/">https://www.yamaha-motor.eu/pl/pl/prywatnosc/polityka-prywatnosci/</a>
ポルトガル	ポルトガル語	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/pt/pt/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/pt/pt/privacy/privacy-policy/</a>
ルーマニア	ルーマニア語	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/ro/ro/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/ro/ro/privacy/privacy-policy/</a>
スペイン	スペイン語	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/es/es/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/es/es/privacy/privacy-policy/</a>
スウェーデン	スウェーデンの	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/se/sv/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/se/sv/privacy/privacy-policy/</a>

国	言語	URL
スイス	ドイツ人	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/ch/de/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/ch/de/privacy/privacy-policy/</a>
スイス	フランス語	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/ch/fr/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/ch/fr/privacy/privacy-policy/</a>
七面鳥	トルコ語	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/tr/tr/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/tr/tr/privacy/privacy-policy/</a>
イギリス	英語	<a href="https://www.yamaha-motor.eu/gb/en/privacy/privacy-policy/">https://www.yamaha-motor.eu/gb/en/privacy/privacy-policy/</a>

どのようなデータを収集しますか?データはどのように収集されるのでしょうか?

この車両は、統合されたエンジンコントロールユニット(ECU)を通じて3種類のデータを収集します。(1)車両識別番号(VIN)。(2)エンジン/モーターの動作状態、車速、走行距離などの車両の性能を示すライブデータ。(3)診断トラブルコード(DTC)などの車両の状態を示すその他のデータ。

収集されたデータは、整備点検時や整備時のみ、ヤマハ専用診断ツールを車両に装着し、ヤマハ発動機株式会社のサーバーにアップロードされます。

データはどのように使用されますか?

ヤマハは、お客様の車両から収集したデータを、(1)診断を含む適切なメンテナンスサービスの実施、(2)適切な保証請求の判断の実施、(3)車両の研究開発、(4)製品の提供および品質向上のために利用します。、機能およびサービス、(5)当社の事業目的を確保するため、および(6)法律および規制の要件を遵守するため。

データをどのように共有しますか?

当社はお客様のデータを以下と共有することができます。(i)当社の子会社、関連会社、およびビジネスパートナー。(ii)お客様の国または地域の販売店、および(iii)上記利用目的の達成に必要な範囲の委託先。

## お問い合わせ方法

ヤマハ発動機株式会社とヤマハモーターヨーロッパNVは、収集されたお客様のデータに関する共同データ管理者です。個人データの処理に関する質問または苦情は、書面で以下に送信できます。

**Yamaha Motor Europe NV/デジタルマーケティング&CRM**  
-私書箱 75033 - 1117 ZN スキポール - オランダ。

## 消費者情報

---

上記で提供される連絡先情報の唯一の目的は、データ処理に関する問い合わせに対応することです。その他各種お問い合わせ応答されません。お問い合わせに適切に対応するために、次の情報を提供してください。**(1) あなたの名前; (2) あなたの電子メールアドレス。 (3) あなたの居住国。 (4) あなたのVIN。**当社は、提供された個人情報を、データ処理に関する問い合わせをサポートする目的のみに使用します。

**あ**

- ABS 警告灯 ..... 4-7 エ  
アフィルターエレメント。 .....  
7-14 助手席警告灯 ..... 4-8

**B**

- バッテリー ..... 7-28 ブ  
レーキレバーとクラッチレバーの点検と潤滑 ..... 7-25 ブ  
レーキペダルとシフトペダル、点検と回転 ..... 7-25 ブ  
ブリケーション ..... 7-24 ブレーキコントロールシステム (BC) ..... 4-31 ブレーキ液量、点検 ..... 7-20 ブレーキフルードの交換 ..... 7-21 ブレーキレバー ..... 4-30 ブレーキレバーの遊び、点検 ..... 7-19 ブレーキライトスイッチ ..... 7-19 ブレーキペダル ..... 4-30

**C**

- ケーブル、点検および注油 ..... 7-24 キャニスター ..... 7-10 お手入れ ..... 8-1 触媒コンバータ ..... 4-35 クラッチレバー ..... 4-29 クラッチレバーの遊び、調整 ..... 7-18 クーラント ..... 7-11 クルーズコントロール表示灯 ..... 4-6 クルーズコントロールシステム ..... 3-6 クルーズコントロール/VSLスイッチ ..... 4-4

**D**

- 診断コネクタ ..... 10-2 ディマー/バススイッチ ..... 4-3 ディスプレイ、メイン画面 ..... 4-9 ディスプレイ、メニュー画面 ..... 4-18 ドライブチェーンのためみ ..... 7-22

**E**  
ドライブチェーン、洗浄と注油 ..... 7-23

- エンジンの慣らし運転 ..... 6-1 エンジンのアイドリング回転数、点検 ..... 7-14 エンジンオイル ..... 7-10 エンジンのオイルヒート ..... 7-34 エンジンのシリアル番号 ..... 10-1 EXUPシステム ..... 4-39

**F**

- 前後ブレーキパッド、点検 ..... 7-20 フロントフォーク、調整 ..... 4-36 フロントフォークの点検 ..... 7-26 燃料 ..... 4-33 燃料消費量、削減のヒント ..... 6-4 燃料タンクのキャップ ..... 4-32 燃料タンクオーバーフロー ホース ..... 4-34 ヒューズ、交換 ..... 7-29

**G**

- 用語集 ..... 3-4

**H**

- ハンドルスイッチ ..... 4-3 ハザードスイッチ ..... 4-4 ハイビームインジケーターライト ..... 4-6 ホーンスイッチ

**I**

- 識別番号 ..... 10-1 点火回路

- カットオフシステム ..... 4-41 イモビライザーシステム ..... 4-1 イモビライザーシステム

- 表示灯 ..... 4-7 表示灯および警告

- 灯 ..... 4-5

**L**

- ラゲッジストラップホルダー ..... 4-39

**M**

- メインスイッチ/ステアリングロック ..... 4-2

- 定期的なメンテナンスと注油 ..... 7-5 メンテナンス、排出ガス制御システム ..... 7-3 故障表示灯 (MIL) ..... 4-6 マットカラー、注意事項 ..... 8-1 型式ラベル ..... 10-1

**N**

- ニュートラル表示灯 ..... 4-6

**O**

- 油圧と冷却水温度  
警告灯 ..... 4-8

**P**

- 駐車場 ..... 6-5 各部の位置 ..... 2-1 電源コンセント ..... 4-39

**S**

- 安全上のご注意 ..... 1-1 座席 ..... 4-35 シフトインジケーター ..... 4-7 シフトベダル ..... 4-29 シフトト ..... 6-3 ショックアブソーバーの組立て、調整 ..... 4-37 サイドスタンド ..... 4-40 サイドスタンド、点検と注油 ..... 7-26 スパークプラグ、点検 ..... 7-9 特別な機能 ..... 3-1 仕様 ..... 9-1 スタビリティコントロール表示灯 ..... 4-7 エンジンの始動 ..... 6-2 ステアリング、点検 ..... 7-27 停止/運転/開始スイッチ ..... 4-4 保管 ..... 8-4 バイクのサポート ..... 7-31 スイングアーム ピボット、注油 ..... 7-26

# 索引

---

## T

- スロットルグリップ、点検および注油 ..... 7-24 タイ  
ヤ ..... 7-15 チタンマフ  
ラー、清掃 ..... 8-3 ツールキット  
ト ..... 7-2 トラブルシュー  
ティング ..... 7-32 トラブル  
ルシューティング表 ..... 7-33 ウインカーアイン  
ジケーターライト ..... 4-6 ウインカースイッチ  
チ ..... 4-4

## U

- データの使用 ..... 10-3

## V

- バルブクリアランス .....  
7-14 車両識別番号 ..... 10-1 車両のライ  
ト ..... 7-31

## W

- ホイールペアリング、チェック ..... 7-27  
ホイール ..... 7-17

## Y

- ヤマループ ..... 7-11 YRC (ヤマハ ライ  
ド コントロール) ..... 3-1 YRC 機能ビジュ  
アルガイド ..... 3-5 YRC の設  
定 ..... 4-19  
YVSL ..... 3-8



オリジナルの説明書



日本で印刷  
2023.10.5×1! (本)